



SyncMaster 711ND



- 安全面での予防措置
- モニターの調整
- はじめに
- トラブルシューティング
- 接続
- 仕様
- ソフトウェアの使用
- 情報

[↑ TOP](#)[↑ MAIN](#)

○ 安全面での予防措置

記号 電源 取り付け 清掃と使用 その他

▶ 記号

けがや物的損害を予防するため、以下の安全上の注意をよく読んでからご使用ください。

! 警告/注意



この警告や注意を守らずに誤った取り扱いをすると、けがをしたり物的損害を受ける恐れがあります。

! 表示例



禁止



重要



分解禁止



電源プラグを抜く



触らない



アースすること

記号 電源 取り付け 清掃と使用 その他

▶ 電源



長時間使用しないときはPCをDPMS(省電力モード)に設定してください。スクリーンセーバを利用する場合は、電源オプションのプロパティから設定してください。同梱の電源コードセットは、他の電気機器では使用できません。ご注意ください。

[残像防止方法へのショートカット](#)

- ▶ 壊れたプラグを使用しないでください。
- ▶ 感電や火災の原因になることがあります。



❖ プラグを抜くときはコードを引っ張らず、必ずプラグを持って抜いてください。また、濡れた手でプラグを触らないでください。

▶ 感電や火災の原因になることがあります。



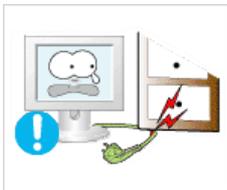
❖ 接地接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

▶ また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。感電の原因になることがあります。



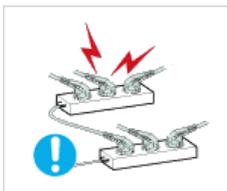
❖ 電源プラグをしっかりと挿入して、緩まないようにしてください。

▶ 接続状態が悪いと火災の原因になることがあります。



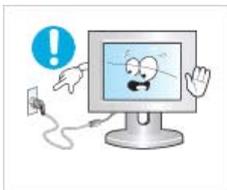
❖ プラグやコードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

▶ 感電や火災の原因になることがあります。



❖ たこ足配線をしないでください。

▶ 火災の原因になることがあります。



❖ モニターの使用中は電源コードを外さないでください。

▶ サージ(過電圧)が発生し、モニターを破損させる場合がございます。



❖ コネクタまたはプラグが汚れているときには、電源コードを使用しないでください。

▶ 電源コードのコネクタまたはプラグが汚れている場合には、乾いた布で清掃してください。

▶ プラグまたはコネクタが汚れたまま電源コードを使用すると、感電や火災の原因になる場合があります。

❏ 取り付け



ほこりが多い場所、極端に高温・低温にさらされる場所、湿度の高い場所、化学物質が使用されている場所、および空港や駅など24時間使用する場所に設置する場合には、事前にサービスエンジニアまでご相談ください。

ご相談せずに設置した場合、モニターに重大な損傷が発生することがあります。



❏ 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

▶ 感電や火災の原因になることがあります。



❏ 移動するときはしっかりと持ってください。

▶ けがや破損の原因となることがあります。



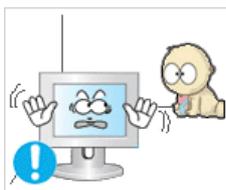
❏ モニターベースをショーケースや棚に設置する場合には、ベースがショーケースや棚から突き出すことがないようにしてください。

▶ 製品が落下すると、製品の損傷や人体への傷害の原因になることがあります。



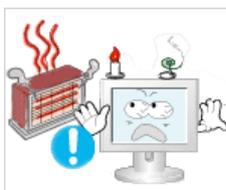
❏ 製品を安定していない場所、または狭い場所に置かないでください。

▶ 製品が落下して、特に子供などの近くにいる人に傷害を負わせる可能性があるため、平らで安定した面に置いてください。



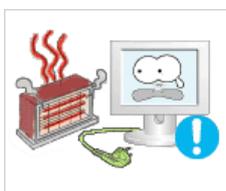
❏ 製品を床に置かないでください。

▶ 特に子供がつまづく可能性があります。



❏ ろうそく、殺虫剤またはタバコなど、燃えやすいものを製品の近くに置かないでください。

▶ 火災の原因となることがあります。

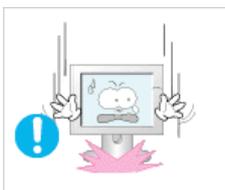


❏ 電源の近くに熱源を置かないでください。

▶ 被覆が溶けて漏電または火災が発生することがあります。



- ❑ 本棚やクローゼットのような換気のよくない場所に製品を置かないでください。
 - ▶ 内部の温度が上昇して火災の原因となることがあります。



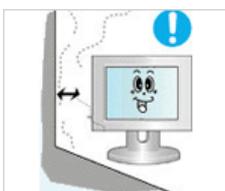
- ❑ 手荒に取り扱わないでください。
 - ▶ 破損や故障の原因になることがあります。



- ❑ 画面を下向きに置かないでください。
 - ▶ 液晶表面の破損の原因になります。
必ず柔らかい布かクッションを敷いて液晶表面を保護してください。



- ❑ 壁面への取り付け工事は専門技術者に依頼してください。
 - ▶ ユーザー自身による工事はけがの原因になることがあります。
弊社指定外の取り付け器具を使用しないでください。



- ❑ 製品を設置するときには、換気のために壁から10cm離してください。
 - ▶ 換気が不十分な場合には、製品内部の温度が上昇して、部品の寿命が短くなったり性能が低下したりします。



- ❑ プラスチックの梱包材(袋類)は、子供の手の届かない場所に置いてください。
 - ▶ 子供がプラスチックの梱包材(袋類)で遊ぶと、窒息する場合があります。

記号 電源 取り付け 清掃と使用 その他

📌 清掃と使用



本体や液晶表面のお手入れは、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



- ❑ 水や洗剤をモニターに直接かけないでください。
 - ▶ 感電や火災の原因になることがあります。



- ❑ クリーナーを少量使用し、柔らかい布で拭き取ってください。



- ❑ プラグ・ピンのほこりや汚れは、乾いた布で拭き取ってください。
 - ▶ 接続部分が汚れていると、感電や火災の原因になることがあります。



- ❑ 製品の清掃を行うときには、必ず電源プラグを抜いてください。
 - ▶ 漏電または火災の原因となることがあります。



- ❑ 電源プラグをコンセントから抜いて、柔らかい乾いた布で拭いてください。
 - ▶ ワックス、ベンジン、アルコール、シンナー、空気清浄スプレー、潤滑剤、または溶媒などの化学薬品は使用しないでください。



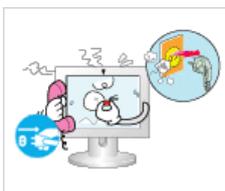
- ❑ モニター内部の清掃については、[お客様相談ダイヤル](#)までご連絡ください。
 - ▶ 製品の内部は清潔を保ってください。
長期にわたって堆積したほこりは、動作不良や火災の原因となることがあります。

記号 電源 取り付け 清掃と使用 その他

▶ その他

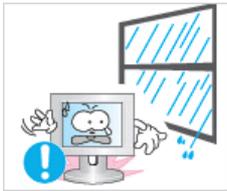


- ❑ カバー（または背面）を開けないでください。
 - ▶ 感電や火災の原因になることがあります。
修理は専門の技術者にご相談ください。



- ❑ 異常な音や臭いがあるなど、モニターが正しく動作しないときはすぐに電源プラグを抜き、[お客様相談ダイヤル](#)にご連絡ください。
 - ▶ 感電や火災の原因になることがあります。

- ❑ オイル、煙または湿気にさらされる場所に製品を置かないでください。自動車内に設置しないでください。



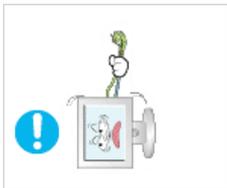
- ▶ 動作不良、感電、火災の原因となることがあります。
水の近くや屋外で使用しないでください。



- ▶ 本体を落としたり破損したりしたときは、Powerボタンをオフにし電源プラグを抜く。[お客様相談ダイヤル](#)までご連絡ください。
- ▶ 故障や感電、火災の原因となることがあります。



- ▶ 雷のときは電源プラグを抜き、落雷の恐れがなくなるまで使用しないでください。
- ▶ 故障や感電、火災の原因となることがあります。



- ▶ ケーブル類を引っ張って移動しないでください。
- ▶ 故障や感電、火災の原因となることがあります。



- ▶ ケーブル類を引っ張って画面を動かさないでください。
- ▶ 故障や感電、火災の原因となることがあります。



- ▶ 本体の通気孔をふさがないでください。
- ▶ 故障や火災の原因となることがあります。



- ▶ モニターの上に水が入った容器、化学製品、金属物を置かないでください。
- ▶ 動作不良、感電、火災の原因となることがあります。
異物がモニター内に入った場合には、電源プラグを抜いて[お客様相談ダイヤル](#)にご連絡ください。



- ▶ 可燃性の化学薬品のスプレーや可燃物は、製品から遠ざけてください。
- ▶ 爆発や火災の原因となることがあります。

- ▶ 内部に金属を入れないでください。



▶ 感電や火災、けがの原因になることがあります。



❖ 工具器具、針金などの金属製品や、紙切れやマッチなどの燃えやすいものを、通気孔などに入れないでください。

▶ 故障や感電、火災の原因になることがあります。
内部に異物が混入したときは、[お客様相談ダイヤル](#)までご連絡ください。



❖ 画像が長時間固定されると、残像やぶれが生じることがあります。

▶ 長時間モニターから離れる場合は、節電モードに切り替えるかスクリーンセーバ(動画)を設定します。



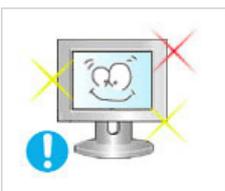
❖ 使用するモデルにあった解像度と周波数を選択します。

▶ 視力を低下させる恐れがあるので、適切な解像度と周波数でご使用ください。

17インチ - 1280 x 1024



❖ モニターを近距離で長時間見続けると、視力に影響を与えることがあります。



❖ 眼精疲労を和らげるために、時々目を休ませるようにしてください。



❖ 製品を不安定で平らでない場所や、振動の多い場所に設置しないでください。

▶ 製品が落下すると、製品の損傷や人体への傷害の原因になることがあります。
振動の多い場所で製品を使用すると、製品の寿命が短くなったり出火の原因となる場合があります。



❖ モニターを移動するときには、電源をオフにして電源プラグを抜いてください。モニターを動かす前に、アンテナ用ケーブルやその他の装置に接続するケーブルなど、すべてのケーブルが外れていることを確認してください。

▶ ケーブルを外さないと、ケーブルの損傷、火災や感電の原因となることがあります。

❖ 製品に子供がぶら下がると破損する可能性がありますので、子供の手の届かない場所に置いてください。



▶ 故障した製品は、傷害や場合によっては死亡の原因となることがあります。



▶ 製品を長期間使用しないときには、電源プラグを抜いてください。

▶ ほこりの堆積や絶縁不良によって熱が発生し、漏電や火災が発生することがあります。

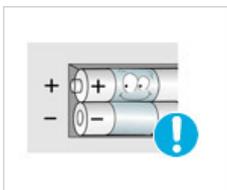


▶ 子供の好きなもの(または子供が興味を持ちそうなもの)を製品の上に置かないでください。

▶ 子供が製品に登ろうとすることがあります。
製品が落下して、傷害や場合によっては死亡の原因となることがあります。



▶ リモコンから電池を取り外す時は、子どもが飲み込んだりしないよう注意します。電池は子どもの手の届かない場所に保管します。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。



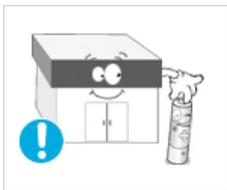
▶ 電池を交換する時は、電池ホルダーの指示する向きに+/-極を正しく入れます。

▶ 方向を間違えると電池が破損または液漏れすることがあり、火災、けが、薬品汚染(による損害)を招くことがあります。



▶ 指定の標準電池以外は使用しないでください。新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。

▶ 電池が破損または液漏れすることがあり、火災、けが、薬品汚染(による損害)を招くことがあります。



▶ バッテリー(および充電式バッテリー)は通常の廃棄物ではなく、リサイクルするために返送する必要があります。使用済み電池のリサイクルは、お客様の責任で行ってください。

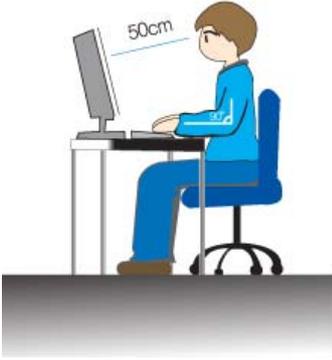
▶ お客様は、使用済みの充電式バッテリーを公共のリサイクルセンターまたは同じタイプのバッテリーおよび充電式バッテリーを販売している店舗に返送することができます。



▶ モニターを持ち上げたり移動するときには、スタンドだけを持ってモニターを上下反対に持たないでください。

▶ モニターが落下して、破損したりケガをする恐れがあります。

④ モニターを使用するときには、正しい姿勢を保ってください。



▶ モニターの使用中は、正しい姿勢を保つようにします。

- 背中を丸めないようにします。
- 目からモニターまでの距離を約45～50cmに保ちます。画面を少し見上げるようにし、モニターが正面に来るようにします。
- モニターを上方向に10～20度傾けます。モニターの最上部が目的位置より若干低くなるように、モニターの高さを調整します。
- 画面に光が反射しないように、モニターの角度を調整します。
- 腕が腋に垂直になるようにします。手の甲と腕がまっすぐになるようにします。
- 肘の角度が90度になるようにします。
- 膝の角度が90度を超えるようにします。足が床から浮かないようにします。腕の位置が心臓より下になるように調整します。



- 安全面での予防措置
- はじめに
- 接続
- ソフトウェアの使用
- モニターの調整
- トラブルシューティング
- 仕様
- 情報

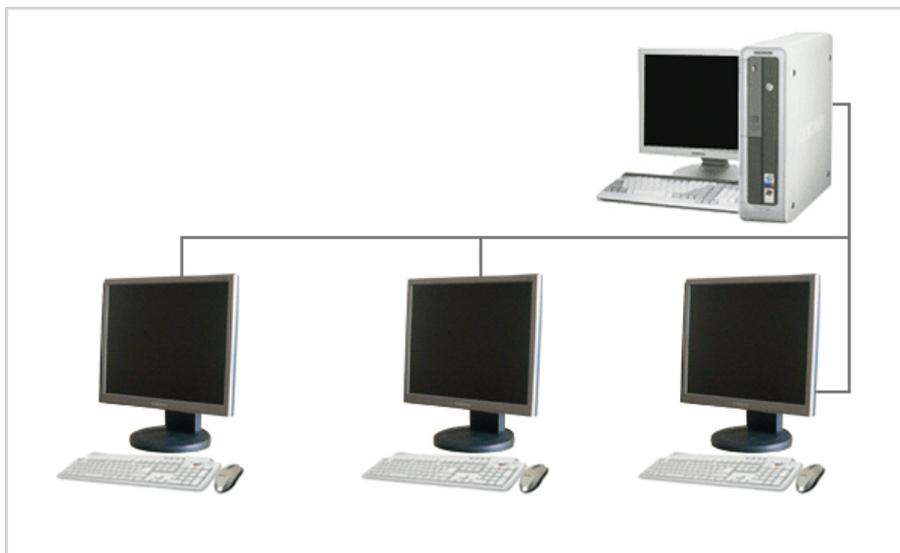
[↑ TOP](#)[↑ MAIN](#)

○ はじめに

機能 パッケージ内容 お使いのモニター リモコン

▶ 機能

▶ ネットワークモニターとは?



- ▶ PCおよびLANサービスにアクセスしてホストPCに接続し、イメージ、ビデオクリップ、文書などを表示する新たなコンセプトのモニターです。
- ▶ ホストPCとは別に、リモートからホストPCに接続してインターネットサービスを利用する追加機能も備えています。
- ▶ 製品に付属するMagicNetは、ネットワークにリモートからアクセスして、各ネットワークモニター上の時刻と表示内容のタイプを調整するとともに、リモートから電源のオン/オフを行います。

※ MagicNetの起動中にモニターのスイッチをオフにすると、損傷の原因となる場合があります。
アプリケーションソフトウェアが実行中の場合には、モニターを絶対にオフにしないでください。

▶ 機能

- ▶ D-SUB出力ポート搭載: ユーザーがプロジェクタまたは他の大型ディスプレイ装置に接続できるように、D-SUB出力ポートも備えています。
- ▶ 高コントラスト比: 深みのある色調を実現するために、700:1までのコントラストをサポートします。
- ▶ 高速応答速度: 8msの速い応答速度をサポートすることにより、残像のないクリアなイメージを提供します。
- ▶ フレキシブルスタンド: ユーザーが好みに合わせてモニターの高さを調整することができます。

▶ パッケージ内容

ご使用前に、以下の付属品が揃っているか確認してください。
万一不足するものがあった場合、お客様ご相談ダイヤルか[お客様相談ダイヤル](#)までご連絡ください。

▶ 同梱物



モニター本体

▶ 取扱説明書



簡単セットアップガイド



保証書

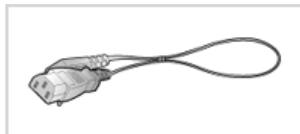


インストールCD
(ユーザーガイド、モニタードライバ)Natural Color ソフトウェア、MagicTune™ ソフトウェア、MagicRotation、MagicNet ソフトウェア

▶ ケーブル類



ミニD-Sub15ピン ケーブル (アナログ接続)



電源コード



LANケーブル

▶ その他



リモコン



電池(単四×2)

▶ 別売品



キーボード(USB)

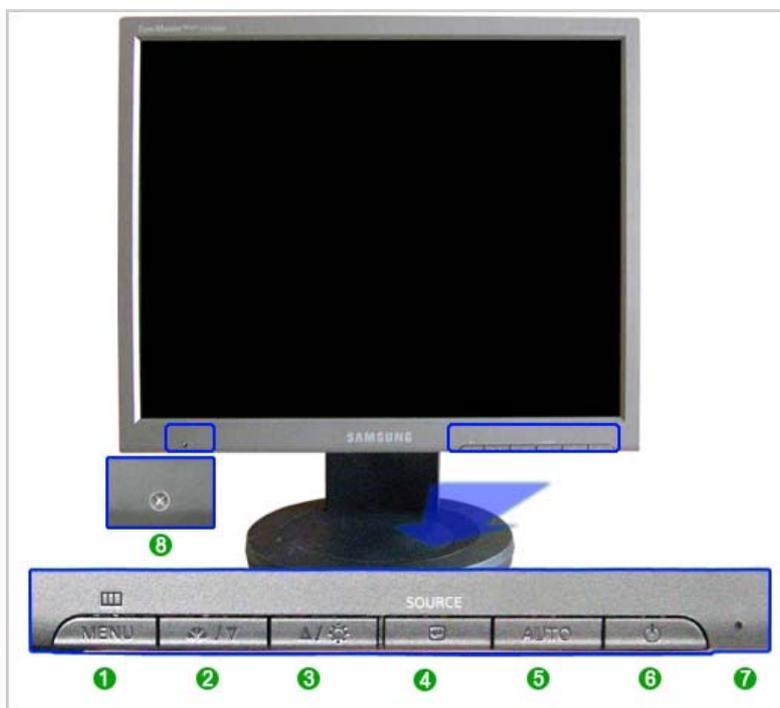


マウス (USB)

機能 パッケージ内容 お使いのモニター リモコン

▶ お使いのモニター

▶ 前面(スタンドの形状は製品ごとに異なります)



1 MENU ボタン [≡]

OSD (On Screen Display)メニューを開きます。OSDメニューの終了または前のメニューに戻るときにも使用します。

2 MagicBright™ ボタン [☀]

MagicBright™は、ご覧になる映像の種類に応じて最適な視聴環境を提供するための新機能です。現在6つのモードが使用可能です。ユーザー調整、テキスト、インターネット、ゲーム、スポーツ、そして映画です。各モードに明るさの値がプリセットされています。MagicBright™コントロールボタンを押すだけで、6つの設定からお好みのものを選択できます。

1) ユーザー調整：
お好みの明るさとコントラストに調整できます。

2) テキスト：
文書作成など、文字に関わる作業に最適な明るさ

3) インターネット：
文字と画像が混在した画像を扱う時に最適な 明るさ

4) ゲーム：
ゲームなどに最適な明るさ

5) スポーツ：
スポーツ中継などに最適な明るさ

- 6) 映画 :
DVDやオンラインゲームなどに最適な明るさ
>>>アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。
- ③ 明るさボタン [☉]
OSDがスクリーンに表示されていない状態でこのボタンを押すと、明るさを調整できます。
>>>アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。
- ②③ 調整ボタン [▼/▲]
メニューの項目を移動/調整します。
- ④ エンターボタン [Ⓜ]
/ SOURCEボタン
ハイライト表示されたメニュー項目を決定します。/
[SOURCE]ボタンを押し、OSDがオフの間にビデオ信号を選択します。
[SOURCE]ボタンを押して入力モードを変更すると画面中央にアナログかデジタル信号かを表示するメッセージが現れます。
- ⑤ オート(AUTO)ボタン
自動調整するにはこのボタンを使用します。
>>>アニメーション・クリップを見るには、ここをクリックします。
- ⑥ 電源ボタン [Ⓜ]
モニターのオン・オフにはこのボタンを使用します。
- ⑦ 電源ランプ
正常作動中はライトが緑色に点灯します。調整が保存される場合は緑色で1回点滅します。
- ⑧ リモコンセンサー
モニターのこの部分に向けてリモコンを操作します。

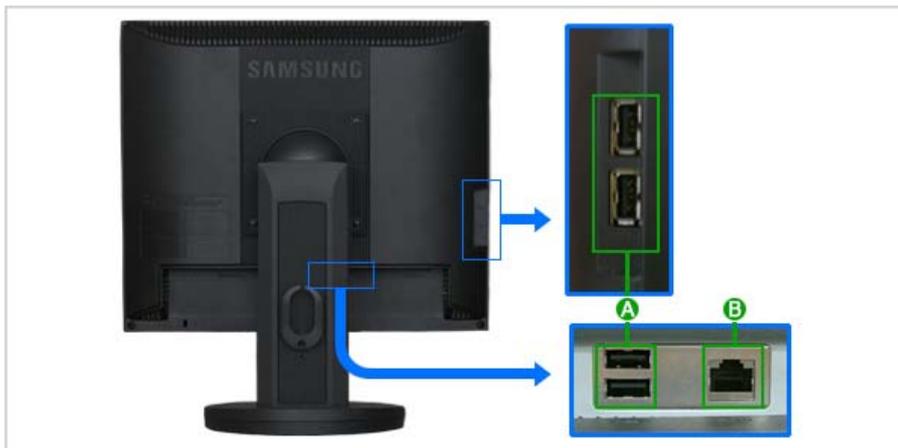
※ このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用しないときや長時間席を離れるときはモニターをオフにしてください。

▶ 背面



※ (モニター背面の構造は製品ごとに異なります。)

- ① POWER IN 端子
モニターの電源コードをモニター背面のPOWER(電源端子)に接続します。
- ② VGA IN 端子
コンピュータ背面にある15ピンのD-subコネクタに信号ケーブルを接続します。
- ③ VGA OUT 端子
D-Subケーブルを使用してモニターを他のモニターに接続します。
- ④ ケンジントン保護スロット
ケンジントン ロックは、公共の場所で使用するときシステムを固定するのに使用する装置です。
※ ロック装置は、別途購入する必要があります。
ロック装置は、別途販売店等でご購入ください。
- ⑤ ケーブル固定リング
ケーブルの接続が終了したら、ケーブルをケーブル固定リングに固定します。



- A**  USB(USB接続端子) マウス、キーボード、または外部機器(たとえばDSC、MP3、外部記憶装置など)などのUSB機器を接続します。
- B** LAN(LAN接続端子) モニターとして使用するとき接続します。

※ ケーブル接続の詳細については、モニターの接続の項目を参照してください。

機能 パッケージ内容 お使いのモニター リモコン

▶ リモコン

▶ リモコン

リモコンの性能は、モニターの近くで動作しているTVやその他の電子機器の周波数干渉によって影響を受けることがあります。

- 1 ON / OFF
- 2 NUM, ENG
- 3 DEL
- 4 ENTER
- 5 BRIGHT
- 6 PAGE
- 7 MagicNet
- 8 PC
- 9 M/B
- 10 INFO
- 11 MENU
- 12 EXIT
- 13 上下左右ボタン
- 14 ENTER
- 15 ■



- 16 ►||
- 17 ◀◀
- 18 ▶▶
- 19 AUTO
- 20 LOCK
- ❖ MagicNetリモコン

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 ON / OFF 2 NUM, ENG 3 DEL 4 ENTER 5 BRIGHT 6 PAGE 7 MagicNet 8 PC 9 M/B 10 INFO 11 MENU 12 EXIT 13 上下左右ボタン 14 ENTER 15 ■ 16 ► 17 ◀◀ 18 ▶▶ 19 AUTO 20 LOCK | <p>モニターのオン・オフにはこのボタンを使用します。</p> <p>数字または英語のテキストを入力します。
記号: 記号を入力するのに使用します。(O_:/)</p> <p>数字またはテキスト入力を取り消します。</p> <p>ハイライト表示されたメニュー項目を決定します。</p> <p>OSDがスクリーンに表示されていない状態でこのボタンを押すと、明るさを調整できます。</p> <p>ページを選択するのに使用します。</p> <p>これらのボタンはMagicNet で使用します。</p> <p>これらのボタンはPCで使用します。</p> <p>MagicBright™ボタンを再度押し、有効なプリセットモードを実行します。</p> <p>現在のモードについて簡単な説明を表示します。</p> <p>このボタンは、画面のメニューを開く、メニュー画面の終了または画面調整メニューを閉じる場合に使用します。</p> <p>メニュー画面を終了します</p> <p>メニュー項目を横や縦に移動したり、選択したメニューの値を調整します。</p> <p>メニュー画面を終了します</p> <p>停止</p> <p>再生 / 停止</p> <p>巻き戻し</p> <p>早送り</p> <p>PCモードのイメージを調整します。</p> <p>POWERおよびLOCKを除くすべてのリモコンおよびモニターパネルボタンを有効または無効にするのに使用します。</p> |
|--|---|

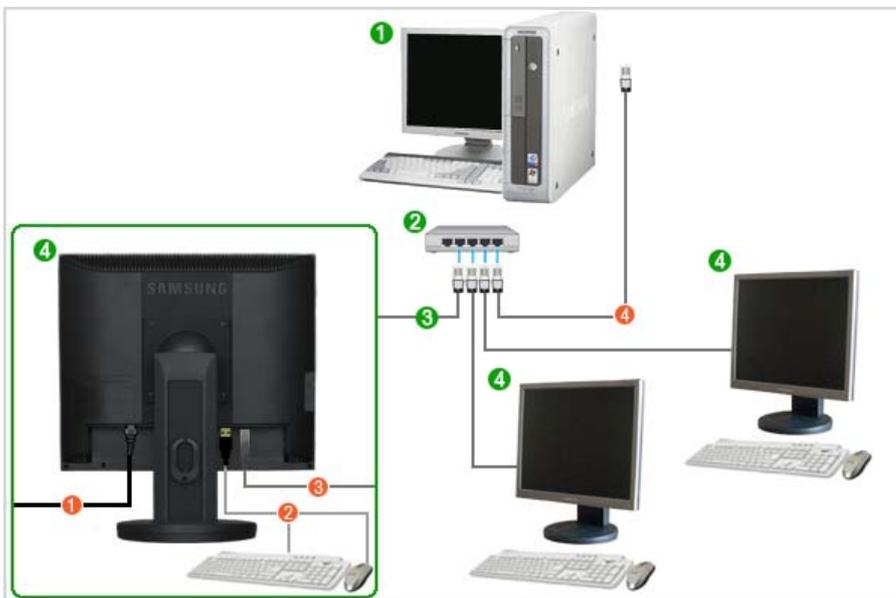


○ 接続

ケーブルの接続 ネットワークモニターの使用 スタンドの使用 他のスタンドの使用

■ ケーブルの接続

▶ LANケーブルを使用してホストPCに接続する



① ホストPC ② ハブ ③ LANケーブル ④ モニター

- ① 電源コードをモニター背面の電源端子に接続します。
- ② いずれかのUSBポートにマウスとキーボードを接続します。
- ③ モニター背面のLANポートとハブを接続します。
- ④ ハブとホストPCのLANポートを接続します。

※ ホストPCにはIPアドレスが割り当てられている必要があります。

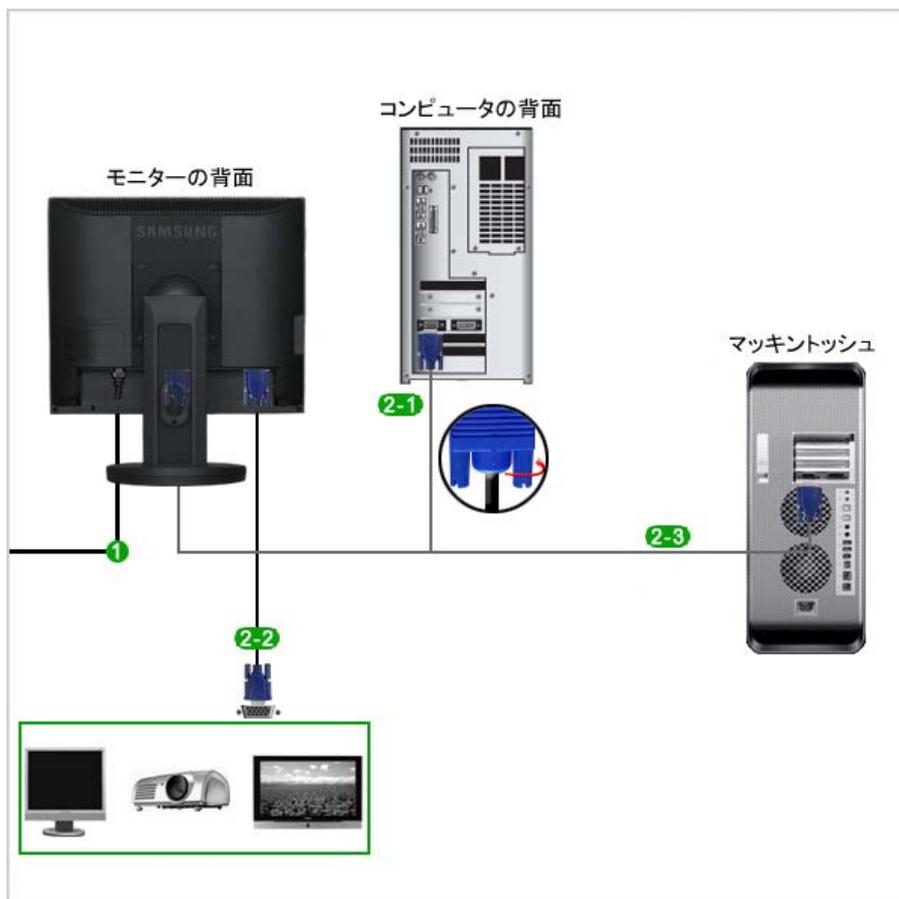
LANの接続とIPアドレスの設定が完了したら、ホストPCの画面をモニター上に表示することができるようになります。

VGA INポートを使用して、モニターをPCに直接接続します。

VGA OUTポートを接続して、同じ画面をプロジェクターなどの他のモニターで表示します。(プレゼンテーション用)

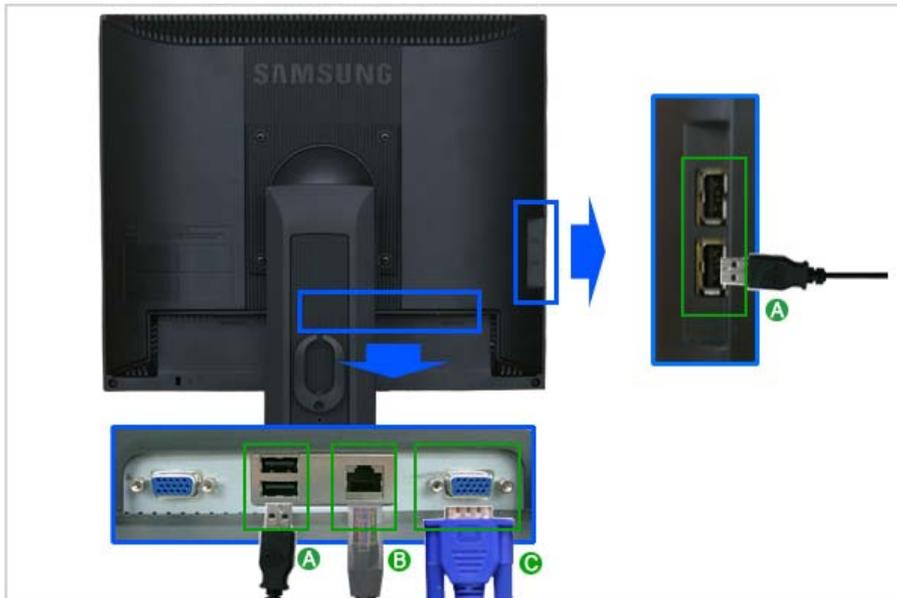
USBポートを使用して、外部機器(DSC、MP3、外部記憶装置など)を接続します。

▶ ケーブルの接続 PowerSaver (通常のモニターとして使用するとき)



- ① モニターの電源コードをモニター背面のPOWER(電源端子)に接続します。
電源コードをコンセントに差し込みます。
- ② 適切な接続方法でお使いのコンピュータに接続します。
 - ②-1 ビデオカードのアナログ端子を使用します。
- モニター背面にある15ピンのD-subポートに信号ケーブルを接続します。
 [VGA IN]
 - ②-2 D-Subケーブルを使用してモニターを他のモニターに接続します。
- 他のモニターに接続して使用します。
 [VGA OUT]
 - ②-3 マッキントッシュへの接続
- D-Sub接続ケーブルを使用してモニターをマッキントッシュコンピュータに接続します。
※ コンピュータとモニターの電源を入れます。モニターに画像が表示されたら接続完了です。

外部装置の接続



- A**  USB
USB(USB接続端子) マウス、キーボード、または外部機器(たとえばDSC、MP3、外部記憶装置など)などのUSB機器を接続します。
(ホストPCに接続するかクライアントオフィスに切り替えずにこの装置を使用することはできません)
- B** LAN
USB(USB接続端子) LAN ケーブルを接続します。
- C** D-sub接続端子
[VGA OUT] 他のモニターに接続して使用します。
(メインモニターの画像が接続されたモニターに表示されます)

ケーブルの接続 ネットワークモニターの使用 スタンドの使用 他のスタンドの使用

▶ ネットワークモニターの使用

▶ MagicNetモード



- 1** Network ホストPCへの接続に使用します。MagicNetプログラムを使用します。
ホストPCに登録されたファイルを実行することができます。他のネットワークモニターに接続されて

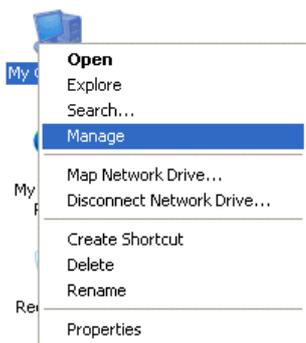
いる外部デバイスの場所を特定し実行することもできます。

※ MagicNet Server プログラムで MagicNet を使用している場合は、ネットワークモードで使用できません。

- ① Photo JPEG,BMPファイルフォーマットがサポートされています。
 - ② Movie AVI, MPEG1/2 ファイルフォーマットがサポートされています。
 - ③ OFFICE/HTML PPT(パワーポイント),DOC(MSワード),XLS(MS エクセル),PDF,HTML,HTMファイル形式がサポートされています。
 - ④ RDP ホストPCへの接続ができます。
サーバー上でMagicNetサーバープログラムが動いていることとは関係なく動作します。ネットワークまたはデバイスモードのいずれかでホストPCに接続します。
- ② Device モニターでMagicNetを使用するように選択します。
ホストPCとは無関係に外部デバイス(DSC、MP3、リムーバブルストレージ)を検索して、イメージファイルまたはビデオクリップを実行することができます。
- ① Photo JPEG,BMPファイル形式がサポートされます。
 - ② Movie AVI, MPEG1/2ファイル形式がサポートされます。
 - ③ OFFICE/HTML PPT(パワーポイント),DOC(MSワード),XLS(MSエクセル),PDF,HTML,HTMファイル形式がサポートされます。
 - ④ RDP ホストPCの接続設定を変更できます。
サーバー上でMagicNetサーバープログラムが動いているかどうかに関係なく動作します。 ネットワークまたはデバイスモードのいずれかでホストPCに接続します。
- ③ Internet インターネットへの接続に使用します。
- ④ Setup ホストPCの接続設定を変更することができます。
- ① Schedule View スケジュールを表示します。
 - ② Remote Desktop ホストPCの接続設定を変更します。
 - ③ TCP/IP TCP/IP設定を変更します。
DHCP(自動入力)、STATIC(手動)
 - ④ Homepage インターネットの既定のアドレスを変更します。
 - ⑤ Network Setup ネットワークの設定を変更します。
 - ⑥ Change Password パスワードをリセットします。
管理者([Setup]メニューが選択されているとき)
ユーザー([Network-Photo]、[Movie]または[Office/HTML]メニューが選択されているとき)

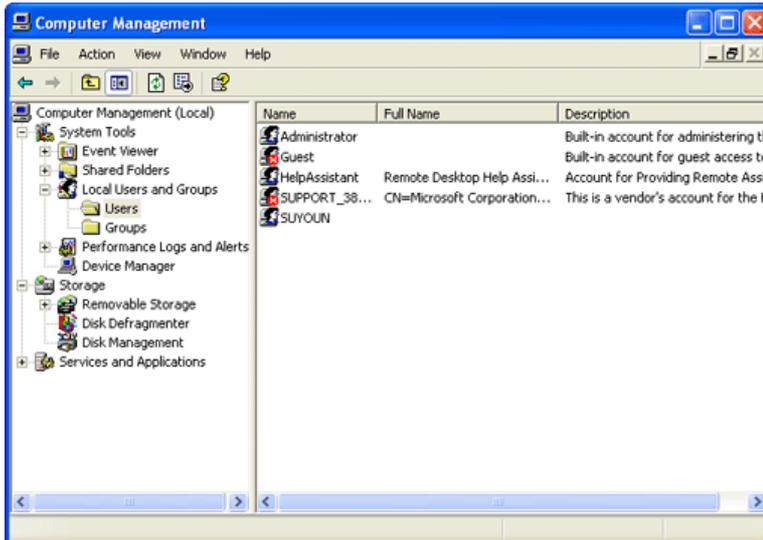
▶ RDPアカウントの作成(ホストPC)

- ① デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリックして、[管理]を選択します。

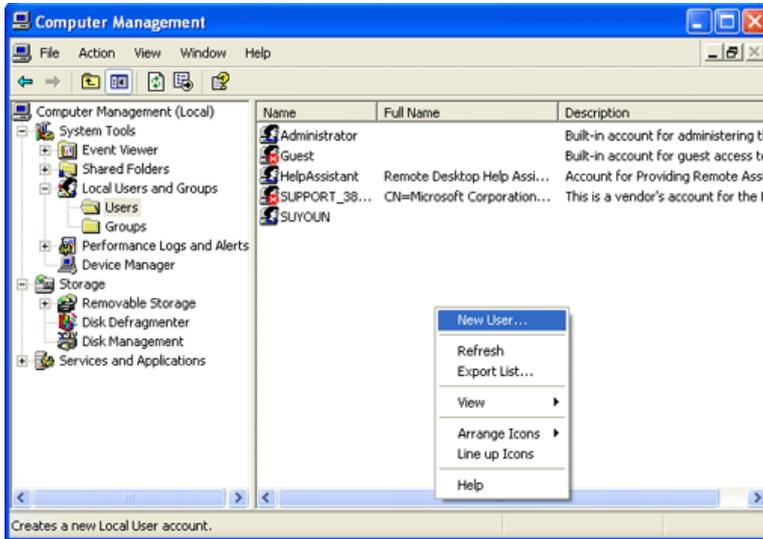


[Users]フォルダを選択します。

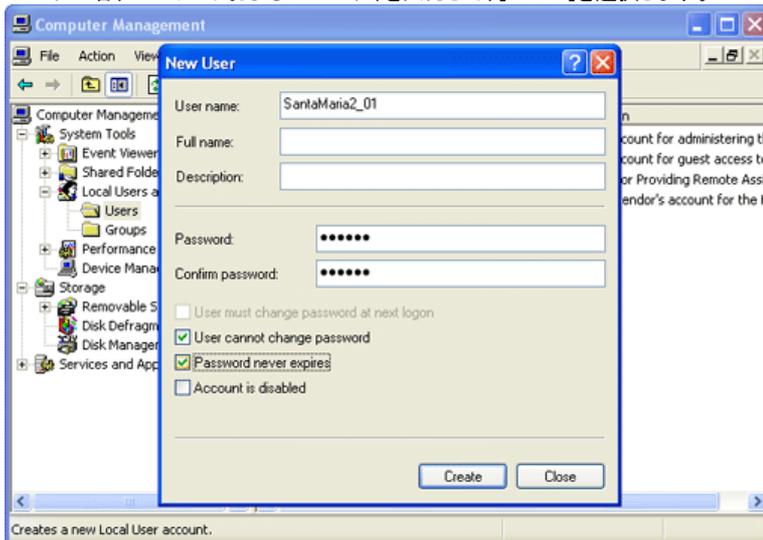
- 2 [Users]フォルダを選択します。



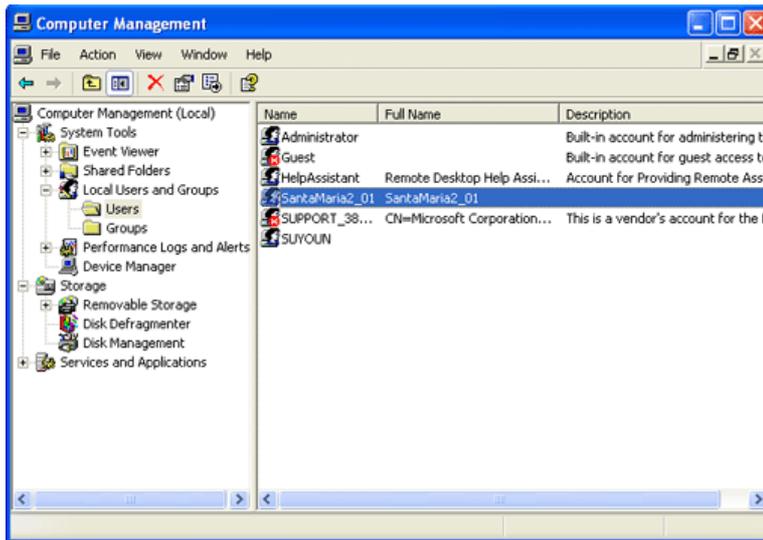
- 3 右クリックして[New User ..]を選択します。



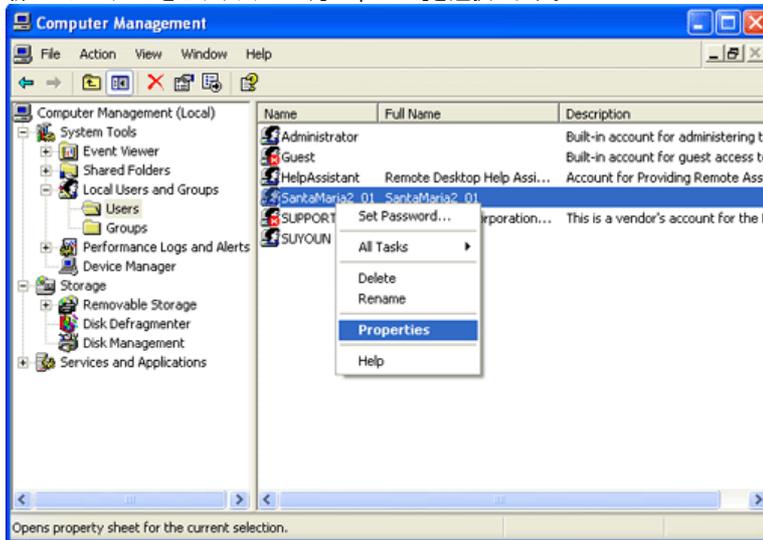
- 4 ユーザー名、パスワードおよびプロパティを入力して、[Create]を選択します。



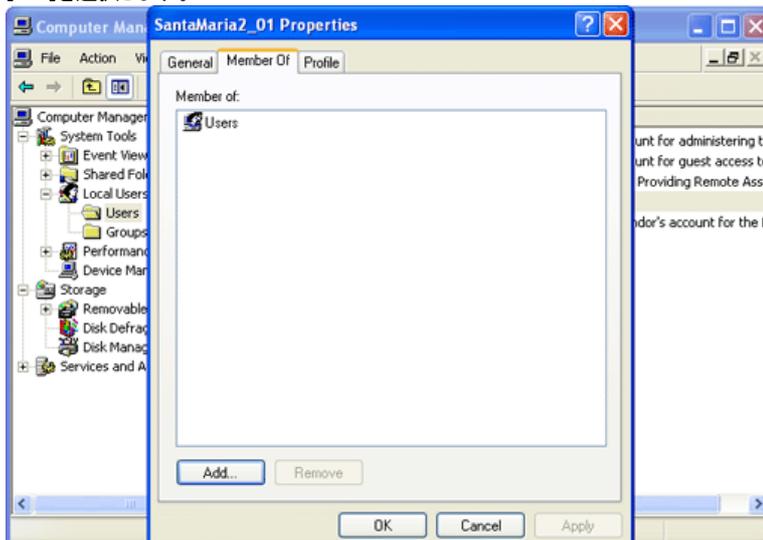
5 新しいアカウントが作成されます。



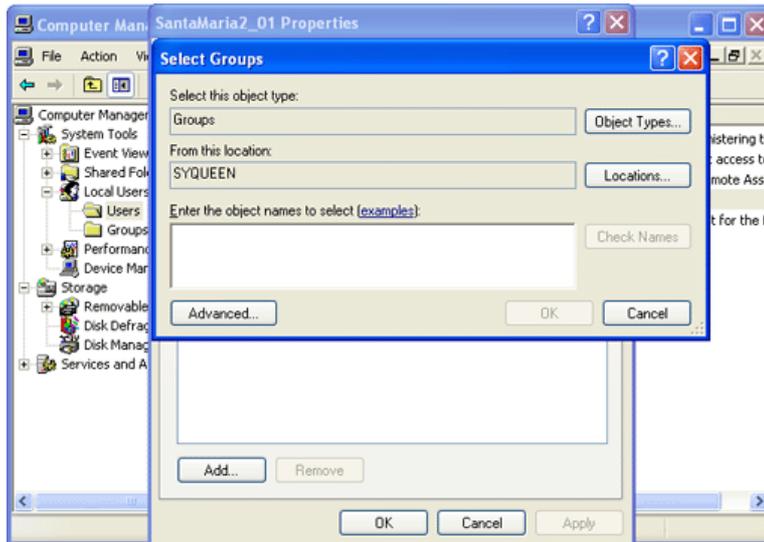
6 新しいアカウントを右クリックして、[Properties]を選択します。



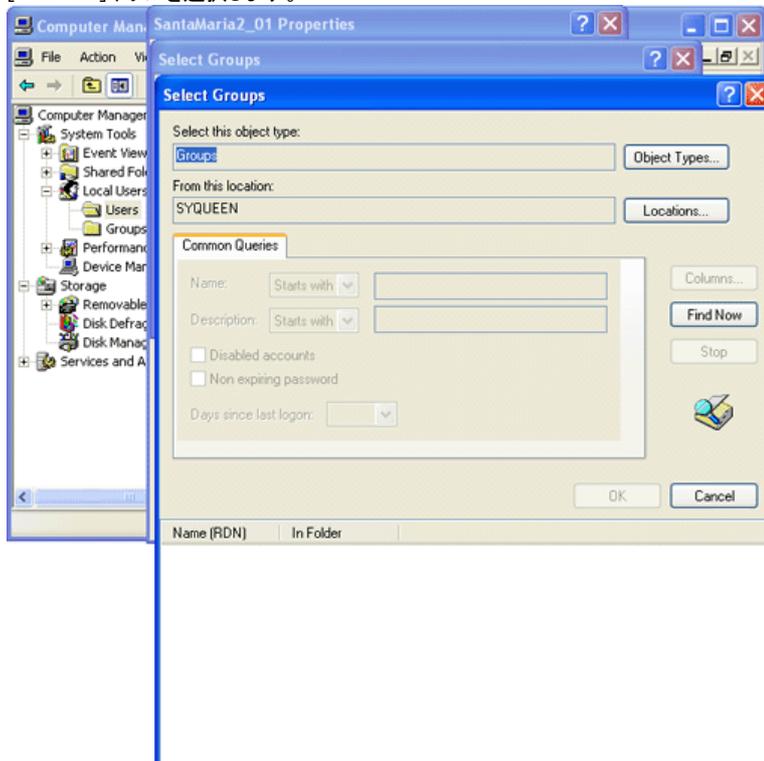
7 [Add]を選択します。



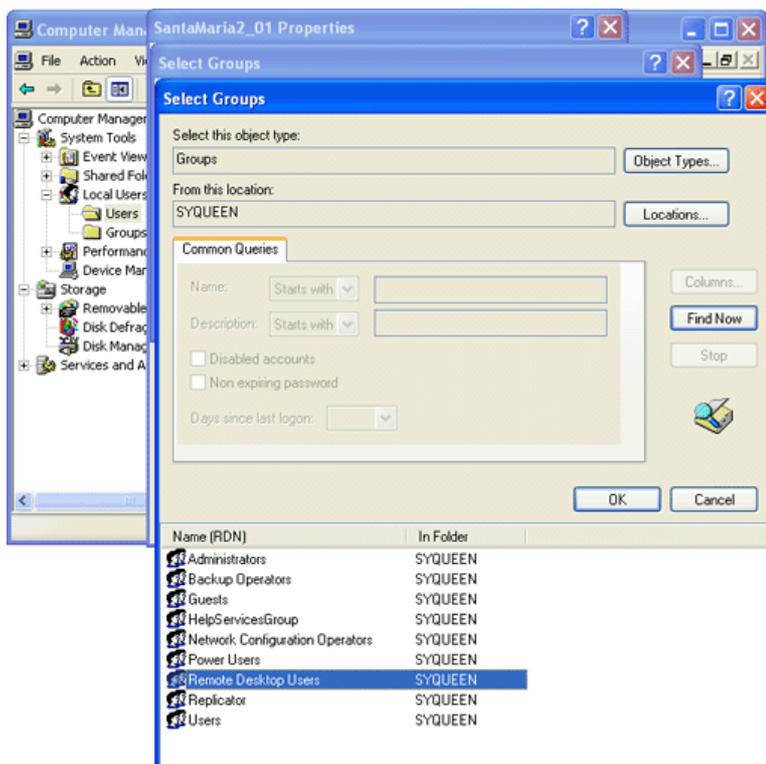
8 [Advanced]を選択します。



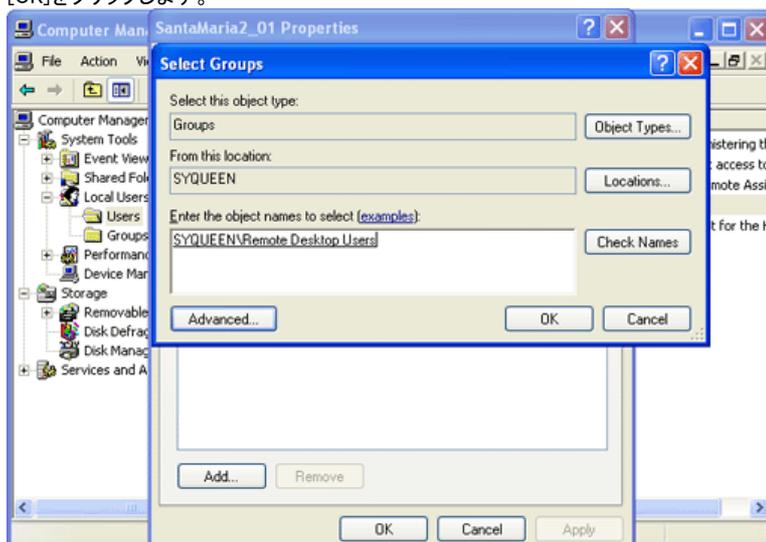
9 [Find Now]ボタンを選択します。



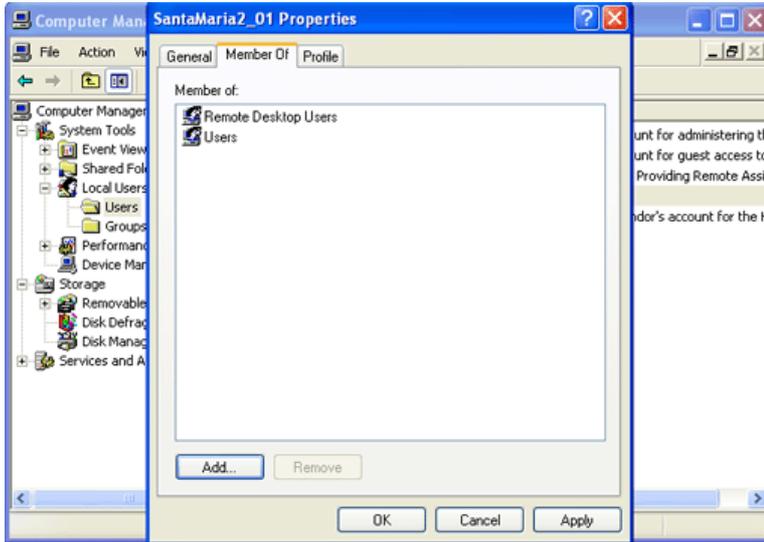
⑩ [Remote Desktop Users]を選択します。



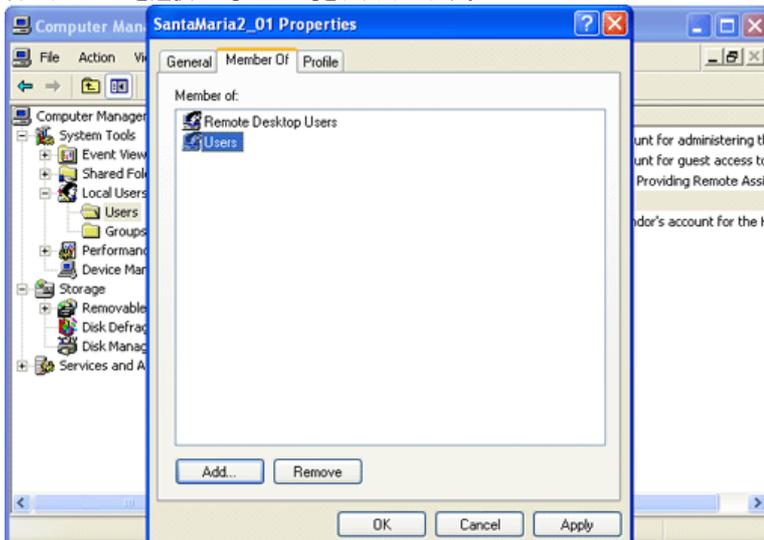
⑪ [OK]をクリックします。



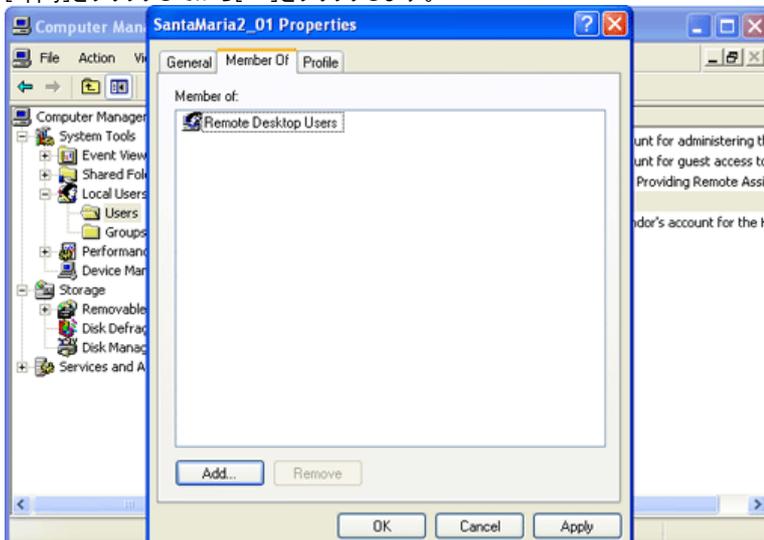
- 12 [Remote Desktop Users]リストに新しいグループが表示されます。



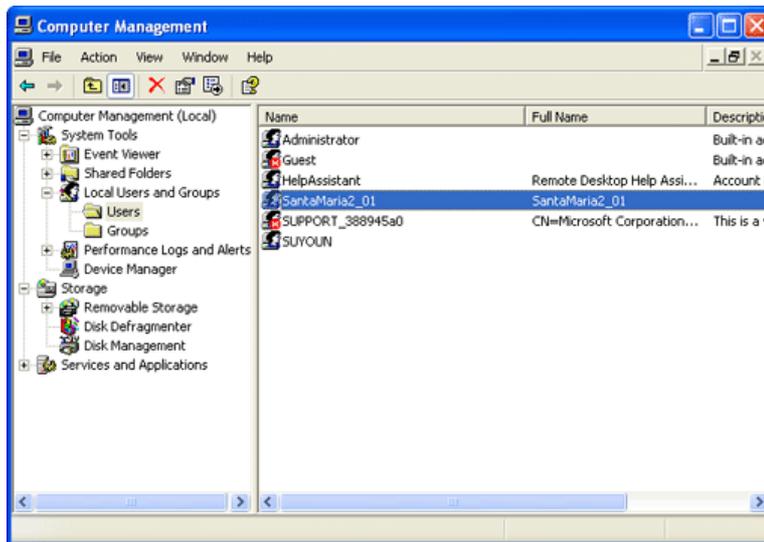
- 13 古いグループを選択して[Remove]をクリックします。



- 14 [Apply]をクリックしてから[OK]をクリックします。



- 15 新しいアカウントが作成されます。



▶ その他の便利な機能

- ▶ 他のユーザーとホストPC上にインストールされているプログラムを共有することができます。

▶ 使用前に

- 1 ホストPCは、Windows 2000/2003 Serverを使用してインストールします。

Windows XP Home/Professionalは、同時に2人のユーザーによるマルチアクセスをサポートしていません。

- 2 インストールされているOSがマウスを認識しない場合は、取り外してから再度接続してください。

- 3 MagicNetはFATフォーマットをサポートしており、NTFSなどの他のフォーマットはサポートしていません。

- 4 MagicNetの起動中に外部デバイスを切り離すと、エラーが発生することがあります。外部デバイスは、電源がオフになっているときかPCが正常に動作している場合のみ切り離してください。

- 5 自動回転は、モニターがPCに直接接続されている場合にのみ動作します。自動回転は、モニター自体でサポートしている機能ではありません。

- 6 Windows 2000 Server OSの制限事項

このサーバーOSでは、低い色数(256色)しかサポートしていません。

自動接続はサポートしていません。

[パスワードの保存]のボックスがチェックされている場合でも、接続を行う前にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

ホストPCは、モニターに接続されているUSBデバイスは検索できません。

- 7 リモコンからMagicNetを操作することができます。ただし、USBキーボードを使用することをお勧めしません。

- 8 この製品のOSでは、韓国語および英語のみをサポートしています。他の言語は正常に表示されません。

- 9 MagicNetの起動中に外部デバイスを切り離すと、エラーが発生することがあります。外部デバイスは、電源がオフになっているときかPCが正常に動作している場合のみ切り離してください。

- 10 ネットワークを使用しているときはLANケーブル(例:ビデオ表示)を外さないでください。ケーブルを外すと、実行されているプログラムが停止します。この場合には、PCを再起動します。

- 11 使用中のUSBデバイス(例:ビデオ表示)を切断しないでください。ケーブルを外すと、実行されているプログラムが停止します。この場合には、PCを再起動します。

- 12 MagicNetの実行中には、SOURCEボタンを押すと終了して他の入力信号に切り替えられます。

- 13 デフォルトのモニターパスワードは「000000」です

▶ スタンドの使用

▶ ピボットスタンド



A スタンドストッパー

※ スタンドの高さをあげてから、画面を回転してください。画面を無理に回転させるとスタンドを破損することがありますので、ご注意ください。

▶ スタンドの使用



▶ 他のスタンドの使用

▶ ベースの取付け

※ このモニターでは、100mm×100mmのVESA互換マウンティングインターフェイスパッドを使用できます。



A モニター **B** マウンティングインターフェイスパッド (別売り)

- ① モニターの電源を切り、電源コードを抜きます。
- ② 画面を保護するためにクッションを下に敷き、LCDモニターの表側を下にして平らな場所に置きます。
- ③ 4本のねじを外し、LCDモニターからスタンドを取り外します。
- ④ マウンティングインターフェイスパッドをリヤカバーマウンティングパッドの穴に合わせ、アーム型ベース、壁掛けハンガー、その他のベースに付属の4本のねじで固定します。



○ ソフトウェアの使用

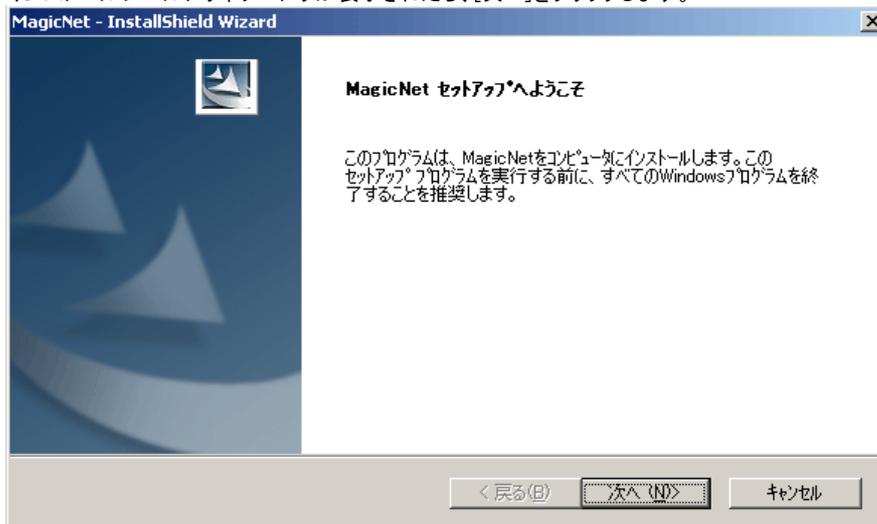
MagicNet モニタードライバ Natural Color MagicTune™ MagicRotation

▣ MagicNet (ホストPC)

[MagicNet インストール](#) | [MagicNet ヘルプ](#)

▣ MagicNet インストール

- 1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 MagicNetインストールファイルをクリックします。
- 3 インストールに使用する言語を選択して、[次へ]をクリックします。
- 4 インストールシールドウィザードウが表示されたら、[次へ]をクリックします。

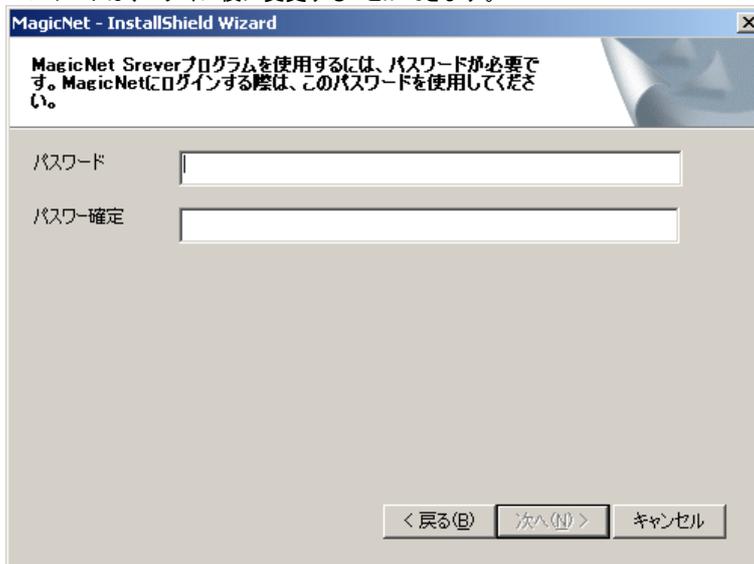


5

「使用許契約の全条項に同意します。」を選択して、使用条件を承諾します。



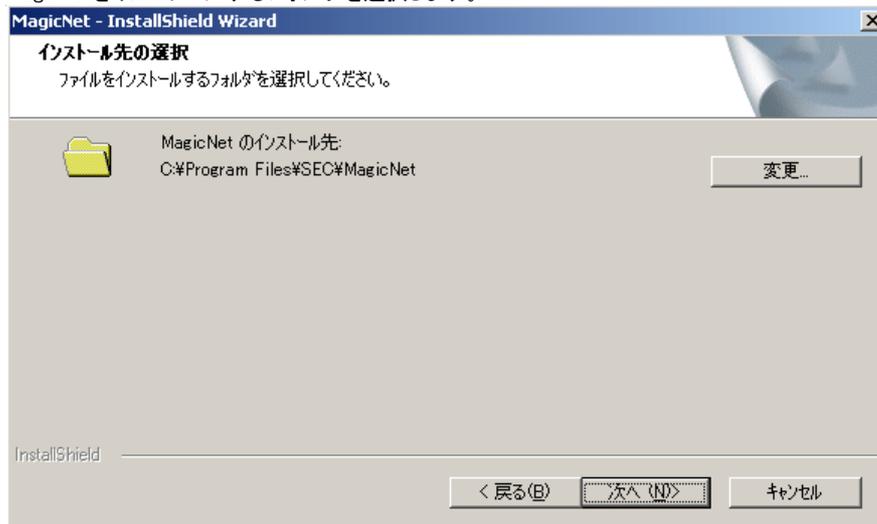
- 6 MagicNet Server プログラムにログインする必要があります。パスワードを入力してログインしてください。パスワードは、ログイン後に変更することができます。



- 7 SyncMaster 711NDを選択します。
※ 統合モデルを選択するときは、400Pn/460Pnと711NDモデルの統合フォーマットのみをインストールしてください。
単一モデルを選択するときは、一部の機能が動作しない場合があるため、適切なモデルをインストールしてください。



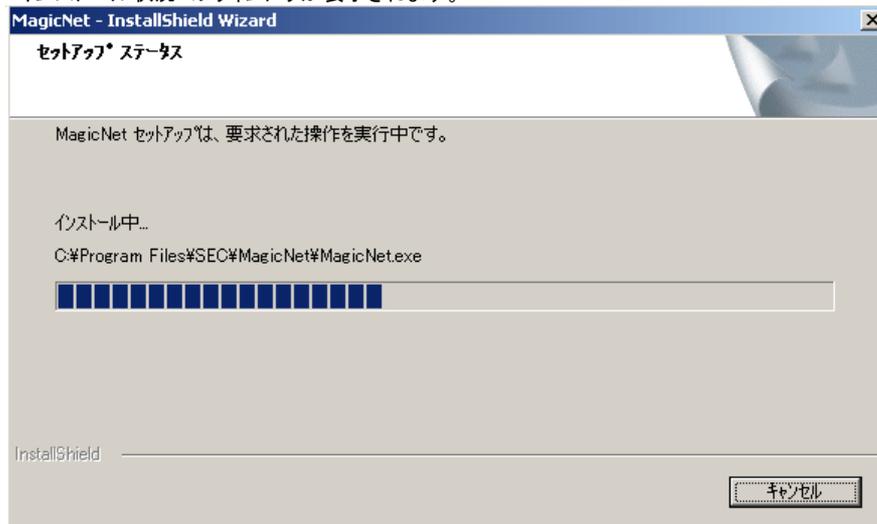
- 8 MagicNetをインストールするフォルダを選択します。



- 9 [インストール]をクリックします。

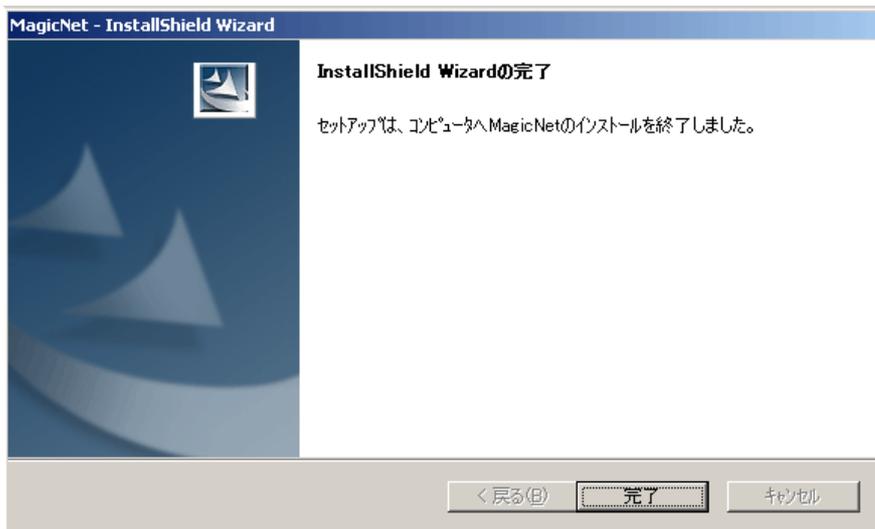


- 10 “インストール状況”のウィンドウが表示されます。



11

MagicNet Server プログラムを正常に動作させるために、システムを再起動することを推奨します。
[完了]をクリックします。



- 12 インストールが終了すると、MagicNetの実行アイコンがデスクトップに表示されます。

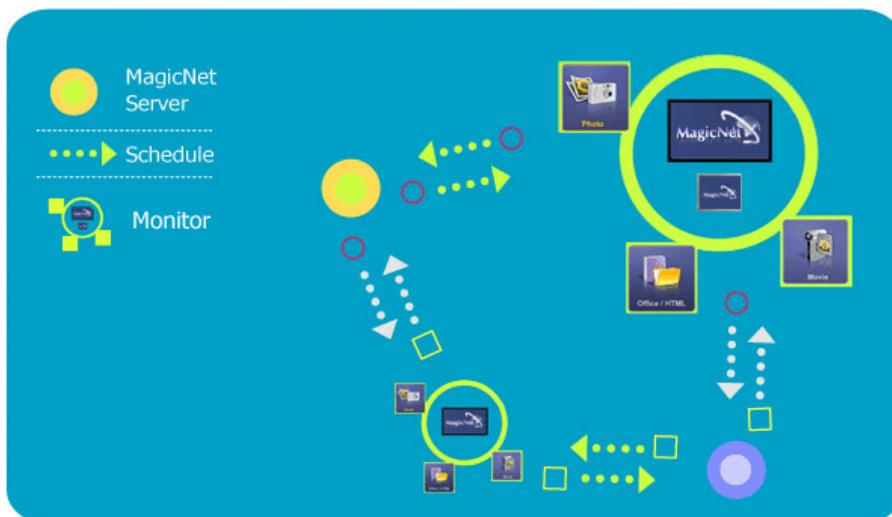


[MagicNet インストール](#) | [MagicNet ヘルプ](#)

▶ [MagicNet ヘルプ](#)



📖 [MagicNet について](#)



MagicNetは、サーバー上にあるメディアファイル(写真、オーディオおよびムービー)およびオフィスファイル(PowerPoint、Excel、Word、HTMLおよび PDF ファイル)を、サーバー/クライアントアーキテクチャのイーサネットネットワークでモニターに送信します。サーバーには多数のクライアントを接続することができ、任意のファイルをネットワークを経由して任意のモニターに送信することができます。ファイルは2つの方法で送信することができます。サーバーは、スケジュールとともに登録されたファイ

ルをモニターに送信するか、サーバーのライブラリに登録されたファイルを 検索してモニターに送信し、ネットワーク経由でそれらのファイルを受信してから再生します。複数のサーバーが接続されている場合には、モニターからサーバを選択してスケジュールを受信することができます。各モニターが自らインターネットにアクセスすることができます。

サーバーおよびモニターはネットワークを経由して接続されており、各サーバーおよびモニターはお互いを識別するために適切な名前が付けられています。したがって、サーバーの名前は通常の接続ではサーバーとクライアントで同じでなければなりません。つまり、サーバーの名前が「MagicNet」のとき、「MagicNet」に設定されているモニターだけがこのサーバーに接続できます。サーバーの名前がモニターの名前セット内に存在しないときは、同じ名前のサーバーが表示されるまで待ちます。ただし、自動接続機能が有効になっているときは、他のサーバーへの接続を試み、最初に応答したサーバーに接続します。



MagicNet で追加された機能

1. マルチディスプレイコントロール (MDC)

マルチディスプレイコントロール (MDC) は MagicNet に新しく追加された機能で、PC から複数のモニターを簡単に同時に制御することができます。

MDC は、ネットワークを経由して通常の方法で接続されているモニターの状態をチェックして制御します。



2. アカウント管理

この機能は、アカウントの権限に従って機能の操作に制限を加えて、MagicNet が不特定のユーザーによって勝手に使用されることを防止します。



3. 更新

モニターの MagicNet をサーバーから更新することができます。ただし、この機能はサーバー/モニターが MagicNet2 以降で接続されているときにのみ動作します。



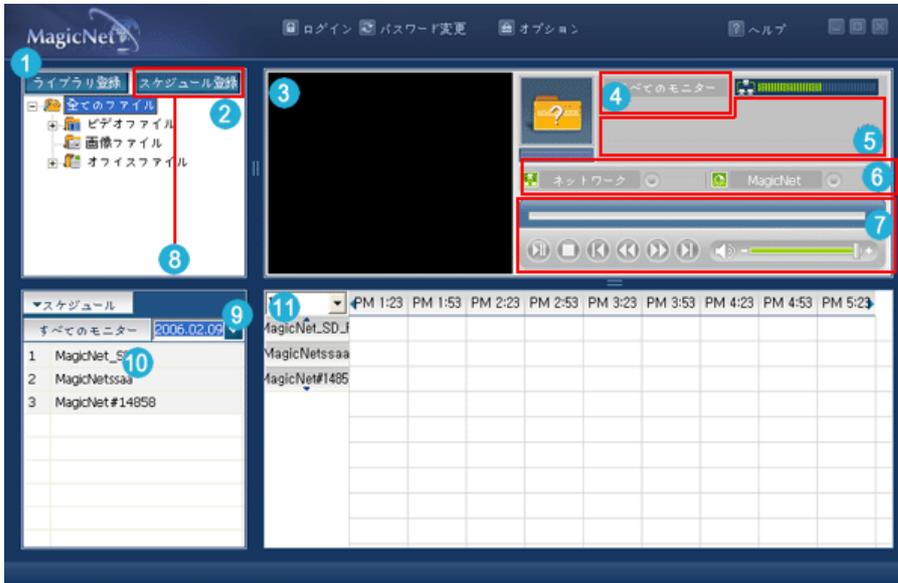
4. ローカルストレージ機器の制御/モニターの USB ファイル制御

モニターのローカルストレージ機器またはモニターに USB 接続された機器のファイルをコピーまたは削除することができます。



スケジュール OSD

! サーバプログラムのPower-Onオプションは、モニターの電源が完全にオフになっている場合にのみ機能します。モニターのエラーの原因となる場合がありますので、モニターの終了中にPower-Onオプションを使用しないようにしてください。



- 1 ライブラリへ登録
- 2 ライブラリリスト
- 3 モニタープレビューウィンドウ
- 4 すべてのモニター
- 5 ファイル情報
- 6 MagicNet/ネットワークのオン / オフ状態または画像選択メニュー
- 7 再生コントロールツール
- 8 スケジュール登録/編集
- 9 Date
- 10 ネットワークで接続されているモニター
- 11 フィールドウィンドウ



1 ライブラリへ登録 ▲Up

📁 ライブラリへ登録

ライブラリは、MagicNet プログラムに接続されたモニターから再生できるファイルのコレクションで構成されています。モニターでは、サポートされている形式のファイルを登録されているライブラリから再生することのみが可能です。ライブラリでは、サポートされている形式のファイルのみが使用できます。

- [ライブ러리登録] ボタンを押してファイルを選択すると、ライブ러리に登録することができます。
- 라이브러리は、モニターが再生できるファイルのみを登録できるように設計されています。選択されたファイルの解析が行われ、その結果が表示されます。
- 라이브러리에追加されたファイルはまず、自動的にリスト (2) でムービー、写真およびオフィスファイルに分類され、さらにファイル形式に従って分類されます。
- フィールドウインドウ (11) には、登録されたファイルと情報が表示されます。



2 라이브러리리스트 ▲Up

라이브러리에追加されたファイルはまず、自動的にリスト ムービー、写真およびオフィスファイルに分類され、さらにプロパティに従って分類されます。

- 全てのクファイル : 라이브러리에登録されているすべてのファイルを表示します。
- MOVIE : 俳優名で分類されます。
- 画像ファイル
- オフィスファイル : ファイル形式 (PowerPoint、Excel、Word、PDF、HTML) によって分類されます。
* 適切な閲覧(フリーウェア)プログラムをインストールして、MS オフィス (Word、Excel、電源 Point) または PDF 文書を表示します。



3 모니터プレビューウインドウ ▲Up

このウインドウは、라이브러리리스트 (2) に登録されていてフィールドウインドウ (11) で選択されたファイル (ムービーまたは写真ファイル) をプレビューするか、モニターの監視を行うのに使用します。

- 라이브러리에登録されたファイルを再生する
라이브러리리스트 (2) で分類項目をクリックすると、選択した項目に含まれるファイルがフィールドウインドウ (11) に表示されます。フィールドウインドウ内のファイルをダブルクリックして再生します。オーディオ、ムービーおよび画像ファイルのみが再生できます。オフィスファイルでは、ファイル情報のみが (5) に表示されます。オフィスファイルでは、ファイル情報のみが (5) に表示されます。ただし、モニターの監視が行われている場合には、監視されている情報が代わりに表示されます。



4 すべてのモニター ▲Up

モニター名横のステータスバーは、サーバーに接続されているすべてのモニターについて、ネットワーク全体の状態(トラフィック)を表示します。たとえば、ネットワークシステムの能力が 100Mbps であり、100Mbpsのネットワークカードがサーバーに取り付けられているとします。他の目的に使用されているネットワークトラフィックがなく、3台のモニターが接続されていて、それぞれのモニターが 10Mbpsのトラフィックを使用している場合、プログレスバーには30%と表示されます。

- ③ サーバーPCの環境: 推奨 (CPU: 3GHz、RAM:512M、イーサネット: 100M)
- ③ ネットワーク環境: 外部に接続されていないローカルネットワーク
- ③ - 通常: サーバーPCのネットワーク帯域幅: 50 % ~ 60 %
- ③ - 最大: サーバーPCのネットワーク帯域幅: 90 % 以上 (推奨しません)

- 4 LAN 接続環境の場合、隣接するネットワークが使用できるかどうかによって、接続できるデバイスの数が減少することがあります。



5 ファイル情報 ▲Up

現在のファイルの名前、日付、サイズおよび解像度を表示します。



6 MagicNet/ネットワークのオン / オフ状態または画像選択メニュー ▲Up

電源およびネットワークのオン / オフの状態を表示します。
画像ファイルを選択すると、対応する画像メニューに変わります。

拡張画像メニュー



スライド	<ul style="list-style-type: none">ライブラリリストでファイルが選択されている場合、ライブラリに登録されている画像ファイルを連続して表示します。スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、ライブラリに登録されている画像ファイルを連続して表示します。
前	<ul style="list-style-type: none">ライブラリリストでファイルが選択されている場合、前のファイルを表示します。スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、前のファイルを表示します。
次	<ul style="list-style-type: none">ライブラリリストでファイルが選択されている場合、次のファイルを表示します。スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、次のファイルを表示します。
停止	<ul style="list-style-type: none">ライブラリリストでファイルが選択されている場合、スライドショーを停止します。スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、スライドショーを停止します。スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、スライドショーを停止します。
全画面	画像ファイルを画面全体に合わせて拡大/縮小します。 画面をダブルクリックすると、元の画像サイズに戻ります。



7 再生コントロールツール ▲Up

ムービーまたはオーディオファイルの再生時に、再生、停止、次または前のファイルへの移動および音量の制御を行います。



再生 / ポーズ

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合
ライブラリに登録されているオーディオ / ムービーファイルを連続して再生します。
- スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、
ライブラリに登録されているオーディオ / ムービーファイルを連続して再生します。



停止

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合
オーディオ / ムービーファイルの再生を停止します。



前へ / 次へ

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合
ライブラリ内の 1 つ前 / 次のファイルを再生します。
- スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、
スケジュールリストの 1 つ前 / 次のファイルを再生します。



最初 / 最後の 5 秒間

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合
ファイル内の最初 / 最後の 5 秒間を再生します。
- スケジュールによって再生されている情報を監視している場合、
ファイル内の最初 / 最後の 5 秒間を再生します。



8 スケジュールの登録/編集 ▲Up

モニター上で実行するファイルを前もって登録することができます。

[スケジュール登録]メニュー

- ライブラリ: ライブラリからスケジュールを登録**
サーバーPC上のファイルから、ライブラリの登録処理によって追加されたファイルをスケジュールに登録することができます。
 - すでに登録されているファイルの中からファイルを選択するか、スケジュールの登録ウィンドウからランダムにファイルを選択する場合、ファイルはライブラリの登録処理によってスケジュールファイルとして選択されます。
 - スケジュールファイルの画像ファイルを選択するとき、BGMを以下の音楽ファイルから追加することができます。スケジュールファイルが画像ファイルでない場合、BGMの[追加]/[削除]ボタンは有効になりません。
- ストレージ: ストレージファイルスケジュールの登録**
モニターのローカルストレージ、またはモニターに接続されているUSB機器からファイルを選択して、選択したファイルをスケジュールに登録することができます。
 - モニターリストから、登録するスケジュールを選択します。
スケジュールファイルの[追加]/[削除]ボタンは、現在サーバーに接続されているモニターを選択したときにのみ有効になります。
 - モニターのローカルストレージデバイスから、またはモニターに接続されているUSB機器から、[追加]ボタンを押してファイルを追加することができます。この場合、サーバー上のライブラリ登録処理は行われません。
- 入力/出力: 入力信号またはモニターの電源オフをスケジュールに登録することができます。**

1. 出力信号またはモニターの電源の変更をスケジュールすることができます。
2. モニターリストでスケジュールを登録するモニターを選択してから、入力信号または電源オフを[Input/Power Selection]から選択します。
3. スケジュールの時刻を設定して[confirm]ボタンを押します。スケジュールの開始時に登録された出力信号に変更され、スケジュールが終了するとMagicNetのメニュー画面に正確に戻ります。

1. モニターの選択

ネットワークを経由しているモニターから、スケジュールの追加先としてすべてのモニターまたは特定のモニターを選択できます。

2. ファイルの追加/削除のスケジュール

スケジュールに追加するファイルを選択、追加または削除することができます。

3. スケジュール

○ 開始時刻

これはスケジュールの開始時刻を意味し、年/月/日/時/分を入力することができます。現在の日付から7日間の範囲でスケジュールの開始時刻を設定することができますが、7日目より後の時刻の設定はできません。

○ 総実行時間

スケジュールされている時間の総計

○ リピート機能

- 日/週/月の間隔でスケジュールを繰り返す場合に、繰り返しの間隔と繰り返しを終了する日付を選択します。この繰り返しの終了日は、1年後の今日の日付までの範囲で設定できます。
- 繰り返しオプションを選択しない、または繰り返しの終了日を選択しない場合には、既定ではスケジュールが1回追加されます。

4. オプション

○ 既存のスケジュールに追加

- 既存のスケジュールの総再生時間に影響を与えないで、新しいスケジュールを挿入することを意味します。
- 新しいスケジュールが既存のスケジュールの終了時刻に挿入されると、ユーザーが選択した開始時刻は無視され、開始時刻は既存のスケジュールの終了時刻後に変更されます。
- 新しいスケジュールが既存のスケジュールの開始時刻に挿入されると、既存のスケジュールの開始時刻は新しいスケジュールの終了時刻より後に変更されます。

○ 既存のスケジュールを無視して上書き

既存のスケジュールは無視され、新しいユーザースケジュールが指定された時刻に上書きされます。新しいスケジュールが既存のスケジュールと重なる場合は、既存のスケジュールは新しいスケジュールで上書きされるため、その時刻が変更されるか削除される場合があります。

9 Date ▲Up

今日(9), 以降の日付の指定されている登録済みのスケジュールをフィールドウィンドウ(11)に表示します。

10 ネットワークで接続されているモニター ▲Up

ネットワークに登録されているモニターの名前のリストを表示します。
モニターがネットワークに接続されている場合には、背景色が黄緑色になります。

● 他のサーバーに自動的に再接続

1. 現在サーバーに接続されているモニターをモニターリストで選択して、マウスで右クリックすると、[他のサーバーに自動的に再接続]というタイトルの項目が表示されます。
2. [他のサーバーに自動的に再接続]を選択すると、このメニュー項目の前にあるフィールドがマークされ、モニターの[Setup]→[Network Setup]の[他のサーバーに自動的に再接続]オプションもマークされます。
3. このメニューを選択すると、[Setup]で定義された名前のサーバーへの接続が行えないときに、モニターが別のサーバーを探して見つかったサーバーに接続できるようになります。
たとえば、S1とS2という2台のサーバーと、S1サーバーに接続されているモニターCがあるとし、S1への接続に失敗したか停止すると、Cは自動的にS2サーバーに接続します。

● 更新

1. 現在サーバーに接続されているモニターをモニターリストで選択して、マウスで右クリックすると、メニューに[Update]というタイトルの項目が表示されます。この項目を使って、モニター上のMagicNet(ファイル名: NK.bin)を更新することができます。
2. この項目は、モニターがサーバーに接続されていないときには無効になります。
3. [Update]を選択すると、ウィンドウがポップアップします。NK.binのパスを探して選択し、[Update]ボタンをクリックします。
更新は、次の2段階で行われます。
ダウンロード(更新ファイルをモニターに保存)→更新(MagicNetのインストール)
4. ダウンロードの段階でこの機能をキャンセルすることができますが、更新段階に入るとキャンセルできません。
5. 更新が完了すると、モニターは自動的に再起動されます。
6. 正常でないファイルで更新を行おうとすると、警告メッセージが表示され更新は行われません。
7. ダウンロードが終了するまでは、モニターの電源がオフにならないようにしてください。
さらに、出力信号がPCの場合には、更新を行っている間は接続されているPCの電源オプションにあるモニターオフ機能をオフにしておいてください。
MagicNetが正常に動作しなくなります。
更新中に電源がオフになった場合は、弊社アフターサービスセンターにご連絡ください。

● スケジュールチェック

1. **すべてのモニターを選択:**
登録されているモニターのすべてのスケジュールを、フィールド(🔍)でチェックします。
マウスの右クリックで電源のオン/オフの切り替えと、フィールドの削除を行うことができます。
さらに、モニターの名前を変更することができます。



サーバープログラムのPower-Onオプションは、モニターの電源が完全にオフになっている場合のみ機能します。モニターのシステムエラーの原因となる場合がありますので、モニターの終了中にPower-Onオプションを使用しないようにしてください。

2. **モニターの選択:**
対応するモニターのスケジュールを順番に並べます。

● 名前の変更

新しい名前を入力して[confirm]をクリックします。新しい名前が保存されます。



⑪ フィールドウィンドウ ▲Up

ファイルのステータスを表示します。

- スケジュールで [すべてのモニター] を選択しているときは、各モニターについて登録されているすべてのスケジュールを表示することができます。
- スケジュールをダブルクリックして、時刻を変更します。
- モニターリストでモニターが選択されている場合、パスを含むファイル名、カテゴリ、開始時刻、終了時刻および再生時間が表示されます。

1. モニターリスト (⑩) で [すべてのモニター] エントリが選択されている場合、スケジュールはリストには表示されませんが、ボックス型のイメージが表示されます。モニターリスト内にあるすべてのモニターのスケジュールがここに表示されます。ボックス型スケジュールを、ダブルクリックして時刻を変更したり、スケジュールを別の位置にドラッグ & ドロップしたり、右マウスボタンをクリックしたときに表示されるメニューを使用してスケジュールの切り取り、削除および貼り付けを行うことができます。
2. モニターリスト (⑩) でモニターをクリックすると、そのモニターのスケジュールがリストに表示されます。スケジュールを右クリックすると、スケジュールのコピー、削除または編集を行うためのコンテキストメニューが表示されます。[編集] メニューを使用すると、選択したファイルおよび時刻を変更することができます。[コピー] メニューを使用すると、コピーするモニターを選択することができます。
3. ライブラリに登録されたファイルがリストに表示されます。リスト内のファイルを右クリックするとメニューが表示され、そのメニューに従ってスケジュールのプロパティを表示したり、スケジュールを削除することができます。また、選択したファイルを直接スケジュールに挿入することもできます。

MagicNet | スケジュール | MDC調整 | 上部メニュー | リモートコントロール | プログラムの削除 | トラブルシューティング | 仕様
について | OSD | 調整

MDC調整

マルチディスプレイコントロール(MDC)は、複数のモニターをPCから簡単に制御するための機能です。

MDCは、ネットワークを経由して通常の方法で接続されているモニターの状態をチェックして制御します。

制御方法

1. モニターリストウィンドウからMDCを選択すると、モニターリングウィンドウとスケジュールウィンドウがそれぞれモニターステータスを表示するウィンドウと制御ウィンドウに変わります。
2. まず、クライアントリストウィンドウで制御するモニターを選択します。
3. [All Monitors]を選択すると、すべてのモニターが選択されます。
4. 最初にモニターを選択せずに各タブの個々の機能を実行すると、警告メッセージが表示されません。
5. モニターを選択してから、各MDCタブをクリックして個々の機能を実行します。この場合、出力信号について調整できないメニューを実行したときは、「Adjustment unavailable」という警告が表示されます。さらに、調整できるメニューを実行しているときに、選択した値がモニターに適用され、その結果がMDCステータスウィンドウに反映されます。モニターに適用されない場合は、MDCステータスウィンドウにも反映されません。



MDC機能は、モニターの動作についての仕様に準拠しています。

MDC調整 (SyncMaster 400Pn/460Pn)



- ① 電源
- ② SOURCE
- ③ イメージ
- ④ 時刻
- ⑤ 同時画面
- ⑥ 設定
- ⑦ メンテナンス



① 電源 ▲Up

電源：電源のオン/オフを切り替えます。

- オン
- オフ

音量：音量を変更するとき、変更された詳細がモニター画面上的のOSDに表示されます。

- 0 ~ 100



② 外部入力 ▲Up

外部入力タブで、モニターの出力行号を変更できます。
以下の出力信号を選択したときには、対応する出力信号に切り替わります。
対応する機器が接続されていない場合、画面に「Connection required」と表示されます。

- PC

- BNC
- DVI
- AV
- S-映像
- コンポーネント
- MagicNet



③ イメージ ▲Up

画像サイズ

PC以外のTV/AV入力信号から現在送られているイメージのサイズを調整することができます。

1. サイズ

以下のオプションのいずれかを選択してサイズを調整します。

- 16 : 9
- パノラマ
- ズーム1
- ズーム2
- 4 : 3

2. 色の濃さ

PC信号の出力画面サイズを調整します。
調整できない入力信号についてサイズを変更しようとすると、警告メッセージがモニターに表示されます。

- コントラスト
- 明るさ
- シャープネス
- 色の濃さ
- 色あい
- 色温度

画像サイズPC

PCイメージのサイズを調整します。

1. サイズ

以下のオプションのいずれかを選択してサイズを調整します。
使用できない入力信号のイメージサイズを調整しようとすると、警告メッセージが表示されます。

- 16 : 9
- 4 : 3

2. ピクチャ

出力信号がPC信号の場合に、
モニターのコントラスト、明るさ、シャープネス、カラー、色合い、およびカラートーンを調整します。

- コントラスト
- 明るさ
- 赤
- 緑
- 青



4 時刻 ▲Up

1. 現在の時刻

モニターの標準時刻を設定します。
[時]、[分]および[am/pm]で時刻を選択し、[適用]ボタンをクリックします。
モニターの現在の標準時刻が設定されます。
オン/オフタイマーを有効にするには、現在の時刻を設定しなければなりません。

- 時
- 分
- am/pm

2. オンタイマー

時刻、出力信号および音量を選択して、[適用]ボタンをクリックします。指定した信号と音量で、指定した時間にモニターがオンになります。[オン]がオフになっている場合、オンタイマーは動作しません。

- 時
- 分
- am/pm
- オン
- 外部入力
- 音量

3. オフタイマー

時刻を選択して[適用]ボタンをクリックします。設定した時刻にモニターがオフになります。[オン]がオフになっている場合、オフタイマーは動作しません。

- 時
- 分
- am/pm
- オン



5 同時画面 ▲Up

1. サイズ

サイズを選択します。(サイズ選択には「ON」機能があります)

- オフ
- 大
- 小
- 2倍1
- 2倍2
- 2倍3

2. 外部入力

同時画面に出力する信号を選択すると、対応する信号が同時画面に適用されます。同時画面が適用されないかメイン/サブの組み合わせが使用できない信号を変更しようとすると、モニターに警告メッセージが表示されます。

- PC
- BNC
- DVI
- AV
- S-映像
- コンポーネント



6 設定 ▲Up

1. オーディオ

ベース、トレブルおよびバランスの調整を行い、Dolby Virtualオン/オフ、BBEオン/オフおよび同時画面の音声選択におけるメイン/サブの設定を行います。調整を行っているときに、変更はモニター画面のOSDとして表示されます。

- 低音
- 高音
- バランス
- ドルビーバーチャル
- BBE
- 音声選択

2. 画面調整

荒さ、細かさ、および位置を選択します。

- 粗調整
- 微調整
- 位置
- 自動調整



7 メンテナンス ▲Up

1. ライト調整

ランプの強度を制御することができます。

((自動/手動が選択できます。[Auto](自動)にすると[Manual](手動)がオフになり、[Manual]にすると[Auto]がオフになります。)

自動モードでは、ランプは前に設定した値に調整されます。

手動モードでは、前の値が維持されます。

- 自動
- 時
- 分
- am/pm
- 値

- マニュアル

2. スクロール

この機能は、同じ画面が継続的に維持されるときに、画面ステータスが変更されないようにします。

[時間]と[時刻]を選択して[適用]ボタンを押すと、画面は前に[時間]で設定した速度で下にスクロールします。

たとえば[時間]が1で[時刻]が5の場合、画面は1時間ごとに更新5秒の速さで更新されます。

- 時間
- 時刻

3. 画像分割

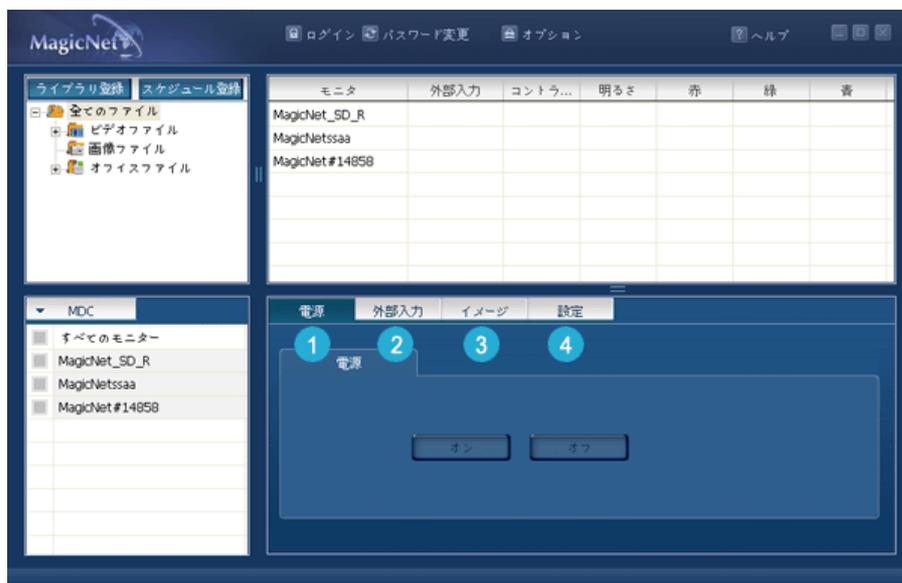
これは、複数のモニターを1つの画面として使用することができる機能です。まず、使用するモニターの数とその配置を設定するボタンを選択します。側面に選択可能なボタンとして配置図が表示されます。

たとえば、2*2を選択すると2行2列の形の選択ボタンが表示され、この配列の中で3を選択すると出力画面の3番目の画面が4つに分割されてモニターに表示されます。

- 2*2
- 3*3

- 4*4
 - 1*5
 - 5*1
 - オフ
- フォーマット

 MDC調整 (SyncMaster 711ND)



- ① 電源
- ② 外部入力
- ③ イメージ
- ④ 設定



① 電源 ▲Up

電源のオン/オフを切り替えます。

- オン
- オフ



② 外部入力 ▲Up

外部入力タブで、モニターの出力信号を変更できます。

- PC
- MagicNet



③ イメージ ▲Up

色密度、MagicBrightおよびリセットの調整を行います。

- 色の濃さ
- MagicBright
- 初期化



④ 設定 ▲Up

画質、位置および自動調整の設定を調整します。

- 粗調整
- 微調整
- 位置
- 自動調整



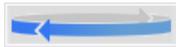
📄 メッセージ OSD

① メッセージ

サーバーへのメッセージおよび送信前に必要なオプション設定を入力するとき、選択したクライアントモニターにメッセージが表示されます。

- 表示オプション：

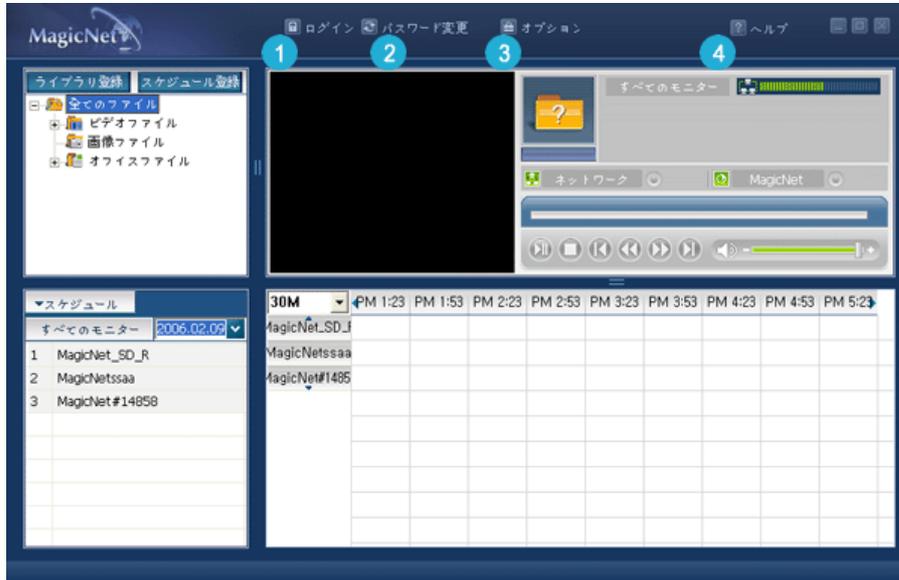
- 1度に1行ずつ表示されます。



- 開始: 選択したモニターについてのメッセージを表示します。
- 停止: 選択したモニターについてのメッセージの表示を停止します。
- クリア: メッセージ編集ボックスのテキストを変更することができます。
- 表示時間: 時間と分で示されます。
- フォント: ポイント単位のサイズ、テキスト文字色および背景色を指定できます。
- ボツツヨン: テキストを一番上または下に表示します。



上部メニュー



- ① ログイン / ログアウト
- ② パスワード変更
- ③ オプション
- ④ ヘルプ

① ログイン / ログアウト ▲Up

MagicNetを使用するには、まずログインする必要があります。ログインに成功したら、[ログイン]ボタンが[ログアウト]ボタンに変わります。機能の多くは、使用するためにログインする必要があります。MagicNetを最初にインストールするときには、ユーザーが入力したパスワードを元にしてAdministrator(管理者)アカウントが作成されます。アカウントを追加するときには、3つのアカウントタイプから選択し、選択したアカウントタイプによって利用できるMagicNetの機能の範囲が決定されます。新規ユーザーの追加だけでなく、既存のユーザーのアカウントを変更または削除することができます。

アカウントタイプ	範囲
管理者	すべてのMagicNet機能を使用する権限を持ちます。
パワーユーザー	MagicNetの[オプション]メニューおよび更新機能を使用する権限がありません。
オペレーター	MagicNetの機能のうち、[ライブラリ登録]、[オプション]メニュー、[MDC]および[モニターリスト]でのマウスの右ボタンクリックを使用する権限がありません。

- ユーザー名
- パスワード
- アカウントタイプ



② パスワード変更 ▲Up

ログインする前に正しいパスワードを入力します。
 MagicNetをインストールするためにパスワードの入力が求められ、このパスワードがAdministrator(管理者)アカウントの既定のパスワードになります。
 パスワードを忘れた場合は、プログラムを削除して再インストールしてください。

- 旧パスワード
- 新パスワード
- パスワード確定



③ オプション ▲Up

1. サーバー名

[オプション]で、接続情報のサーバー名を指定することができます。サーバーとモニターはネットワークで接続されており、識別するために適切な名前を持っています。通常の接続の場合は、サーバーとモニターでサーバー名が一致している必要があります。つまり、サーバーの名前がMagicNetの場合、サーバー名が「MagicNet」に設定されているモニターだけがそのサーバーに接続してスケジュールを受信することができます。モニターにその名前が設定されているサーバーがないときには、この名前に一致するサーバーが表示されるまで待機します。ただし、自動接続機能がオンになっているときには、任意のサーバーに接続を試みて最初に応答したサーバーに接続します。

- サーバー名

2. ユーザーアカウント

MagicNetを最初にインストールするときには、ユーザーが入力したパスワードを元にして管理者アカウントが作成されます。
 アカウントを追加するときには、3つのアカウントタイプから選択し、選択したアカウントタイプによって利用できるMagicNetの機能の範囲が決定されます。新規ユーザーの追加だけでなく、既存のユーザーのアカウントを変更または削除することができます。

アカウントタイプ	範囲
管理者	MagicNetのすべての機能を使用する権限を持ちます。
パワーユーザー	MagicNet機能のうち、[オプション]メニューおよび更新機能を使用する権限がありません。
オペレーター	MagicNetの機能のうち、[ライブラリ登録]、[オプション]メニュー、[MDC]および[モニターリスト]でのマウスの右ボタンクリックを使用する権限がありません。

- 作成
- 変更
- 削除

3. ファイル管理

ファイル管理は、ファイルのコピーまたは削除を行います。
 ファイルのコピーは、サーバーのフォルダ→サーバーのフォルダ、サーバー→モニター、モニター→モニターで行うことができます。モニターからモニターへのコピーは、同じモニター上でのみ(すなわち、同じモニター上の別のハードドライブへのコピー)可能です。[モニター選択]リストには、サーバーの[マイコンピュータ]とサーバーに接続されているモニターのみが表示されます。

コピー	削除

[オプション]→[ファイル管理]を選択すると、[ファイル管理]ウィンドウが表示されます。選択リストからサーバー/モニターを選択します。モニターを左側のウィンドウから選択するときには、同じモニターのみ選択することができます。コピー対象のファイルを選択したら、[コピー]ボタンを押します。ファイルのコピーが行われます。コピー対象のファイルが写真/音楽/動画/Officeファイルでない場合は、エラーメッセージが表示されコピーが中止されます。さらに、ファイルサイズがコピー先の空き容量より大きい場合にも、コピーが中止されます。

ファイルのコピーと同じ手順で削除するファイルを選択し、[削除]ボタンをクリックします。ファイルがドライブから完全に削除されます。(リストはすぐに更新されます)

ただし、現在実行中のファイルを削除しようとすると、「ファイルの削除に失敗しました」というエラーメッセージが表示されます。

- コピー
- 削除

4. ネットワーク機器

モニターに接続されているネットワークデバイスを選択することができます。これは、特にPC上で複数のデバイスが実行されているときに便利です。

- OK
- 取り消し

5. モニター更新

同時に複数のモニターをアップデートすることができます。機能は、同時に複数のモニターをアップデートする必要があるときに便利です。

アップデートするファイルとアップデートユーティリティファイル(NK.bin)を選択して[Update]をクリックすると、アップデート処理が2つのステップで行われます。ダウンロード(更新ファイルをモニターに保存)→更新(MagicNetのインストール)の順で行われます。

完了したら、モニターが自動的に再起動されます。

この処理でエラー(誤ったファイル)が検出された場合には、警告メッセージが表示されアップデート処理が停止します。

ダウンロードが完了したら、アップデート中はモニターの電源を切らないようにします。出力信号がPCのとき、PCにモニターオフ機能がある場合には無効にしておきます。

無効になっていない場合には、MagicNetが正常に動作しないことがあります。アップデート処理中にモニターがオフになる場合には、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。

- モニター更新

6. モニターモデル

サーバーに接続されたモニターがSyncMaster 460Pn/400Pnまたは統合モデル(複合タイプ)に変更された場合には、サーバーはモデルに応じて変更されます。

サポートされるファイル形式、MDCおよびメッセージ関連の機能は、選択したモニターのモデルによって異なることに注意してください。

- SyncMaster 400Pn/460Pn
- SyncMaster 711ND
- 組み合わせ



4 ヘルプ ▲Up

1. ヘルプ

プログラムのヘルプを起動します。

2. MagicNetについて

プログラムのバージョンと著作権の詳細を示します。



リモートコントロール 調整

PHOTO

サポートするファイルフォーマット

Photo : JPG, BMP

リモートコントロール

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合



- ◀◀ 前のファイル
- スライドショーの停止 / ボトムメニューバーの表示
- ▶▶ スライドショー
- ▶▶ 次のファイル

- 画像を拡大してメニューが見えなくなったとき



- ⤴ 画像の一番上に移動
- ⤵ 画像の一番下に移動
- ⤴ 画像の左側に移動
- ⤵ 画像の右側に移動

MUSIC (SyncMaster 400Pn/460Pnのみ)

サポートするファイルフォーマット

MUSIC : MP3

リモートコントロール

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合



	カーソル位置のファイルを表示 / プレイバック中に再生 / ポーズ
	再生の停止
	5 秒間再生
	5 秒前を再生
	一番上に移動(カーソルが一番上にあるときには、前のページの最後にあるファイルに移動します)
	一番下に移動(カーソルが一番下にあるときには、次のページの最初にあるファイルに移動します)
	次のページに移動(現在のページが最初のページ のときには、最後のページに移動します)
	前のページに移動(現在のページが最後のページ のときには、最初のページに移動します)
	カーソル位置のファイルを再生

MOVIE

サポートするファイルフォーマット

MOVIE : MPEG1/2(SyncMaster 400Pn/460Pn)

MOVIE : MPEG1/2/4, WMV9 (SyncMaster 711ND)

リモートコントロール

- ライブラリリストでファイルが選択されている場合



	一番上に移動(カーソルが一番上にあるときには、前のページの最後にあるファイルに移動します)
	一番下に移動(カーソルが一番下にあるときには、次のページの最初にあるファイルに移動します)
	次のページに移動(現在のページが最初のページ のときには、最後のページに移動します)
	前のページに移動(現在のページが最後のページ のときには、最初のページに移動します)
	カーソル位置のファイルを再生

- 再生

	プレイバック中に再生 / ポーズ
	再生の停止
	5 秒前を再生



5 秒間再生

OFFICE

サポートするファイルフォーマット

Office : MS Office(Word, Excel, Power Point), HTML, PDF

* 適切な閲覧(フリーウェア)プログラムをインストールして、MS オフィス(Word、Excel、電源 Point)またはPDF文書を表示します。

リモートコントロール

ライブラリリストでファイルが選択されている場合



一番上に移動(カーソルが一番上にあるときには、前のページの最後にあるファイルに移動します)



一番下に移動(カーソルが一番下にあるときには、次のページの最初にあるファイルに移動します)



次のページに移動(現在のページが最初のページ
のときには、最後のページに移動します)



前のページに移動(現在のページが最後のページ
のときには、最初のページに移動します)



カーソル位置のファイルを再生

PDF



一番上に移動



一番下に移動



次のページに移動



前のページに移動



PDFの終了

Excel



上のセルに移動



下のセルに移動



左のセルに移動



右のセルに移動



前のページに移動



次のページに移動



右のシートに移動



左のシートに移動



Excelの終了

• PowerPoint(標準)



一番上に移動



一番下に移動



前のページに移動



次のページに移動



スライドショー



Power pointの終了

• PowerPoint(スライドショー)



スライドショーの停止



一番上に移動



一番下に移動



前のページに移動



次のページに移動



Power pointの終了

• Word



一番上に移動



一番下に移動



前のページに移動



次のページに移動



Wordの終了

• HTML



一番上に移動



一番下に移動



前のページに移動



次のページに移動



Htmlの終了

• Internet



マウスカーソルを上へ移動



マウスカーソルを下へ移動



マウスカーソルを左へ移動



マウスカーソルを右へ移動



リンク上にカーソルが移動したときにクリック(リンク先への移動)



インターネットの終了

プログラムの削除

MagicNetの削除は、Windows プログラムの[プログラムの追加と削除]オプションまたはこのプログラムをインストールするときに表示される削除メニューを使って行うことができます。

MagicNetを削除するには以下の手順に従います。

1. **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**を選択します。
2. Windows XP では、**[スタート]** → **[コントロール パネル]**を選択します。
3. コントロールパネルの **[プログラムの変更と削除]** アイコンをダブルクリックします。
4. **[プログラムの変更と削除]** ウィンドウで MagicNetを選択し、ハイライトさせます。
5. **[変更/削除]**をクリックして削除します。
6. **[はい]**をクリックして、MagicNetの削除を開始します。
7. プログラムの削除が完了したことを示すウィンドウが表示されるまで待ちます。

トラブルシューティング

? プレビューで、画像ではなくファイル情報が表示されます。



オフィスファイルは表示されません。ファイル形式を確認してください。
サーバーのコーデックが利用できないときには、ファイルが表示されません。まずコーデックを確認してください。



1 台の PC にさまざまなコーデックがインストールされている場合、コーデック間の矛盾によってプログラムエラーが発生することがあります。コーデックが正しくインストールされていない場合、プログラムの不具合やファイルの再生エラーが発生することがあります。

? プレビューの実行中に、プログラムが停止します。



ムービーまたはオーディオファイルを プレビューで再生するとき、プレーヤーは動作せずに停止し、コーデックが使用できるかどうかファイルのチェックを行います。1 台の PC にさまざまなコーデックがインストールされている場合、コーデック間の矛盾によってプログラムエラーが発生することがありますので注意してください。コーデックが正しくインストールされていない場合、プログラムの不具合やファイルの再生エラーが発生することがあります。

? スケジュールが指定した時間に正しく実行されないとき:



モニターとネットワークにおける MagicNet のステータスを確認してください。
さらに、モニターでスケジュールの休止機能が有効になっていないか確認してください。
スケジュールは、MagicNet のステータスとネットワークがオンになっているときにのみ実行され、モニターのスケジュールが休止しているときには実行されません。



電源が切断されてから回復したとき、またはネットワークが切断されて再接続されたとき、現在のスケジュールはスタートに戻ります。

? モニターアイコンが緑色(正常動作)ではなく空色に表示されます。



これは、ネットワークの構成は正常に行われていますが、サーバーとモニター間の接続が適切に行われていない場合に発生することがあります。これは、モニターが対応しているサーバー以外の他のサーバーに接続されているか、ネットワーク状態が正常でないときに発生することがあります。
モニターのネットワーク接続を確認してください。

? パスワード/ログイン



MagicNet のインストール時にユーザーが入力したパスワードは、Administrator(管理者)アカウントの既定のパスワードになります。



パスワードを忘れた場合は、プログラムを削除して再インストールしてください。

📄 仕様

🟢 サポートするファイルフォーマットの仕様 (SyncMaster 400Pn/460Pn)

	ファイル形式	解像度	ビットレート		オーディオ
			CBR	VBR	サンプリングレート
ビデオ	MPEG1	720x480 以下	9Mbps 以下	ピークビットレート	-
	MPEG2 (PS)			9Mbps 以下	
オーディオ	MP3	-	利用可能	利用不可	16kHz 以上
写真	JPEG	3500 x 2625 以下	-	-	-
	BMP		-	-	-
Office	Excel (5MB 以下)、Word (5MB 以下)、Power Point (10MB 以下)、PDF (10MB 以下)				



動画では、WMV および MPEG1 コーデックのみデフォルトで提供されています。
WMV および MPEG1 以外の必要なコーデックをインストールして使用できます。(オプション)

ただし、コーデックによっては互換性が保証されません。

- ❗ MPEG2 では、PS(Power Stream)のみがサポートされており、TS(Transport Stream)はサポートされていません。
- ❗ JPEG、EXIF形式(デジタルカメラ)はサポートされていません。(ただし、Samsungのデジタルカメラはサポートされています)
- ❗ Officeファイルは、ファイルサイズによってはモニターに表示するのに時間がかかる場合があります。

➤ サポートするファイルフォーマットの仕様 (SyncMaster 711ND)

	ファイル形式	解像度	ビットレート		オーディオ
			CBR	VBR	サンプリングレート
ビデオ	MPEG1/2/4, WMV9	1920x1080 以下	20Mbps 以下	ピークビットレート 24Mbps 以下	-
写真	JPEG	3500 x 2625 以下	-	-	-
	BMP		-	-	-
Office	Excel(5MB以下)、Word(5MB以下)、Power Point(10MB以下)、PDF(10MB以下)				

- ❗ 動画では、WMVおよびMPEG1コーデックのみデフォルトで提供されています。WMVおよびMPEG1以外の必要なコーデックをインストールして使用できます。(オプション)ただし、コーデックによっては互換性が保証されません。
- ❗ MPEG2 では、PS(Power Stream)のみがサポートされており、TS(Transport Stream)はサポートされていません。
- ❗ JPEG、EXIF形式(デジタルカメラ)はサポートされていません。
- ❗ Officeファイルは、ファイルサイズによってはモニターに表示するのに時間がかかる場合があります。

➤ Officeファイルビューアの制限事項

Office 97より前のバージョンのMicrosoft Officeで作成されたファイルはサポートしていません。Microsoft Visual Basic®マクロプログラミング言語はサポートしていません。

Windows CEベースのデバイスで一時ファイルを保管するのに十分なメモリ容量がない場合には、非常に大きいドキュメントまたは大きなサイズのグラフィックを含むドキュメントは、開くことができないか、すべての内容を表示できないことがあります。

➤ ネットワーク設定(デバイス数)

	ビットレート	通常	最大
ビデオ	4Mbps	10	20
	6 Mbps	8	16
	9 Mbps	5	9
写真	-	20 以上	-

- ❗ サーバーPCの環境: 推奨(CPU: 3GHz、RAM:512M、イーサネット: 100M)
- ❗ ネットワーク環境: 外部に接続されていないローカルネットワーク
 - 通常: サーバーPCのネットワーク帯域幅: 50% ~ 60%
 - 最大: サーバーPCのネットワーク帯域幅: 90% 以上(推奨しません)
- ❗ LAN 接続環境の場合、隣接するネットワークが使用できるかどうかによって、接続できるデバイスの数が減少することがあります。

➤ サーバーのシステム要件

	CPU	RAM	イーサネット	OS	アプリケーション
最小	P1.8GHz	256 M	100 M	Windows XP	WMP 9 以降
推奨	P3.0 Ghz	512 M		Windows 2000 (Service Pack 4)	

ローカルデバイス(USB)接続速度

USBハードディスクのような大容量ストレージデバイスの場合、1 GBをロードするのに約 3~4 秒かかります。

ローカル デバイス(USB)の互換性

HID(インターフェイス機器)

: キーボード、マウス

MSC(マス ストレージ クラス)

: SCSI(Small Computer System Interface)コマンド セットを使用するデバイス FAT(File Allocation Table)システム

例外

一部のメーカーの製品では、USB規格の互換性が満たされていない場合があります。

弊社の製品は、例外を処理する機能を備えています。

ただし、一部のデバイスでは適切に動作しません。

一部のメーカーの製品では、SCSI 規格の互換性が満たされていない場合があります。

これらのデバイスは適切に動作しません。

試験によって互換性が確認されているのUSBデバイスを購入されることをお勧めします。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicNet は SAMSUNG ELECTRONICS CO., Inc.の商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

MagicNet モニタードライバ Natural Color MagicTune™ MagicRotation

モニタードライバ

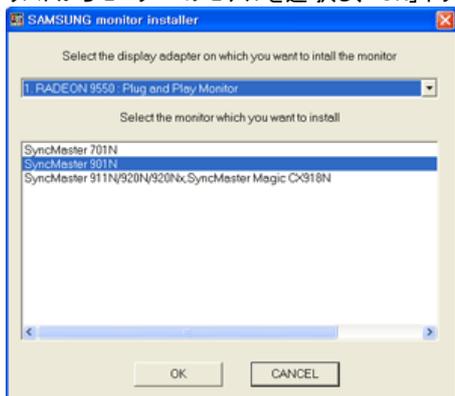
モニタードライバのインストールを促すメッセージが表示されたら、同梱のCD-ROMを挿入します。インストール方法はOSによって多少異なります。お使いのOSを確認のうえ、それぞれのインストール方法に従ってください。

下記のウェブサイトからドライバプログラムファイルをダウンロードすることもできます。ディスクにコピーしてご利用ください。

インターネットウェブサイト:<http://www.samsung.com/> (Worldwide)
<http://www.samsung.com/monitor> (U.S.A)
<http://www.sec.co.kr/monitor> (Korea)
<http://www.samsungmonitor.com.cn/> (China)
<http://www.samsung.com/jp/Products/Monitor/> (日本)

モニタードライバーのインストール(自動)

- 1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 「Windows」をクリックします。
- 3 リストからモニター のモデルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- 4 [参照]をクリックすると[ファイルの場所]が表示されます。続けて「OK」ボタンをクリックします。
(Microsoft® Windows® XP/2000 Operating System)



- ※ このモニタードライバはMS logo に認定されており、インストールがシステムに悪影響を与えることはありません。

認定済ドライバは Samsungのモニター製品ウェブサイト、

<http://www.samsung.com/>でも提供されています。

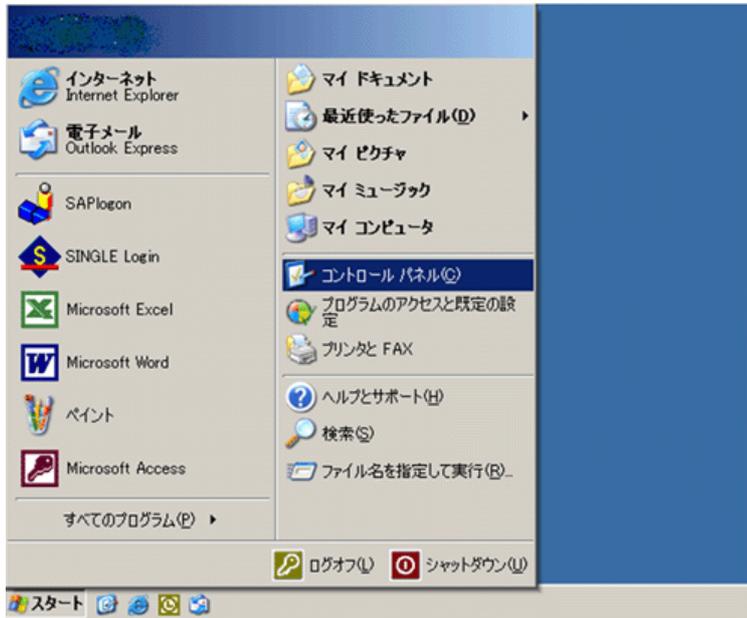
- 5 モニタードライバのインストールは これで完了です。

▶ モニタードライバーのインストール (手動)

[Windows XP](#) | [Windows 2000](#) | [Windows ME](#) | [Windows NT](#)

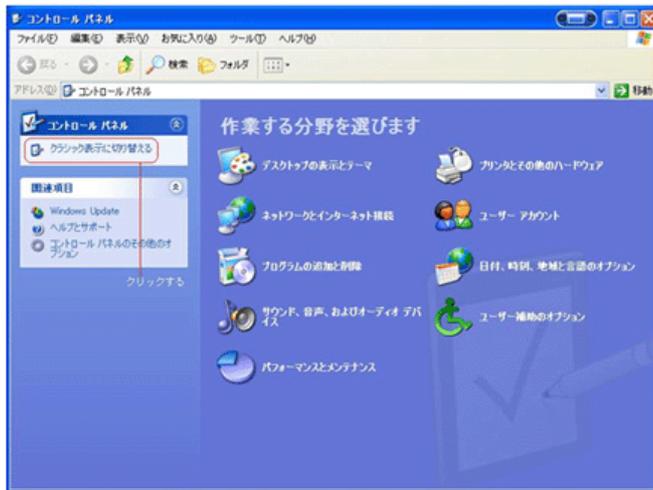
▶ Microsoft® Windows® XP Operating System ▲

- 1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。
- 2 [スタート]をクリックし、[設定]から[コントロールパネル]を選択します。

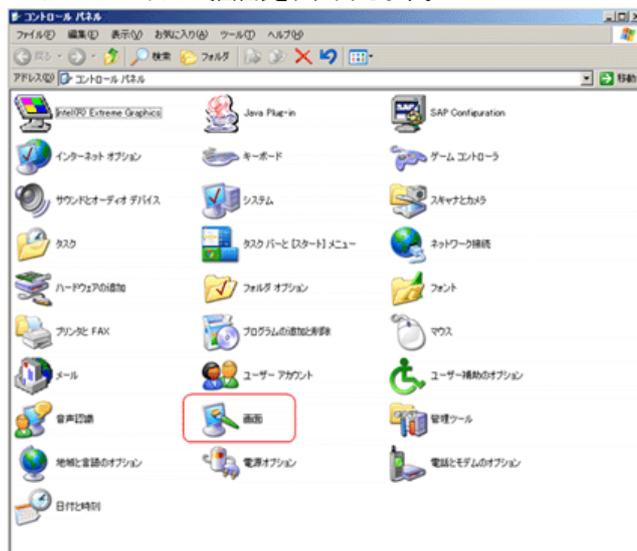


3

[クラシック表示に切り替える] をクリックし、[画面]のアイコンをクリックします。



- 4 コントロールパネルの「画面」をクリックします。

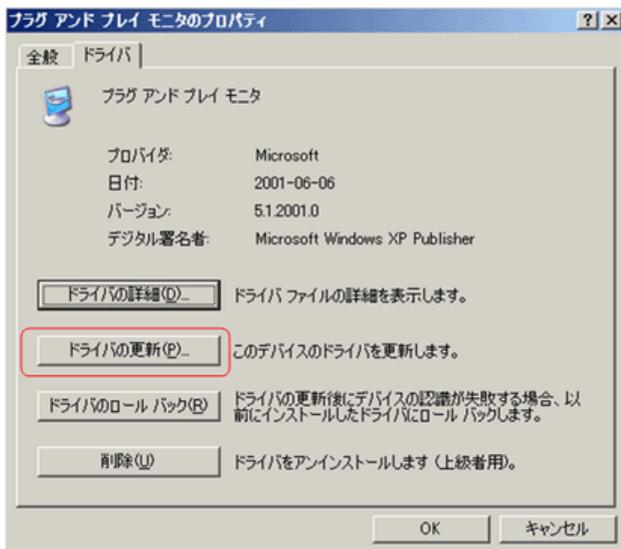
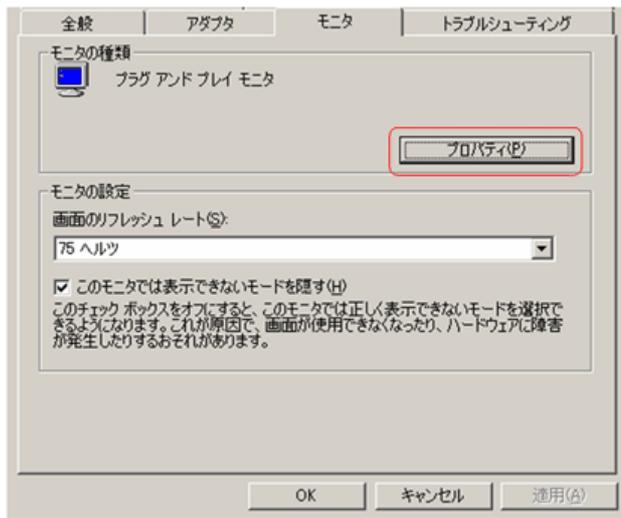


- 5 「画面のプロパティ」から「設定」- 「詳細設定」を選択します。

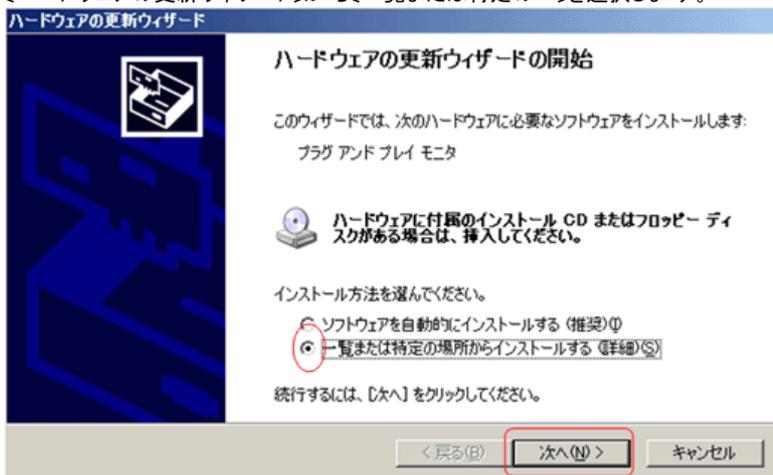


- 6

「プラグアンドプレイ…」からモニ タをクリック。「プロパティ」ボタン をクリックし、次の画面で「ドライバの更新」を選択します。

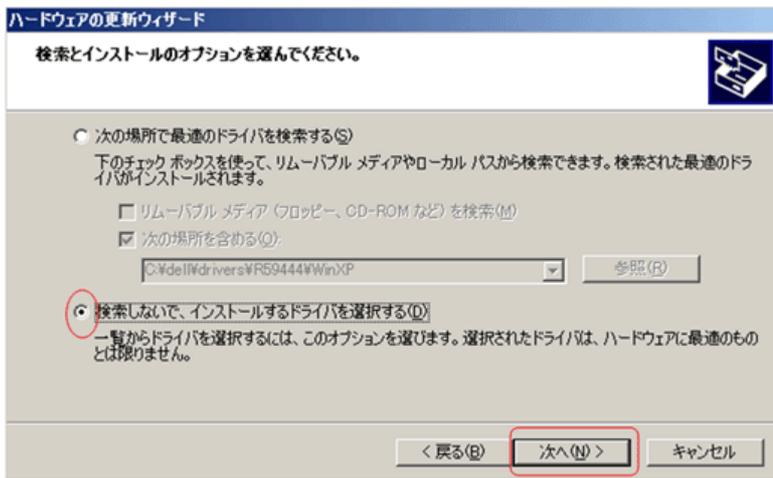


- 7 [ハードウェアの更新ウィザード]から[一覧または特定の...]を選択します。

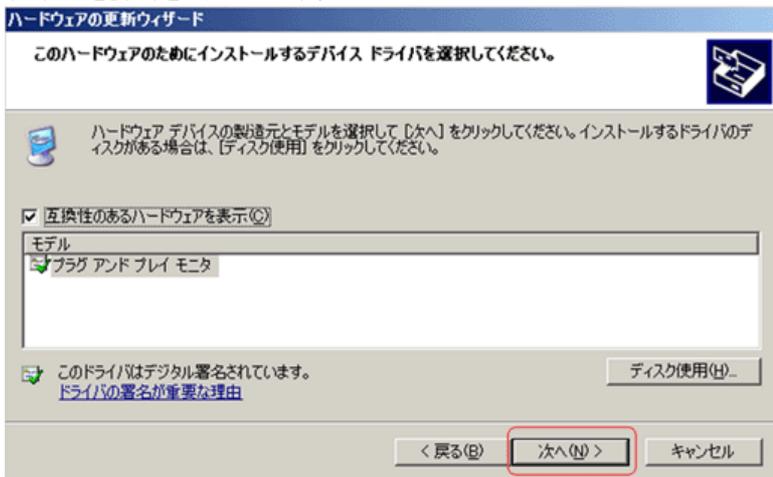


- 8

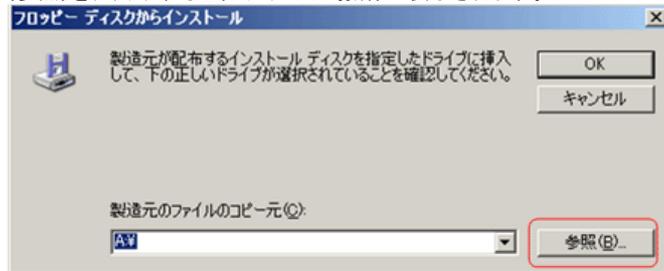
次の画面で[検索しないで、インストールするドライバを選択する]をクリックし、[次へ]進みます。



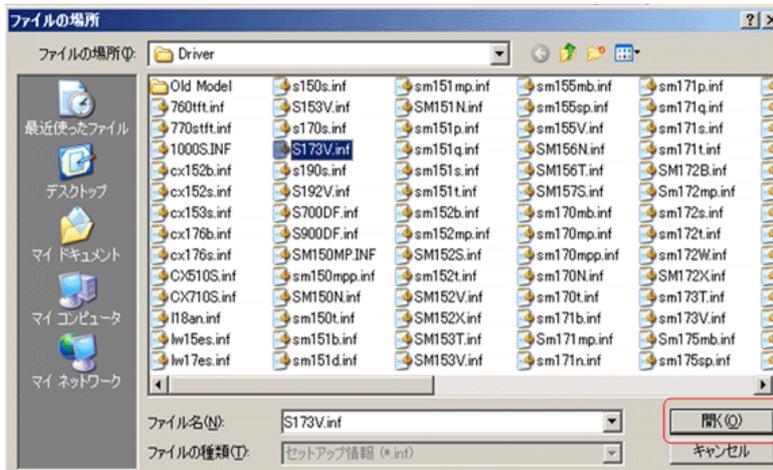
9 [ディスクを使用]をクリックします。



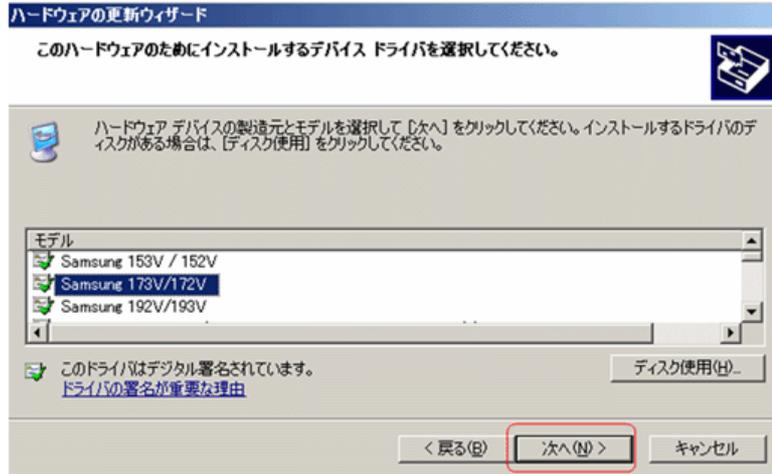
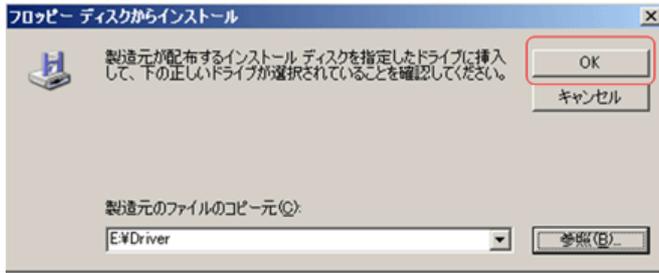
10 [参照]をクリックすると[ファイルの場所]が表示されます。



11 [ファイルの場所]でCD-ROMドライブを選択し、更に[Driver]フォルダをダブルクリックし、[開く]をクリックします。

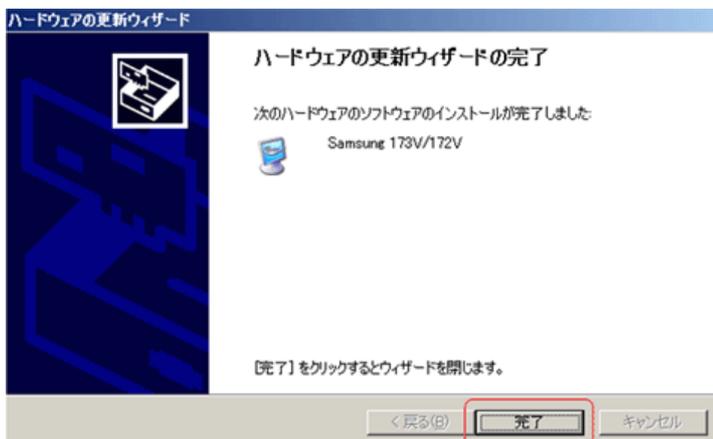


- ⑫ 製造元のファイルのコピー元が表示されたら[OK]をクリックし、該当するモニターのドライバを選択します。[次へ]をクリックします。



⑬

ソフトウェアをインストールする画面から、完了画面に移ります。[完了]ボタンをクリックし、続けて[閉じる]をクリックします。





⑭ モニタードライバのインストールはこれで完了です。

※ このモニタードライバはMS logo に認定されており、インストールがシステムに悪影響を与えることはありません。

認定済ドライバは Samsungのモニター製品ウェブサイト、

<http://www.samsung.com/> (Worldwide)

Microsoft® Windows® 2000 Operating System

- ① 同梱されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して下さい。
- ② [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[画面]アイコンをクリックして下さい。
- ③ [設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックして下さい
- ④ [モニター]タブをクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑤ [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックして下さい。
- ⑥ 「デバイス ドライバのアップグレードウィザード」画面が表示されます。[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑦ このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から「選択する」を選び [次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑧ 次に [ディスク使用]ボタンをクリックして下さい。
- ⑨ [参照]ボタンをクリックし、「ファイルの場所」を[CD-ROMドライブ (Samsung)]-[Driver]フォルダを選択し [開く]ボタンをクリックして下さい。
- ⑩ 製造元のファイルのコピー元」にE:(CD-ROMドライブ名) ¥ Driver|になっているか確認し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
- ⑪ 「モデル」欄に一覧が表示されます。ご使用しているモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑫ 表示されているモデル名が正しければ[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑬ [完了]ボタンをクリックして下さい。

以上で設定は終了です。

Microsoft® Windows® Millennium Operating System

- ① 同梱されているCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して下さい。
- ② [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックし、[画面]アイコンをクリックして下さい。
- ③ [画面のプロパティ]画面が表示されます。[設定]タブをクリックし、[詳細]ボタンをクリックして下さい。
- ④ [モニター]タブをクリックし、[変更]ボタンをクリックして下さい。
- ⑤ 「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。「ドライバの場所を指定する」を選択し[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑥ 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」を選び、[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑦ [ディスク使用]ボタンをクリックして下さい。
- ⑧ 次に [参照]ボタンをクリックして下さい。
- ⑨ 「ドライブ (V)」でCD-ROMドライブを選択し、「フォルダ (F)」で「Driver」フォルダをダブルクリックし、[OK]ボタンをクリックして下さい。

- ⑩ 「製造元ファイルのコピー元」にE:(CD-ROMドライブ) ¥ Driverになっているか確認し、[OK]ボタンをクリックして下さい。
- ⑪ 「モデル」欄に一覧が表示されます。ご使用しているモデル名を選択し、[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑫ デバイス用のドライバファイル検索に表示されているモデル名が正しければ[次へ]ボタンをクリックして下さい。
- ⑬ [完了]ボタンをクリックして下さい。

以上で設定は終了です。

▶ Microsoft® Windows® NT Operating System ▲

- ① [スタート]、[設定]、[コントロールパネル]をクリックし、[画面]のアイコンをダブルクリックします。
- ② [登録情報表示]ウィンドウで、[設定]タブをクリックしてから、[全ディスプレイモード]をクリックします。
- ③ 使用モード(解像度、カラー数、垂直周波数)を選択し、[OK]をクリックします。
- ④ [テスト]をクリックした後、画面が正常に機能しているか調べるには、[適用]ボタンをクリックします。画面が正常に表示されない場合は、別のモードに変更します(解像度、カラーまたは周波数の下位モード)。

※ [全ディスプレイモード]に選択できるモードがない場合、ユーザーガイドのプリセットディスプレイモードを参照して解像度および垂直周波数のレベルを選択します。

MagicNet モニタードライバ Natural Color MagicTune™ MagicRotation

▶ Natural Color

▶ Natural Color ソフトウェア



Natural Colorは、プリンターで出力した画像、スキャナやデジタルカメラで取り込んだ画像の色が、モニターに表示される色と異なるような場合に役に立つカラーマネージメントソリューションです。このソフトは、Samsung ElectronicsがKorea Electronics & Telecommunications Research Institute (ETRI)と協力して開発され、モニターに表示される色を調整することができます。詳しくは、プログラムからヘルプ(F1)を参照してください。

▶ Natural Colorのインストール方法

Samsungモニター付属の CDをCD-ROMドライブに挿入します。続いて インストールの初期画面が表示されます。インストールを開始するには、初期画面のNatural Colorをクリックします。

プログラムを手動で インストールするには、Samsungモニター付属の CDをCD-ROMドライブに挿入し、Windowsの[スタート]ボタンから [ファイル名を指定して実行]を選択します。
D: ¥ color ¥ NCPProSetup.exeと入力し、続けて <Enter>キーを押します。
(CDを挿入したドライブがDでない場合は、適切なドライブを指定してください)。

▶ Natural Colorのインストール方法

メニューの [コントロールパネル] を選択し、続いて [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。
リストから Natural Color を選択し、続けて [変更と削除] ボタンをクリックします。

MagicTune™ ヘルプ

概要 | インストール | OSDモード | カラーキャリブレーション | アンインストール | トラブルシューティング

概要

□ MagicTune™ とは

モニターのパフォーマンスはグラフィックカード、ホストコンピュータ、ライティングコンディションなどの各種要因によって変化します。最高の画像を得るには、各モニターに独自の設定が必要です。しかし、手動による設定はしばしば困難が伴います。そこでステップバイステップ方式のわかりやすいプログラムで適切な設定(tuning)を行い、ベストな画質を実現します。MagicTune™はWindows™ 2000以降でを使用することをお勧めします。

多くの場合は明るさやコントラストなどの簡単な調整にも、幾層にも及ぶわかりにくいOSD (On Screen Display) メニューを必要とします。さらにモニターの設定が正しく行われたかどうか確認できるサポートもありません。MagicTune™はわかりやすいインストラクションや各種背景パターンで、モニターのチューニングプロセスを簡単にするユーティリティソフトです。ユーザごとにディスプレイ設定を保存でき、マルチユーザ環境のディスプレイ選択を容易にします。また、シングルユーザが入力ソースや照明によって環境を切り替えることができる各種プリセット設定も備えています。



□ 基本機能

MagicTune™は、DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) プロトコルによってモニター調整やカラーチューニングを可能にするユーティリティソフトです。モニターのOSD (on-screen display) を利用することなく、すべてのディスプレイ調整がソフトウェア経由でコントロールできます。

MagicTune™はユーザーに最適なモニター設定の簡単な保存および利用を可能にすることで、ディスプレイの素早く正確な調整を実現します。



□ OSDモード

OSD モードは所定のステップを経ることなく、モニター設定の手軽な調整を可能にします。設定を希望するメニュー項目に簡単にアクセスできます。

MagicTune™プログラムは、モニター製品の追加プログラムです。
古い、または最新のビデオドライバがインストールされているコンピュータシステムでは、MagicTune™を使用できないものがあります。
MagicTune™のテクニカルサポートについては、MagicTune™ Websiteを参照してください。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicTune™ はSAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd.の商標です。
Windows™ はMicrosoft Corp.の登録商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

MagicTune™ ヘルプ

概要 | インストール | OSDモード | カラーキャリブレーション | アンインストール | トラブルシューティング

インストール

1. インストールCDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MagicTune™インストールファイルをクリックします。
3. インストール時の言語を選択し、“次へ”をクリックします。
4. インストールシールドウィザードのウィンドウが表示されたら、“次へ”をクリックします。
5. “使用許諾契約条件に同意します”を選択して、使用条件に同意します。
6. MagicTune™をインストールするフォルダを選択します。
7. “インストール”をクリックします。
8. “インストール状況”のウィンドウが表示されます。
9. “完了”をクリックします。
10. インストールが終了すると、MagicTune™の実行アイコンがデスクトップに表示されます。

アイコンをダブルクリックしてプログラムを起動します。



コンピュータシステム及びモニターの仕様によりMagicTune™の実行ボタンが表示されないことがあります。実行ボタンが表示されない場合、F5キーを押してください。



インストール時の問題

MagicTune™のインストールは、ビデオカード、マザーボード、ネットワーク環境などの要因から影響を受けることがあります。インストール中にトラブルが発生した場合は、“[トラブルシューティング](#)”を参照してください。

システム要件

オペレーティングシステム

- Windows™ 2000
- Windows™ XP Home Edition
- Windows™ XP Professional



MagicTune™はWindows™ 2000以降で使用するをお勧めします。

ハードウェア

- メモリ 32MB以上
- ハードディスク空き容量 60MB以上

* より詳しい情報は、MagicTune™の[ウェブサイト](#)をご訪問ください。

MagicTune™プログラムは、モニター製品の追加プログラムです。
古い、または最新のビデオドライバがインストールされているコンピュータシステムでは、MagicTune™を
使用できない場合があります。
MagicTune™のテクニカルサポートについては、MagicTune™ Websiteを参照してください。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicTune™ はSAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd.の商標です。
Windows™ はMicrosoft Corp.の登録商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

MagicTune™ ヘルプ

概要 | インストール | OSD モード | カラーキャリブレーション | アンインストール | トラブルシューティング

MagicTune™はユーザーに最適なモニター設定の簡単な保存および利用を可能にすることで、ディスプレイの素早く正確な調整を実現します。

- 各モニターの仕様によってOSDモードがヘルプ画面と多少異なる場合がございます。
- 回転中は、MagicTune™プログラムの部分は正常に動作しません。
- 自動回転：モニターを回転すると、画面の表示が自動的に回転します。



AutoRotationを実行するには、以下の指示に従います。

- MagicRotation™およびMagicTune™プログラムの両方をお使いのコンピュータにインストールしてください。
 - MagicTune™の起動
 - オプション → プリファレンス → で、タスクトレイメニューの小さいボックスをクリックします。
-
- MagicTune™のコントロールモードは、モニターのモデルによって異なります。
 - アナログ出力ポートは、クライアントモニターから他の表示装置への出力をサポートしています。

OSD モード

OSDモードは、すべてのモニターの調整設定を簡単にします。これを選択すると、調整サブメニュー項目の概要がコントロールウィンドウ上の各タブに表示されます。また各タブを選択すると、メニューのリストが表示されます。モニター設定の素早い調整のために、OSDモードはすべてのタブおよびサブメニュー項目へ簡単に便利なアクセスを可能にします。

ボタン定義

OK	あらゆる変更を適用し、MagicTune™を終了します。
初期化	アクティブコントロールウィンドウに表示されたモニターの各値を、製造元推奨の値に戻します。



映像定義

ユーザーに、希望する値への画面設定の調整を可能にします。

明るさ	画面全体を明るく、または暗くします。明るさが適切な水準に調節されない場合、暗い部分の画像詳細データが失われることがあります。明るさを最適な鑑賞状態に調整します。
コントラスト	画面の明るい部分と暗い部分の差を調整します。画像のメリハリを決定します。
解像度	プログラムがサポートするすべての画面解像度を一覧表示します。

MagicBright™へ、ご覧になる映像の種類に応じて最適な視聴環境を提供する新機能です。現在対応する4つのモード:テキスト、インターネット、エンターテインメント、そしてメモリーです。各モードに明るさの値がプリセットされています。MagicBright™コントロールボタンを押すだけで、4つの設定からひとつを簡単に選択できます。

MagicBright™

1. テキスト:文書作成や大量のテキストを含む作業に。
2. インターネット:テキストや画像が混在する画面での作業に。
3. ゲーム:ゲームなどの動画視聴に。
4. スポーツ:スポーツ中継などの動画視聴に。
5. 映画: DVDやビデオCDなどの動画視聴に。
6. Dynamic Contrast: Dynamic Contrastは、入力される映像信号を自動的に検出し、最適なコントラストとなるように調整を行います。
7. お気に入り:弊社エンジニアによって各値は入念に選択されていますが、すでに設定された値が個人の趣向によっては快適でないかもしれません。このような場合は、OSDメニューを使って明るさとコントラストを調整します。



MagicBrightのコントロールモードは、モニターのモデルによって異なります。一部のモニターでは、4つのモードのみがサポートされています。(テキスト、インターネット、エンターテインメント、ユーザー調整)



カラータブ定義

モニターカラーやモニター背景色の“暖かさ”を調整します。



MagicColor、Gamma (ガンマ) およびColor Innovation (カラーイノベーション) は、これらの機能をサポートしているモニターでのみ表示されます。

色の階調を変更できます。

- 暖色2 - 暖色1 - 涼色1 - 涼色2 - 涼色3 - 涼色4 - 涼色5 - 涼色6 - 涼色7
- オフ

色温度



色温度モードは、モニターのモデルによって異なります。一部のモニターでは、9つのモードのみがサポートされています。(赤色系、ノーマル、青色系、ユーザー調整)

カラーコントロール

モニター画像の色を調整します。
モニターカラーを希望する色に変更できます。

- R- G - B

調整

選択した色を最適化して維持する手順です。ウェブ上の画像、あるいはデジタルカメラやスキャナーから取り込んだ画像を細部まで完全に再現して閲覧したいとお考えなら、MagicTune™が大変に役に立ちます。

MagicColorはSamsung独自の新技术で、画質を落とすことなく天然色をより鮮明に表示し、デジタル画質を向上させます。

1. オフ:オリジナルモードに戻ります。
2. デモ: MagicColor適用前の画面は右のようになり、MagicColor適用後の画面は左のようになります。
3. フル:強い色を鮮明に表示します。
4. インテリジェント:強い色だけでなく、自然な肌色もより鮮やかに表示します。
5. MagicZone

- MagicZoneは、画面の一部の輝度、シャープネス、色飽和度、色調を高めることにより、動画マルチメディアや写真画像をくっきりと明確に表示します。この機能によって、マルチメディアプログラムのビデオ再生部分を自動的に検出し、ドラッグによって目的の領域をハイライトさせて強調することが簡単に行えます。
- マウスカーソルがアクティブになっているとき(☞)、および他の作業にマウスカーソルを使用するために無効にする必要があるときには、マウスを右クリックするか、アクティブなカーソル(☞)をタスクバー上に置いてクリックします。カーソルが無効になると、画面上のアイコンがカーソルを有効にする前のものに戻ります。
- 特に、MagicZoneは動画での使用に適しています。
- **自動検出 (Auto Detect)** : プレーヤーで動画を実行する場合、MagicZone は自動的に再生画面をハイライトします (Gom、Adrenalin、KCP、Window Media、Power DVD などのソフトウェアをサポートしています)。他のプレーヤーでもハイライトさせることができますが、問題が発生することがあります。
- Trayメニュー

MagicColor

色調	色合いを調整します。
色濃度	色の飽和度を調整します。
明るさ	輝度を調整します。
シャープネス	表示領域の最も明るい部分と最も暗い部分との差を調整します。
ゾーンオフ	キャプチャーしたゾーンを消します。
初期化	出荷時のデフォルト設定に戻します。



- MagicTune™は、MagicZoneを実行すると非表示になり、調整が終わってMagicZoneを終了すると、再度MagicTune™が表示されます。(System Trayがチェックされていない場合)
MagicTune™は、MagicZoneを実行すると非表示になり、調整が終わってMagicZoneを終了してもMagicTune™は表示されません。(System Trayがチェックされている場合)
- MagicColorモードは、モニターのモデルによって異なります。
MagicZoneモードは、モニターがこの機能をサポートしている場合にのみ表示されます。

Color Innovation(カラーイノベーション)機能は、Samsung Electronicsが初めて採用したWCG-CCFLを使用して、最適な色を効果的に表示します。

Color Innovation

- ブリリアント : 「ブリリアント」を選択すると、よりシャープでくっきりした映像にすることができます。
- マイルド : 「マイルド」を選択すると、より自然で柔らかい映像にすることができます。
- ユーザー調整 : 色が見づらいと感じる場合には、メニューの色と画面のメニューを使用して好みによって調整してください。

補正は、色の輝度を中間的な輝度に変更します。
-0.2~+0.6までの15段階のガンマ調整が可能。

ガンマ



ガンマモードは、モニターのモデルによって異なります。モデルによっては、3つのモード(モード 1、モード 2、モード 3)のみがサポートされています。(モード 1、モード 2、モード 3)

ユーザーのニーズに合わせて色を最適化し、最適な色を維持する手順を示しています。Magictuneは、Webの画像、デジタルカメラやスキャナによる画像などをWindowsを使用して表示するユーザーをサポートします。

6 - 色

- 色濃度 - 彩度を調整します。
- 色調 - カラートーンを調整します。
- リセット - モニターの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。

□ ジオメトリ定義

画像を調整します。

画像設定

- 微調整:横縞などのノイズを除去します。Fine調整後もノイズが残る場合は、周波数(クロックスピード)調整後に再度調整します。
- 粗調整:縦縞などのノイズを除去します。
粗調整により画面の表示域が乱れることがあります。その場合は、水平コントロールメニューを使用して画面を中央に戻します。
- 自動設定 : 微調整、粗調整の値そして画像の位置が、自動的に調整されます。

位置

画面の位置を縦横に調整します。

シャープネス

お好みに応じて文字/画像のキレ(シャープ / ぼやかす)を調整します。



□ オプションタブ定義

次のオプションを使用してMagicTune™を設定できます。

プリファレンスのダイアログボックスをロードします。使用されているものは、チェックボックスに“V”が表示されます。オフまたはオンにするには、ボックスの上にカーソルを置いてクリックします。

プリファレンス

- タスクトレイメニューを有効にする。 -MagicTune™メニューにアクセスするには、[タスクトレイメニュー]のアイコンをクリックします。[オプション]の[基本設定]で[システムトレイを有効にする]が選択されていない場合、メニューは表示されません。
- 言語を選択 -選択された言語はOSDのみで有効です。

Source Select

- アナログ
- デジタル

部分色盲検査によって色を最適化し、最適化した色を保持する手順を示しています。部分色盲検査によって色を最適化し、最適化した色を保持する手順を示しています。

カラーチューニング

- オフ - 部分色盲モードをキャンセルします。
- ユーザー調整 - 部分色盲検査
- リセット - リセット - モニターの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。

同時画面

VTRやDVDなどの外部A/V機器がモニターに接続されている場合、同時画面機能によってPC映像信号上にスーパーインポーズされた小さなウィンドウから、それら機器の映像を視聴できます。

同時画面

同時画面をオン/オフします。

外部入力

同時画面の外部入力を選択します。

サイズ

同時画面ウィンドウのサイズを変更します。

ポジション

同時画面ウィンドウの位置を変更します。

カスタマイズされたキー

指定したモニターにのみ適用されます。

MagicTuneで変更した言語は、モニターのOSD (On Screen Display) の言語に適用されます。 OSD言語は、MagicTuneの現在の言語設定に変更されます。

MagicBright

カスタマイズされたキーをMagicBrightに設定します。

MagicColor	カスタマイズされたキーをMagicColorに設定します。
-------------------	-------------------------------

自動設定	カスタマイズされたキーを自動設定に設定します。
-------------	-------------------------

Source Select	カスタマイズされたキーをSource Selectに設定します。
----------------------	----------------------------------

色温度	カスタマイズされたキーを色温度に設定します
------------	-----------------------



■ サポートタブ

アセットIDおよびプログラムのバージョン番号を表示します。また、ヘルプ機能を利用できます。

ヘルプ

MagicTune™のインストールや実行に関してヘルプが必要な場合はMagicTune™ウェブサイト
にアクセスするか、クリックしてヘルプファイルを開きます。ユーザーマニュアルがブ
ラウザで開かれます。

アセット ID

クライアントモニターを制御するには、サーバーを使用します。
(このプログラムをクライアントとして使用するには、サーバープログラムがインスト
ールされていなければなりません)

一番下で[カスタマイズ]チェックボックスを選択しているときには、個人情報を入力する
ことができます。

ユーザー名	PCIに登録されているユーザー名を表示します。
--------------	-------------------------

ユーザー ID	PCIに登録されているユーザーIDを表示します。
----------------	--------------------------

サーバ IP	サーバーIPを書き出します。
---------------	----------------

部署	部門を書き出します。
-----------	------------

勤務地	場所を書き出します。
------------	------------

バージョン	MagicTune™のバージョン番号。
--------------	---------------------

MagicTune™プログラムは、モニター製品の追加プログラムです。
旧い、または最新のビデオドライバがインストールされているコンピュータシステムでは、MagicTune™を
使用できないものがあります。
MagicTune™のテクニカルサポートについては、MagicTune™ Websiteを参照してください。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicTune™ はSAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd.の商標です。
Windows™ はMicrosoft Corp.の登録商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

カラーキャリブレーション

1. カラーキャリブレーション

“カラーキャリブレーション”によってモニターに最適なカラーコンディションを取得します。最適なモニターカラーコンディションを得るには、次の5ステップを実行します。

1. “明るさコントロールバー”を調節して、コントロールパッチの明るさと背景パターンの明るさを一致させます。
2. “コントロールパッチ”上で特定の色調を検出した場合は、“カラーリファレンスサークル”上の同じ色調へコントロールカーソルを移動させます。
⇒ 調整が正しく終了した場合、コントロールパッチには色調が検出されません。
3. ステップ1の調整を終了したら、“次へ”ボタンをクリックします。
4. 残りのステップ2～5は、1)、2)、3)の手順を繰り返します。
5. キャリブレーション結果は“プレビュー”ボタンをクリックして簡単に確認できます！

複数のユーザーで調整済みの明度を利用する方法

定義

モニターが複数のユーザーによって使用される場合、各ユーザーがカラーキャリブレーションで調整した明度を保存し、利用できます。5人までのユーザーが、保存した明度を利用できます。

1. 調整した明度を保存する方法：
進むを押して変更を適用し、調整した明度を保存できます。明度は5つまで保存できます。
2. 調整した明度を適用する方法：
メイン画面 マルチユーザーボタンを押し、保存した明度のひとつを選択して利用します。



2. プレビュー

“カラーキャリブレーション”の“プレビュー”ボタンを押します。
上の図のような画面が表示されます。

1. 無調整の表示を押して、調整したキャリブレーション結果を確認します。
2. 調整の表示を押して、オリジナルの画像を確認します。

MagicTune™プログラムは、モニター製品の追加プログラムです。
古い、または最新のビデオドライバがインストールされているコンピュータシステムでは、MagicTune™を使用できない場合があります。
MagicTune™のテクニカルサポートについては、MagicTune™ Websiteを参照してください。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicTune™ はSAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd.の商標です。
Windows™ はMicrosoft Corp.の登録商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

MagicTune™ ヘルプ

概要 | インストール | OSDモード | カラーキャリブレーション | **アンインストール** | トラブルシューティング

アンインストール

MagicTune™プログラムは、Windows™コントロール パネルの“プログラムの追加と削除”からのみ削除できます。

MagicTune™を削除するには次のステップを行います。

1. [タスクトレイ][スタート][設定]から、メニューの[コントロール パネル]を選択します。Windows™ XPの場合は、[スタート]メニューの[コントロール パネル]を選択します。
2. コントロール パネルの“プログラムの追加と削除”をクリックします。
3. “プログラムの追加と削除”画面を下にスクロールし、“MagicTune™”を探します。クリックしてハイライト表示させます。
4. “プログラムの変更と削除” ボタンをクリックしてプログラムを削除します。
5. “はい” をクリックするとアンインストール作業が開始されます。
6. “アンインストール完了” のダイアログボックスが表示されるまで待ちます。

MagicTune™の技術サポート、FAQ(よくある質問と回答)、およびソフトウェアのアップグレードに関しては MagicTune™の[ウェブサイト](#)にアクセスしてください。

MagicTune™プログラムは、モニター製品の追加プログラムです。
旧い、または最新のビデオドライバがインストールされているコンピュータシステムでは、MagicTune™を使用できない場合があります。
MagicTune™のテクニカルサポートについては、MagicTune™ Websiteを参照してください。

仕様は予告なく変更されることがあります。
MagicTune™ はSAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd.の商標です。
Windows™ はMicrosoft Corp.の登録商標です。
その他会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

○ 概要

● MagicRotationとは?



従来、コンピュータは横位置での表示しかできませんでした。

現代の情報化時代においては、文書、Webページ、電子メールなどを毎日の生活の中で必要とするユーザーが増えています。これらのタイプのアプリケーションには、コンテンツ全体を画面に表示することができる縦位置での表示が適しています。縦位置での表示によってユーザーの生産性を大幅に向上させ、横位置と縦位置の表示を柔軟に切り替えることができます。

Samsung Electronics, Inc. のMagicRotationソフトウェアは、ユーザーに画面の回転（0、90、180、270方向）機能を提供し、コンピュータのディスプレイ画面を最適な方法で使用して、表示方法を改善して生産性を向上させることができます。

● 基本機能

MagicRotationは、Windows™ 98 SE、Me、2000、XP Home、NT 4.0およびXP Professionalをサポートしています。

* Windows™は、Microsoft Corporation, Inc. の登録商標です。

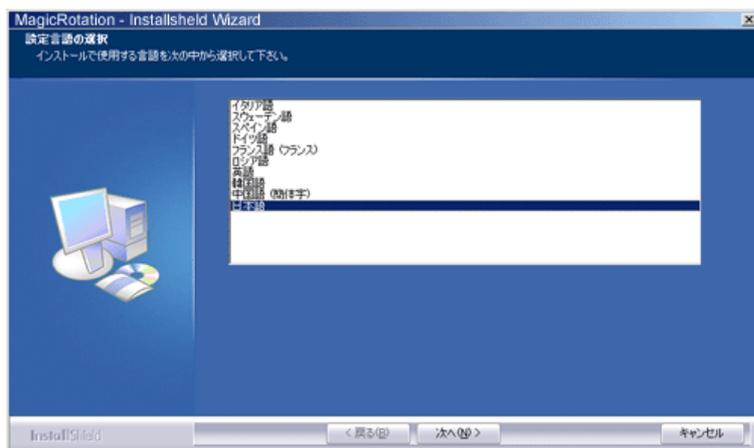
仕様は、予告なく変更されることがあります。

MagicRotationは、SAMSUNG ELECTRONICS CO., Ltd. の商標です。

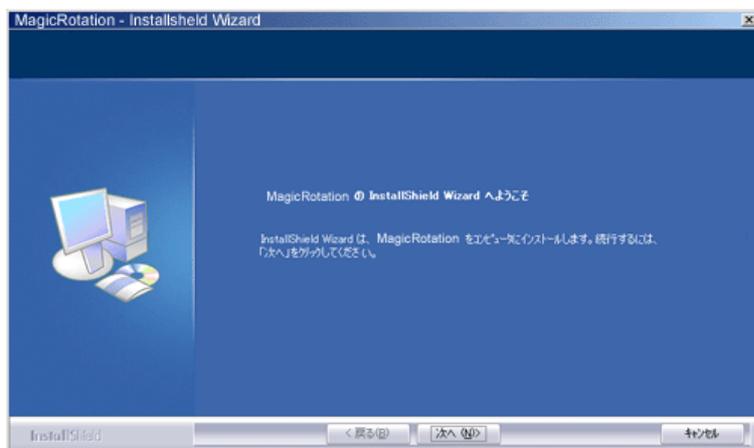
この文書中で言及されているその他の製品の商標は、それらの会社の登録商標である場合があります。

インストール

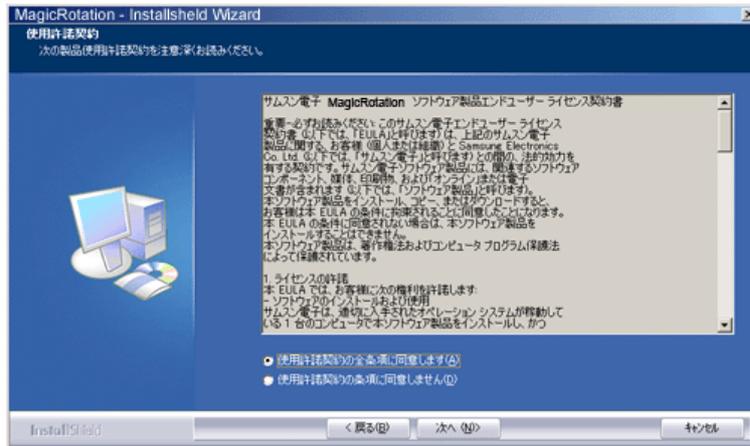
1. CDをCD-ROMドライブに挿入します。
2. MagicRotationのインストールファイルをクリックします。
3. インストールに使用する言語を選択して、[Next]をクリックします。



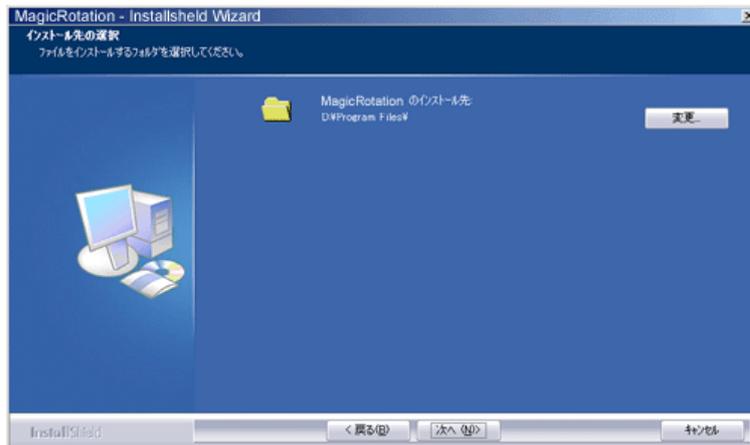
4. InstallationShield Wizardウィンドウが表示されたら、[Next]をクリックします。



5. 「I agree to the terms of the license agreement」を選択して、使用条件を承諾します。



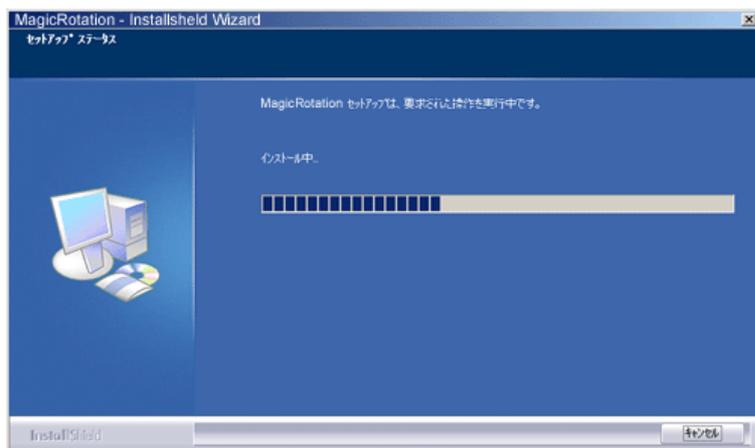
6. MagicRotationプログラムをインストールするフォルダを選択します。



7. [Install] をクリックします。



8. [Installation Status]ウィンドウが表示されます。



9. [Finish] をクリックします。

MagicRotationが適切に動作するためには、システムを再起動する必要があります。



10. インストールが完了すると、デスクトップにMagicRotationの実行アイコンが表示されます。



インストール時のトラブル

MagicRotationのインストールは、ビデオカード、マザーボードおよびネットワーク環境などの要素に影響を受けます。

インストール中にトラブルが発生した場合には、「[トラブルシューティング](#)」を参照してください。

● 制限

1. MagicRotationが適切に動作するには、「ディスプレイドライバ」が正しくロードされていなければなりません。
インストールされている「ディスプレイドライバ」は、ベンダーが供給する最新のものでなければなりません。

- Windows Media Player、Real Playerなどのアプリケーションでは、90、180および270°の方向では正常に動画ファイルを表示できない場合があります。この場合は、以下の操作を行ってください。
 - アプリケーションを閉じます。
 - アプリケーションで表示する方向（90、180、270）を選択します。
 - アプリケーションを再起動します。ほとんどの場合、この操作で問題が解決します。
- OpenGLおよびDirectDraw（3D描画）を使用するユーザーアプリケーションは、選択した方向モード（90、180、270）によっては動作しないことがあります。（たとえば3Dゲームなど）
- 全画面モードのDOSベースのアプリケーションは、選択した方向モード（90、180、270）によっては動作しないことがあります。
- Windows™ 98、ME、NT 4.0では、Dualはサポートされていません。
- MagicRotationは、24ビットカラー（ビット深度/色深度）はサポートしていません。
- グラフィックカードを交換する場合には、交換前にMagicRotationソフトウェアをアンインストールすることをお勧めします。

● システム要件

OS

- Windows™ 98 SE
- Windows™ Me
- Windows™ NT 4.0
- Windows™ 2000
- Windows™ XP Home Edition
- Windows™ XP Professional

ハードウェア

- 128MB以上のメモリ（推奨）
- 25MB以上の空きハードディスク容量

サービスパック

- お使いのシステムの最新のサービスパックをインストールすることをお勧めします。
- Windows™ NT 4.0の場合、Internet Explorer 5.0（以降）とActive Desktopコンポーネントをインストールすることをお勧めします。

* 詳しくは、MagicRotationの[Webサイト](#)をご覧ください。

* Windows™は、Microsoft Corporation, Inc. の登録商標です。

仕様は、予告なく変更されることがあります。
MagicRotationは、SAMSUNG ELECTRONICS CO.,Ltd.の商標です。
この文書中で言及されているその他の製品の商標は、それらの会社の登録商標である場合があります。

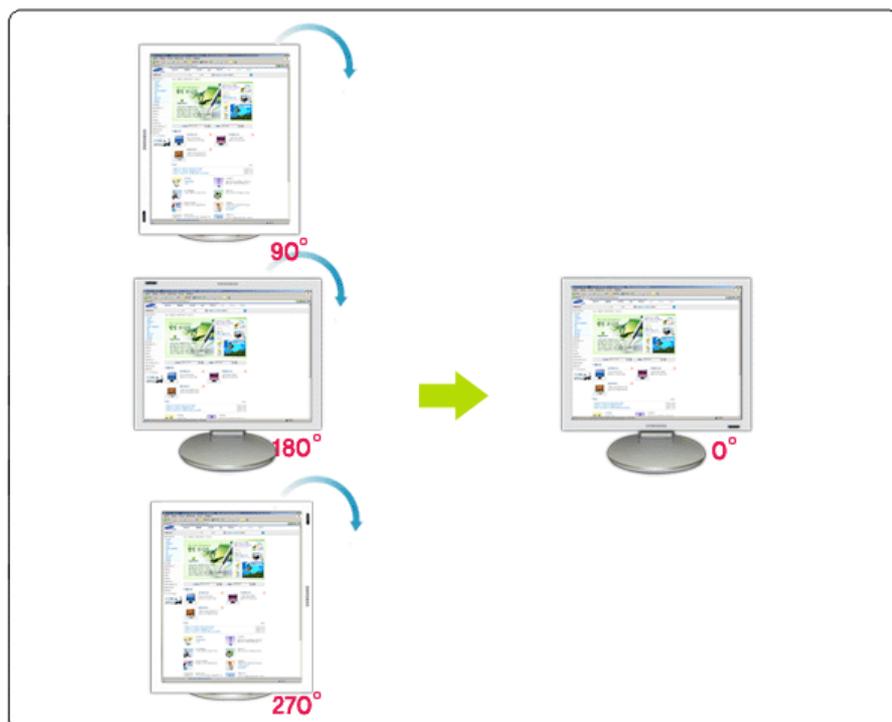
○ インターフェイス



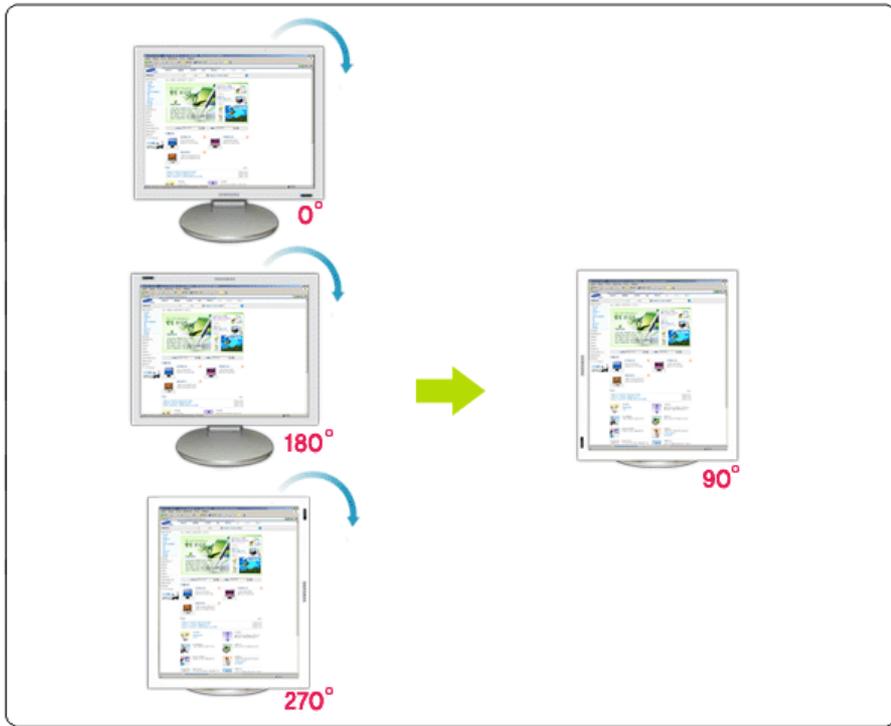
1 回転 : 表示が90°ずつで回転します。



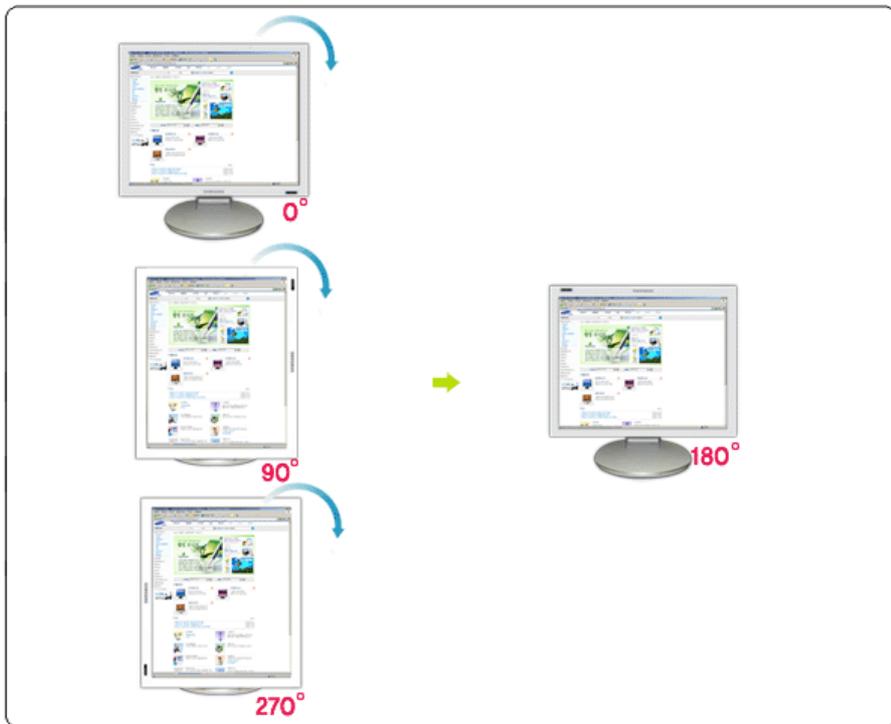
2 0°回転 : 表示が、現在の回転角度から0°回転します。



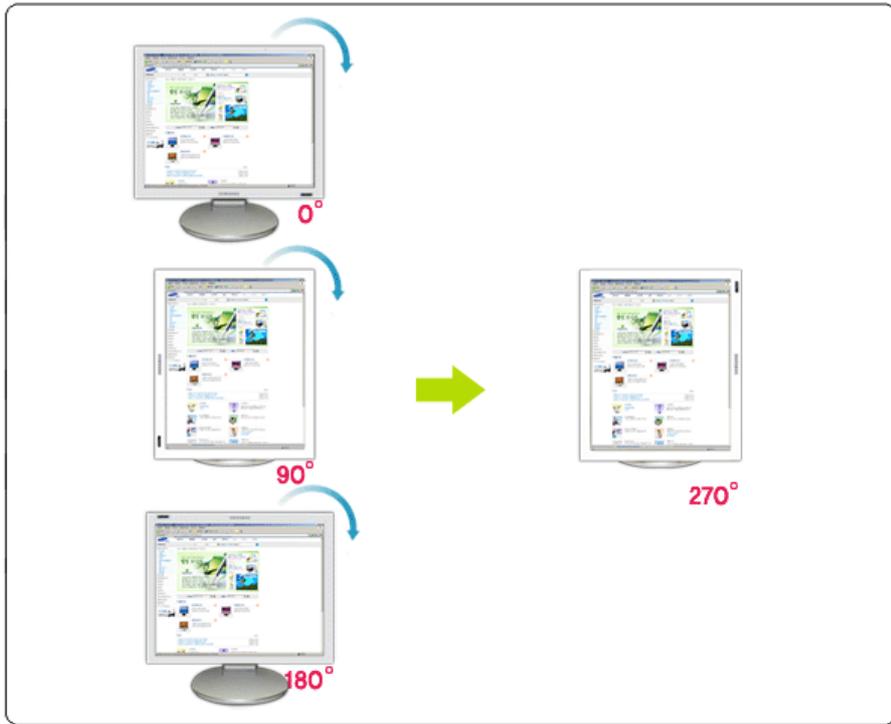
3 90°回転 : 表示が、現在の回転角度から90°回転します。



4 180°回転 : 表示が、現在の回転角度から180°回転します。



5 270°回転 : 表示が、現在の回転角度から270°回転します。



-
- 6** **ホットキー** :ホットキーは、デフォルトで有効になっておりユーザーが変更することができます。
既存のホットキーを変更して、ユーザーがキーボードに直接割り当てることができます。ユーザーは、Shift、Ctrl、Altおよび汎用のキーを組み合わせることでホットキーを作成することができます。汎用キーだけが押された場合には、Alt+汎用キーの組み合わせでホットキーが作成されません。
-
- 7** **ヘルプ** :MagicRotationプログラムのヘルプを表示します。
-
- 8** **MagicRotationについて** :プログラムのバージョンおよび著作権情報を表示します。
-
- 9** **終了** :MagicRotationプログラムを終了します。

仕様は、予告なく変更されることがあります。

MagicRotationは、SAMSUNG ELECTRONICS CO.,Ltd.の商標です。

この文書中で言及されているその他の製品の商標は、それらの会社の登録商標である場合があります。

○ アンインストール

MagicRotationプログラムは、Windowsのコントロールパネルの[プログラムの追加と削除]オプションでのみ削除することができます。

MagicNet を削除するには、以下の手順に従います。

1. [スタート]>[設定]から[コントロールパネル]を選択します。
Windows™ XPでプログラムを使用している場合には、[スタート]メニューの[コントロール パネル]に移動します。
2. コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]アイコンをクリックします。
3. [プログラムの追加と削除]画面で、スクロールして「MagicRotation」を探します。
クリックしてハイライトします。
4. [変更/削除]ボタンをクリックして、プログラムを削除します。
5. [Yes]をクリックして、アンインストール処理を開始します。
6. [Uninstall Complete]ダイアログボックスが表示されるまで待ちます。
7. アンインストール後にシステムを再起動して、アンインストール処理を完了します。

MagicRotationのサポート、FAQ（質問と回答）およびソフトウェアのアップグレードについては、MagicRotationの[Webサイト](#)をご覧ください。

* Windows™は、Microsoft Corporation, Inc. の登録商標です。

仕様は、予告なく変更されることがあります。
MagicRotationは、SAMSUNG ELECTRONICS CO.,Ltd. の商標です。
この文書中で言及されているその他の製品の商標は、それらの会社の登録商標である場合があります。



■ 安全面での予防措置 ■ はじめに ■ 接続 ■ ソフトウェアの使用
 ■ モニターの調整 ■ トラブルシューティング ■ 仕様 ■ 情報

↑ TOP
↑ MAIN

○ モニターの調整

MagicNet 制御ボタン ダイレクト機能 OSD機能

▶ MagicNet



MagicNetの OSD 画面は、ネットワークとデバイスと同じです。

メニュー	説明	プレイ/ストップ
Network	MagicNet Server プログラムで MagicNet を使用している場合は、ネットワークモードで使用できます。	
Device	MagicNet Server プログラムで MagicNetを使用している場合は、ネットワークモードで使用できます。	
Internet	インターネットに接続します。	

MagicNetモードの各種機能を設定できます。Setupモードにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。

※ モニターにプリセットされているパスワードは「000000」です。

パスワードは、6～12個の数字になります。

Schedule View



Remote Desktop



TCP/IP

Setup	① Schedule View	スケジュールを表示します。	
	② Remote Desktop	ホストPCの接続設定を変更することができます。	
	③ TCP/IP	TCP/IP 設定を変更できます。 DHCP(自動入力)、STATIC(手動)	
	④ Homepage	ネットワーク設定を変更できます。	
	⑤ Network Setup	ネットワーク設定を変更できます。	
	⑥ Change Password	パスワードを変更できます。 Administrator (Setup), User (Network-Photo, Movie, Office/HTML)	

メニュー	説明	プレイ/ストップ	
Photo	JPEG,BMPファイルフォーマットがサポートされています。 Enterボタンを押して下部にメニューバーを表示します。	Auto/Original 	
	① AUTO / Original	画像をウィンドウに自動的に適合します。 オリジナルファイルのプロパティをそのまま表示します。	Slide Show 
	② Slide Show	ライブラリに登録された画像ファイルを1つずつ表示します。	Interval 
	③ Interval	スライドショー画像ファイル間の切替え速度をコントロールします。 (5 Sec, 10 Sec, 20 Sec, 30 Sec, 60 Sec)	Rotation 
	④ Rotation	画像ファイルを右方向に90°回転させて表示します。	Zoom 
	⑤ Zoom	拡大画像を表示します。 - 1回押す: 2倍に拡大します。 - 2回押す: 倍に拡大します。 - 3回押す: 元のサイズに戻します。	Close 
	⑥ Close	画像ファイル表示ウィンドウを閉じて終了します	
Movie	AVI, MPEG1/2ファイルフォーマットがサポートされています。		
	① 	ビデオファイルの表示または表示を停止します。	
	② 	ビデオファイルの表示を停止します。	
	③ 	ビデオファイルを巻き戻します。	
	④ 	ビデオファイルを早送りします。	Full Size 
	⑤ Full Size	動画ファイルを全画面で再生します。	Close 
⑥ Close	ビデオファイルを巻き戻します。		
OFFICE/HTML	PPT(Power Point), DOC(MS Word), XLS(MS Excel), PDF, HTML, HTM ファイルフォーマットがサポートされています。		
RDP	ホストPCの接続設定を変更することができます。 サーバー上でMagicNetサーバープログラムが動作しているかどうかと無関係に動作します。 ネットワークまたはデバイスモードのいずれかでホストPCに接続します。		

▶ 制御ボタン



- ① [MENU] OSD (On Screen Display) メニューを開きます。OSDメニューの終了または前のメニューに戻るときにも使用します。
- ② [▼/▲] これらのボタンにより、メニューの項目を移動/調整します。
- ③ [SOURCE] ハイライト表示されたメニュー項目を決定にします。
- ④ [AUTO] [AUTO] ボタンを押すと、画面に自動調整画面が表示されます。

MagicNet 制御ボタン ダイレクト機能 OSD機能

▶ ダイレクト機能

▶ AUTO



メニュー	説明
AUTO	<p>[AUTO]ボタンを押すと、画面に自動調整画面が表示されます。粗調整、微調整、およびポジションの値が自動的に調整されます。</p> <p>自動調整機能をより厳密にするには、AUTO PATTERNがオンの状態で[AUTO]機能を実行します。</p> <p>※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自動調整が正しく機能していない場合、AUTO(オート)ボタンをもう一回押してより正確に画像を調整します。 ▶ コントロールパネルで解像度を変更した場合、Auto機能が実行されます。

▶ OSDロック/ロック解除

▶ AUTO



▶ MENU



メニュー	説明
OSDロック/ ロック解除	<p>これは、OSDをロックして現在の設定状態を維持し、他のユーザーが現在の設定を変更できないようにする機能です。</p> <p>ロック：メニューボタンを5秒以上押したままにして、OSD調整ロック機能を有効にします。</p> <p>ロック解除：メニューボタンを5秒以上押したままにして、OSD調整ロック機能を無効にします。</p> <p>※ OSD調整ロック機能で、モニターの輝度およびコントラストを調整することもできます。</p>

▶ MagicBright™



メニュー	説明
------	----



MagicBright™

MagicBright™ボタンを再度押し、有効なプリセットモードを実行します。

-- 6種類のモード(ユーザー調整/テキスト/インターネット/ゲーム/スポーツ/映画)

明るさ



メニュー	説明
 明るさ	OSDがスクリーンに表示されていない状態でこのボタンを押すと、明るさを調整できます。

SOURCE



メニュー	説明
SOURCE	OSDがオフ状態で、ビデオ信号を選択します。(アナログ/MagicNet)

MagicNet 制御ボタン ダイレクト機能 OSD機能

▶ OSD機能

映像	明るさ	コントラスト			
色調	MagicColor	色温度	カラー調整	ガンマ	
画質	粗調整	微調整	シャープネス	H-ポジション	V-ポジション
OSD	言語	H-ポジション	V-ポジション	透明	表示時間
設定	画像リセット	カラーリセット			
インフォメーション					

▶ 映像 ▲



メニュー	説明	プレイ/ストップ
明るさ	<p>オンスクリーンメニューからお好みの明るさに変更できます。</p> <p>ダイレクト操作: OSDがスクリーンに表示されていない状態でこのボタンを押すと、明るさを調整できます。</p> <p>MENU → [右] → [右] → [上/下] → MENU</p>	▶▶
コントラスト	<p>オンスクリーンメニューからお好みのコントラストに変更できます。</p> <p>(フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)</p>	▶▶

色調



メニュー	説明	プレイ/ストップ
	<p>MagicColorはSamsung独自の新技术で、画質を落とすことなく天然色をより鮮明に表示し、デジタル画質を向上させます。</p>	
	<p>① オフ オリジナルモードに戻ります。</p> <p>② デモ MagicColor適用前の画面は右のようになり、MagicColor適用後の画面は左のようになります。</p> <p>③ フル 強い色を鮮明に表示します。</p> <p>④ インテリジェント 強い色だけでなく、自然な肌色もより鮮やかに表示します。</p> <p>⑤ MagicZone MagicZoneは、画面の一部の輝度、シャープネス、色飽和度、色調を高めることにより、動画マルチメディアや写真画像をくっきりと明確に表示します。特に、MagicZoneは動画での使用に適しています。</p>	
MagicColor	<p>▶ 色調 この機能では、MagicZoneの色調を調整します。</p> <p>▶ 色濃度 この機能では、MagicZoneの色濃度を調整します。</p> <p>▶ 明るさ この機能では、MagicZoneの明るさを調整します。</p> <p>▶ シャープネス この機能では、MagicZoneの鮮明さを調整します。</p> <p>▶ H-ポジション この機能では、MagicZoneの左右方向を調整します。</p> <p>▶ V-ポジション この機能では、MagicZoneの上下方向を調整します。</p> <p>▶ 横サイズ： この機能では、MagicZoneの左右サイズを調整します。</p>	<p>MagicZone</p> <p>色調</p> <p>色濃度</p> <p>明るさ</p> <p>シャープネス</p> <p>H-ポジション</p> <p>V-ポジション</p> <p>横サイズ：</p>

▶ 縦サイズ： この機能では、MagicZoneの上下サイズを調整します。



縦サイズ：

色温度
 青色系、標準、赤色系、ユーザー調整の4つのモードから1つを選択し、お好みの色温度に調整します。
 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)



MENU → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → MENU

カラー調整
 R、G、Bの色を個別に調整します - 赤、緑、青
 (フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)



MENU → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → MENU

ガンマ
 ガンマ補正は、色の輝度を中間的な輝度に変更します。

- モード1
- モード2
- モード3



MENU → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → [] → ▲, ▼ → MENU

▶ 画質



(フルおよびインテリジェントのMagicColorモードでは使用できません。)

メニュー	説明	プレイ/ストップ
粗調整	縦縞などのノイズを除去します。 粗調整により、画面の画像領域が動く場合があります。[H-ポジション]メニューを使用して画面を中央に戻して下さい。 ※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	
	MENU → ▲, ▼ → [] → [] → ▲, ▼ → MENU	

横縞などのノイズを除去します。
 微調整後もノイズが残っている場合は、周波数(クロック速度)を調整し、もう一度調整して下さい。

微調整	※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	
シャープネス	※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	
H-ポジション	※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	
V-ポジション	※ (アナログ入力端子モードのみで使用可)	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	

  OSD 



メニュー	説明	プレイ/ストップ
言語	OSDの表示言語を変更します。 日本語・English(英語)の選択が出来ます。 言語の選択は、OSDの言語にのみ反映されます。コンピュータ上で実行されるソフトウェアには影響しません。	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	
H-ポジション	OSDメニューの位置を左右方向に調整します。	 
	MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	

V-ポジション	OSDメニューの位置を上下方向に調整します。 MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	 
透明	OSDのバックグラウンドを半透明に変更します。 MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	 
表示時間	一定時間内に調整が行われない場合、OSDメニューは自動的に消えます。 OSDメニューが消えるまでの待機時間を設定します。 MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	 

 **設定** 



メニュー	説明	プレイ/ストップ
画像リセット	画像パラメータは工場出荷時の初期値に戻されます。 MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	 
カラーリセット	カラーパラメータは工場出荷時の初期値に戻されます。 MENU → ▲, ▼ → ◀ → ▲, ▼ → ▶ → ▲, ▼ → MENU	 

 **インフォメーション** 



メニュー	説明
インフォメーション	OSD画面に、表示情報を表示します。 MENU → ▲, ▼ → MENU



- 安全面での予防措置
- はじめに
- 接続
- ソフトウェアの使用
- モニターの調整
- トラブルシューティング
- 仕様
- 情報

↑ TOP

↑ MAIN

○ トラブルシューティング

チェックリスト Q & A セルフテスト

■ チェックリスト

お客様相談ダイヤルへ連絡する前に、このセクションに解決法が記載されていないかご確認ください。
それでも解決ができない場合は、この取扱説明書に記載されている[お客様相談ダイヤル](#)にご連絡ください。

症状	チェックリスト	解決法
画面に何も表示されない。	電源コードは正しく接続されていますか。	電源コードを確認してください
	“信号ケーブルを確認してください”というメッセージが画面に表示されていますか。	信号ケーブルを確認してください。
	初期画面(ログイン画面)	初期画面(ログイン画面)が表示される場合は、コンピュータを適切なモードで起動します(Windows ME/2000/XPではセーフモード)。それからビデオカードの周波数を変更してください(プリセットタイミングモードを参照)。 初期画面(ログイン画面)が表示されない場合、 お客様相談ダイヤル または販売店までご連絡ください。
	“最適なモードが選択されています”“推奨モード 1280 x 1024 60Hz”というメッセージが画面に表示されていますか。	ビデオカードからの信号がモニターがサポートする最大解像度と周波数を上回ったとき、このメッセージが表示されます。 モニターがサポートする最大解像度と周波数に調整してください。 画面モードがSXGAあるいは垂直周波数が75Hz以上に設定されている場合、“最適なモードが選択されていません。推奨モード 1280 x 1024 60Hz”というメッセージが表示されます。垂直周波数が85Hz以上に設定されている場合、画面は正しく動作されず、“最適なモードが選択されていません。推奨モード 1280 x 1024 60Hz”というメッセージが約1分間表示されたあと、画面になにも表示されない。この間(1分)にモニターがサポートする画面モードに調整してください。(システムが再起動される場合は、このメッセージが再表示されます。)
画面に何も表示されない。	画面に何も表示されない。モニターの電源インジケータは1秒間隔で点滅しているか。モニターの電源インジケータ	モニターはPowerSaverモードです。 何かキーを押すかマウスを動かすと、モニターが再びアクティブになり画面の表示が戻ります。 点滅しているにもかかわらず、画像が表示されない場合は、[SOURCE]ボタンを押します。次に、再度キーボードの任意のキ

	は1秒間隔で点滅しているか。	一を押してモニターをアクティブにし、画面に画像を表示させます。
オンスクリーンディスプレイが表示されません。	[オンスクリーンディスプレイ(OSD)]メニューが変更されないようにロックされていませんか?	[ MENU] ボタンを少なくとも5秒間押し、OSDのロックを解除します。
画面の色がおかしい、もしくは白黒である。	画面がセロファン紙を透したような単色ですか。 プログラムの実行または不正終了によって発生したものでですか。 ビデオカードは正しく装着されていますか。	信号ケーブルを確認してください。 ビデオカードがスロットにしっかり装着されているか確認してください。 コンピュータを再起動してください。 ビデオカードの取扱説明書に従って正しく設定してください。
画面が突然乱れる。	ビデオカードもしくはドライバを変更しましたか。 モニターの解像度または周波数を変更しましたか。 ビデオカードからの信号が乱れることがあります。MagicTuneを参照してポジションを再調整してください。	OSDで画面のポジションとサイズを調整してください。 ビデオカードの解像度と周波数を調整してください。それからビデオカードの周波数を変更してください。(プリセットタイミングモードを参照)。 ビデオカードからの信号が乱れることがあります。MagicTuneを参照してポジションを再調整してください。
画面がぼやける。	モニターの解像度または周波数を変更しましたか。	ビデオカードの解像度と周波数を調整してください。それからビデオカードの周波数を変更してください。(プリセットタイミングモードを参照)。
LEDは点滅しているが、画面に画像が表示されない。	メニューの[表示タイミング]をチェックするとき、周波数は正しく調整されているか。	ビデオカードマニュアルおよびプリセットタイミングモードを参照して周波数を適切に調整してください。 (解像度に対する最大周波数は、製品ごとに異なる場合があります。)
画面が16色でしか表示されない。ビデオカードは正しく装着されていますか。	Windowsの色は正しく設定されていますか。 ビデオカードは正しく装着されていますか。	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 Windows ME/2000 : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 ビデオカードの取扱説明書に従って正しく設定してください。
"Unrecognized monitor, Plug & Play (VESA DDC) monitor found"というメッセージが表示される。	モニタードライバをインストールしましたか。 プラグ&プレイ(VESA DDC)機能がサポートされているかどうか、ビデオカードの取扱説明書を参照してください。	ドライバのインストールに従ってモニタードライバを設定してください。 ドライバのインストールに従ってモニタードライバを設定してください。
MagicTune™が正しく機能しない場合に確認します。	MagicTune™は、プラグアンドプレイをサポートする	* ご利用のPCでMagicTune™が使用可能か確認するには、以下の手順に従います。(Windows XPの場合)

Windows OSを搭載したPC(VGA)でのみ機能します。

コントロールパネル->パフォーマンスとメンテナンス->システム->ハードウェア->デバイスマネージャ->モニター->プラグアンドプレイモニターを削除してから、ハードウェアの追加で「プラグアンドプレイモニター」を検索します。

MagicTune™は、モニターの追加ソフトウェアです。一部のグラフィックカードでは、お使いのモニターをサポートしていません。グラフィックカードに問題がある場合には、互換性のあるグラフィックカードについて弊社Webサイトで提供しているリストを確認してください。
<http://www.samsung.com/monitor/magictune>

MagicTune™が正常に動作しません。

PCまたはグラフィックカードを変更しましたか?

最新のプログラムをダウンロードしてください。プログラムは、<http://www.samsung.com/monitor/magictune>からダウンロードできます。

※ MagicTune™ MACのインストールソフトウェアを弊社Webサイトからダウンロードしてください。

▶ モニターに問題があるかどうか、次の項目を確認して下さい。

- ▶ 電源コードとケーブルが正しく接続されているか。
- ▶ コンピュータ起動時にビープ音が3回以上鳴るか。
- ▶ ビデオカードを交換したか自作PCの場合、アダプタ(ビデオ)ドライバとモニタードライバがインストールされているか。
- ▶ ビデオ画面の走査率が56Hz~75Hzに設定されているか。(解像度が最大のときは75Hzを超えないようにします。)
- ▶ アダプタ(ビデオ)ドライバのインストール中に問題が生じた場合は、セーフモードでコンピュータを起動してディスプレイアダプタを削除します。再度コンピュータを再起動し、アダプタ(ビデオ)ドライバを再インストールします。

※ 問題が繰り返し発生する場合は、お客様ご相談ダイヤルにご連絡ください。

チェックリスト Q & A セルフテスト

▶ Q & A

質問	回答
周波数はどのようにして変更しますか。	ビデオカードを再設定することで周波数を変更できます。 方法はビデオカードドライバのバージョンによって異なることがあります。(詳しくは、コンピュータまたはビデオカードの取扱説明書を参照してください。)
解像度はどのようにして変更しますか。	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 Windows ME/2000 : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 ※ * 詳しくはビデオカードの製造元にお問い合わせください。
Power Saving機能はどのように設定しますか。	Windows XP : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 コンピュータのBIOS設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)。 Windows ME/2000 : コントロールパネル-画面-設定で解像度を再設定します。 コンピュータのBIOS設定で機能を設定します。(Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)。 ※ (Windows/コンピュータのマニュアルを参照してください)。
本体や液晶パネルはどのようにして清掃しますか。	電源コードを抜き、クリーナーまたは水を湿らせた柔らかい布で拭いてください。

クリーナーが残ったり、傷がつかないように注意してください。モニター内部に水分が入らないように注意してください。

チェックリスト Q & A セルフテスト

▶ セルフテスト

[セルフテスト機能によるチェック](#) | [警告メッセージ](#) | [設置環境](#) | [その他のヒント](#)

セルフテスト機能でモニターが正しく動作しているかどうかチェックできます。

▶ セルフテスト機能によるチェック ▲

- ① コンピュータとモニターの電源を切ります。
- ② コンピュータ背面のビデオケーブルを抜きます。
- ③ モニターの電源を入れます。

モニターが正しく動作していれば、下図のようにカラーボックスとテキストが表示されます。それぞれ赤、緑、青のボックスです。
いずれかの表示に異常があれば、モニターが正しく動作していない可能性があります。



この表示は、ビデオケーブルが未接続または損傷している場合にも表示されます。

- ④ モニターの電源を切ってビデオケーブルを再接続します。それからコンピュータとモニターの電源を入れます。
上記の手順を試しても画面がブランクのままのときは、ビデオコントローラおよびコンピュータシステムをチェックしてください。モニターは正しく動作しています。

▶ 警告メッセージ ▲

入力信号に問題がある場合、画面にメッセージが表示されるか、電源インジケータが点灯したまま画面がブランクになります。モニターが走査範囲外であるか、信号ケーブルを確認する必要があります。



▶ 設置環境 ▲

- ① モニターの設置場所や位置が、画質やその他の機能に影響を与えることがあります。
 - ▶ ウーファスピーカをモニターと同じ部屋に設置しないでください。
ラジオ、扇風機、時計、電話などの電化製品はモニターから1m以上離してください。

▶ その他のヒント ▲

- ① モニターは、PCから送られる映像信号を再生します。そのためPCやビデオカードに問題があると、モニターにブランクスクリーン、色の劣化、ノイズ、ビデオモードの非サポートなどの現象が発生することがあります。モニター自身の問題であるか、その他の問題であるかを確認してから、お客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

- ▶ モニターの動作状況を診断します。

画面に何も表示されないか、“最適なモードではありません”、“推奨モード1280 x 1024 60 Hz”というメッセージが表示されたときは、モニターの電源が入っていてもコンピュータからケーブルを抜いてください。

- ▶ 画面にメッセージが表示されるか、画面が白くなった時は、モニターは正しく動作しています。



モデル SyncMaster 711ND



- 安全面での予防措置
- はじめに
- 接続
- ソフトウェアの使用
- モニターの調整
- トラブルシューティング
- 仕様
- 情報

仕様

仕様 PowerSaver プリセットタイミングモード

仕様

<http://www.samsung.com/jp>

主な仕様

モデル名 SyncMaster 711ND

LCD パネル

サイズ 17" インチ(対角)
表示域サイズ 337.92mm (水平) x 270.336mm (垂直)
ピクセルピッチ 0.264mm (水平) x 0.264mm (垂直)

同期化

水平 30 ~ 81kHz
垂直 56 ~ 75Hz

表示色

約16.2万色

解像度

最適解像度 1280 x 1024@60Hz
最大解像度 1280 x 1024@75Hz

入力信号, Terminated

RGB アナログ、
0.7V_{p-p}、75Ω ±10%(終端)、
分離 H/V 同期、TTL レベル、正 / 負極性

最大ピクセルクロック

140MHz

消費電力

AC 100 - 240V[~](+/- 10%)、50/60Hz

信号ケーブル

ミニD-Sub15ピンケーブル 取り外し可能

信号コネクタ

15ピン3列D-subコネクタ

寸法 (幅x奥行きx高さ) / 重量

370.0 x 60 x 316.0mm (スタンドなし)
370.0 x 200 x 404.0mm (スタンド付き) / 5.8kg

VESAマウンティングインターフェイス

100mm x 100mm (専用マウント器具用)

環境条件

動作 温度: 10°C ~ 40°C (50°F ~ 104°F)
湿度: 10% ~ 80%, 非凝縮

保存 温度: -20°C ~ 45°C (-4°F ~ 113°F)
湿度: 5% ~ 95%, 非凝縮

プラグ&プレイ機能

このモニターは、プラグ&プレイ機能と互換性のあるシステムにインストールすることができます。モニターとコンピュータシステムの相互作用は、最高の操作条件とモニターの設定を提供してくれます。ユーザーが別の設定を選択したくなければ、ほとんどの場合、モニターのインストールは、自動的に行われます。

基準を満たしていない

この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶パネルが使用されています。しかしまれに、赤、緑、青、白のピクセルが明るく見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。

この製品のTFT液晶総ピクセル数は3,932,160です。

クラスB機器 (住宅用情報通信機器)

この製品は、住宅地での使用に関する電磁環境適合性を満たしており、一般的な住宅地などを含むすべての地域で使用することができます。
(クラスBの機器は、クラスAの機器より放出する電磁波による影響が少なくなっています)

※ 外観や仕様は予告なく変更されることがあります。

▶ MagicNet

項目	仕様
LAN	10/100Mbps
USB	Version 2.0 (4ポート)
画像	JPEG, BMP
動画	MPEG1/2/4, DivX 4.x/5.x, WMV9
Others	アナログ出力ポートは、クライアントモニターから他の表示装置への出力をサポートしています。MacromediaのFlashが含まれています。BsquareのJava Virtual Machine (JVM)が含まれています。

USB

ローカルデバイス(USB)接続速度

Clientモニターの起動中は、Client Office画面が表示されるまで3~4秒間画面に何も映らなくなります。

起動の途中でClientモニターをオフにすると、製品に損傷を与える場合があります。

ローカル デバイス(USB)の互換性

. HID(インターフェイス機器) キーボード、マウス

MSC(マス ストレージ クラス)、SCSI(Small Computer System Interface)コマンド セットを使用するデバイス、FAT(File Allocation Table)システム

例外

一部のメーカーの製品では、USB規格の互換性が満たされていない場合があります。弊社の製品は、例外を処理する機能を備えています。ただし、一部のデバイスでは適切に動作しません。一部のメーカーの製品では、SCSI 規格の互換性が満たされていない場合があります。これらのデバイスは適切に動作しません。これらのデバイスは適切に動作しません。試験によって互換性が確認されているのUSBデバイスを購入されることをお勧めします。

仕様 PowerSaver プリセットタイミングモード

PowerSaver

PowerSaver (通常のモニターとして使用するとき)

- このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用しないときや 長時間席を離れるときはモニターをオフにしてください。PowerSaverシステムはVESA DPMS準拠のビデオカードが搭載されているコンピュータで機能します。この機能を設定するには、コンピュータにインストールされているユーティリティソフトを利用します。

状態	通常動作	パワーセービングモード	電源オフ (電源ボタン)
電源 インジケータ	緑色	緑色 点滅	黒色
消費電力	45W 未満	2W 未満 (オフモード)	2W 未満

PowerSaver (ネットワークモニターとして使用するとき)

- このモニターはPowerSaverという内蔵型電源管理システムを備えています。このシステムはモニターが一定時間使用されない場合に、モニターを低出力モードに切り替えることによってエネルギーを節約します。電力節約のため、使用しないときや 長時間席を離れるときはモニターをオフにしてください。PowerSaverシステムはVESA DPMS準拠のビデオカードが搭載されているコンピュータで機能します。この機能を設定するには、コンピュータにインストールされているユーティリティソフトを利用します。

状態	通常動作	パワーセービングモード	電源オフ (電源ボタン)
電源 インジケータ	緑色	緑色 点滅	黒色
消費電力	35W 未満	2W 未満 (オフモード)	2W 未満

▶ プリセットタイミングモード

- ▶ コンピュータから送られた信号が次のプリセットタイミングモードと一致したとき、画面が自動調整されます。信号が異なる場合は、電源LEDがオンでもブランクスクリーンになることがあります。ビデオカードの取扱説明書を参照して、次のように画面を調整してください。

▶ プリセットタイミングモード

ディスプレイモード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (H/V)
MAC, 640 x 480	35.000	66.667	30.240	-/-
MAC, 832 x 624	49.726	74.551	57.284	-/-
MAC, 1152 x 870	68.681	75.062	100.00	-/-
IBM, 640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/-
IBM, 640 x 480	31.469	59.940	25.175	-/-
IBM, 720 x 400	31.469	70.087	28.322	-/+
VESA, 640 x 480	37.861	72.809	31.500	-/-
VESA, 640 x 480	37.500	75.000	31.500	-/-
VESA, 800 x 600	35.156	56.250	36.000	+,-/+,-
VESA, 800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA, 800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA, 800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA, 1024 x 768	48.363	60.004	65.000	-/-
VESA, 1024 x 768	56.476	70.069	75.000	-/-
VESA, 1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA, 1152 x 864	67.500	75.000	108.00	+/+
VESA, 1280 x 960	60.000	60.000	108.00	+/+
VESA, 1280 x 1024	63.981	60.020	108.00	+/+
VESA, 1280 x 1024	79.976	75.025	135.00	+/+

水平周波数

ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといい、その逆数が水平周波数になります。単位: kHz

垂直周波数

蛍光灯のように、画面には1秒間に何度も同じ画像が表示されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数もしくはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位: Hz





- 安全面での予防措置
- はじめに
- 接続
- ソフトウェアの使用
- モニターの調整
- トラブルシューティング
- 仕様
- 情報

[↑ TOP](#)
[↑ MAIN](#)

○ 情報

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 規格 残像フリーについて

▶ お客様相談ダイヤル

▶ 東雲サービスセンター

☎ 0120-327-527

受付時間 平日(土日祭日を除く)9:00~17:00 ※

ホームページ <http://www.samsung.com/jp/>

〒 135-0062 東京都江東区東雲2-6-38

Fax 03-3527-5533

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 規格 残像フリーについて

▶ 用語集

▶ ドットピッチ

- ▶ モニターの画像は、赤、緑および青のドットで構成されています。ドットが密なほど解像度は高くなります。同色ドット間の距離を「ドットピッチ」といいます。単位: mm

▶ 垂直周波数

- ▶ 画面は1秒間に何回も再描画されています。この繰り返しの回数が、垂直周波数またはリフレッシュレートと呼ばれるものです。単位: Hz

▶ 水平周波数

- ▶ ラインを右から左へ水平に走査する時間を水平サイクルといいます。その逆数が水平周波数になります。単位: kHz

▶ インタレースとノンインタレース方式

- ▶ ラインを上から下に順番に表示する方式をノンインタレース、奇数ラインから偶数ラインの順に表示する方式をインタレースといいます。ノンインタレース方式は画像が鮮明なため、ほとんどのモニターに採用されています。インタレース方式はTVに採用されているのと同じです。

▶ プラグ&プレイ

- ▶ コンピュータとモニターが自動的に情報交換し、最高の画質を実現する機能です。このモニターはプラグ&プレイ機能の国際規格VESA DDCに準拠しています。

▶ 解像度

- ▶ 画面を構成する水平および垂直のドット数を「解像度」といいます。これはディスプレイの精度を表していま

す。高い解像度はより多くの情報が画面に表示されるため、複数作業の同時進行に適しています。

例 :解像度が1280 x 1024の場合、画面は1280 個の水平ドット（水平解像度）と1024個の垂直ライン（垂直解像度）で構成されています。

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 規格 残像フリーについて

▶ より良い画質を得るには

- ▶ 最高の画質を得るには、コンピュータのControl Panelから解像度とリフレッシュレートを次のように調整してください。TFT液晶の設定が最適でない場合、画面にむらが出る場合があります。
 - ▶ 解像度: 1280 x 1024
 - ▶ 垂直周波数(リフレッシュレート): 60 Hz
- ▶ この製品には、100万分の1以上の精度を持つ先進の半導体技術で製造されたTFT液晶パネルが使用されています。しかしまれに赤、緑、青、白のピクセルが明るく見えたり、黒いピクセルが発生することがあります。これは製品の不良ではありませんので安心してお使いください。
 - ▶ この製品のTFT液晶の総ピクセル数は3,932,160です。
- ▶ モニターを清掃するときは弊社指定のクリーナーを少量使用し、乾いた柔らかい布で拭き取ります。液晶部分だけでなく、全体を丁寧に拭きます。力を入れすぎるとしみになることがあります。
- ▶ 画質に満足できないときは、ウィンドウ終了ボタンを押して表示される画面から「自動調整機能」を実行して、画質を改善することができます。
- ▶ 画像が長時間固定されると、残像やぶれが生じることがあります。長時間モニターから離れる場合は、節電モードに切り替えるかスクリーンセーバ(動画)を設定します。

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 規格 残像フリーについて

▶ 制限事項

- ▶ 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。
© 2006 Samsung Electronics Co., Ltd. All rights reserved.

- ▶ Samsung Electronics Co., Ltd.の文書による許可なしには、いかなる複製も堅く禁じます。

内容に含まれる誤り、または設置や使用の結果として起こる損害について、Samsung Electronics Co., Ltd.は一切の責任を負いません。

SamsungはSamsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。Microsoft、WindowsおよびWindows NTはMicrosoft Corporationの登録商標です。VESA、DPMSおよびDDCIはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。Energy STARの名称とロゴはU.S. Environmental Protection Agency (EPA)の登録商標です。

そのほかこの文書に含まれるすべての商品名は、各企業・団体の商標もしくは登録商標です。

お客様相談ダイヤル 用語集 より良い画質を得るには 制限事項 規格 残像フリーについて

▶ VCCIについて

- ▶ この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

製品ユーザー登録

この度はサムスン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご購入いただきましたサムスン製品は下記のURLで製品ユーザー登録が行えます。
登録されたユーザーの方々には、サムスンの最新ニュース、新製品情報、イベント/

キャンペーン、各種ユーザー向けプログラム、サービス情報など多彩な情報をいち早くお届けします。

さらにデータベースを利用した顧客管理システムにより、お買い上げいただいた製品に不具合が生じた場合などの際に、製品ユーザー登録していただきますと迅速なアフターサービスのご提供が可能となりますので、お手数でも製品ユーザー登録をお願い申し上げます。

製品ユーザー登録専用ホームページURL

<http://www.samsung.com/jp/PRC/>

*なお、お客様の情報は弊社からのご連絡、ご案内のみにご利用させていただきます。

製品情報(残像フリーについて)

LCDモニターやLCDテレビには、長時間表示させた後に別の画面へ切り替えた時、画面に残像が残ることがあります。

ここでは、残像を防止するためのLCD製品の扱い方を紹介します。

● 保証

画像の残像によって発生する損傷は、保証の対象外です。
画面の焼き付きは保証の対象外です。

● 残像とは？

LCDパネルの通常作動中には、画素の残像は発生しませんが、長時間同じ画面が表示されると、液晶周辺の2電極間に電気量のわずかな差が蓄積されます。これにより、ディスプレイの一定領域で液晶層が傾くことがあり、新しい画面に切り替わるときに以前の画面が残像として残ります。LCDを含むディスプレイ製品は残像の影響は少なからず受けませんが、これは製品の欠陥ではありません。

LCDを残像から守るため、以下の項目を実行してください。

● 電源オフ、スクリーンセーバー、パワーセーブモード

例)

- 固定画面を利用している場合は、電源をオフにする。
 - 24時間利用した場合は4時間電源をオフにする。
 - 12時間利用した場合は2時間電源をオフにする。
- スクリーンセーバーがあれば利用する。
 - 単色や動画のスクリーンセーバーを推奨します。
- PCのディスプレイプロパティの電源管理で、モニターの電源をこまめにオフにするよう設定する

● 特定アプリケーション利用の場合

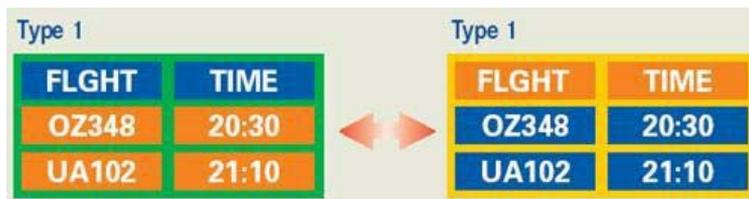
例) 空港、駅、証券、銀行、その他制御システム
ディスプレイシステムを次のようにプログラムします。

● 情報をロゴや動画と表示する。

例) サイクル: ロゴや動画を1分間表示した後に情報を1時間表示。

● 色情報を定期的に変化させる(異なる2色を使用)。

例) 2色の色情報を30分ごとにローテーションさせる。



輝度が大きく異なる文字と背景の組み合わせを避ける。
残像を引き起こしやすいとされるグレー色を避ける。

- 次のものを避ける。輝度が大きく異なる色(白と黒、グレー)

例)



- 推奨設定。輝度があまり異ならない明るい色

- 文字と背景の色を30分ごとに変化させる。

例)



- 30分ごとに文字に動きをつける。

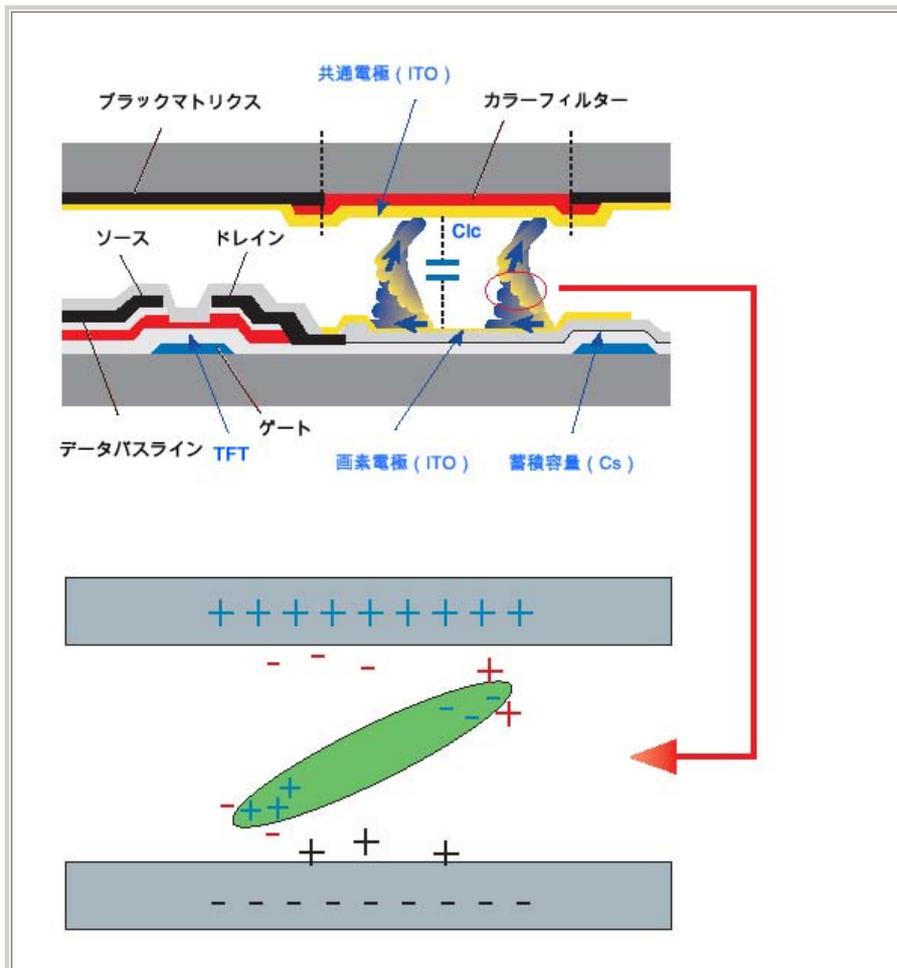
例)



- モニターを残像から保護する最も良い方法は、PCやシステムでスクリーンセーバープログラムを設定することです。

通常動作時に残像が発生することはほとんどありません。

通常動作とは、画面が次々に切り替わる状態をいいます。LCDパネルが固定された画面で長時間(12時間以上)動作すると、画素内の液晶の電極間に電圧のわずかな差異が発生することがあります。電極間の電圧差は時間とともに増加し、液晶層を傾けることがあります。このような状況下で、画面の切り換え時に以前の画面が残像として残ることがあります。これを予防するには、電圧差が蓄積されないようにする必要があります。



- 当社LCD Monitorは ISO13406-2 Pixel fault Class IIの基準を満たします。